



「Handbook Studio」 ユーザーガイド (編集者用)

2013/11/19

インフォテリア株式会社

目次

Handbook Studio ユーザーガイド（編集者用）	7
1章 Handbookアプリとは.....	7
1.1. Handbook Studio	7
1.2. Handbookアプリの特長	7
1.3. Handbook Studio 対応Webブラウザ.....	7
2章 Handbook Studioの画面	8
2.1. ブック管理画面.....	9
<管理画面切替えメニュー>	9
<ブックリスト>	9
<ブック管理画面のメニュー>	9
ブックのグラフィック/リスト表示.....	10
ブックを開く	11
ブック追加	11
ブック設定	11
共同編集者	11
コピー	12
削除.....	12
インポート(ブックの読み込み)	12
エクスポート(ブックの書き出し)	13
ブックの検索.....	14
2.2. 編集者アカウント管理画面.....	15
<管理画面切替えメニュー>	15
<編集者アカウントの情報>	15
<編集者アカウント管理画面のメニュー>	16
アカウント一括登録（CSVファイルの読み込み）	16
- 問題のある行が含まれている場合の表示.....	20
アカウント一括更新.....	21
- 更新したいデータのみ更新と編集者/閲覧者の無効化や削除項目を設定する場合	25
アカウント書き出し(編集者アカウントをCSVファイルとして書き出し)	29
追加.....	30
編集.....	31
削除.....	32
編集者アカウントの検索	33
2.3. 閲覧者アカウント管理画面.....	34

<管理画面切替えメニュー>	34
<閲覧者アカウントの情報>	34
<閲覧者アカウント管理画面のメニュー>	35
招待メール	35
アカウント一括登録 (CSVファイルの読み込み)	36
アカウント一括更新.....	41
アカウント書き出し(閲覧者アカウントをCSVファイルとして書き出し)	44
追加.....	45
編集.....	48
削除.....	49
閲覧者アカウントの検索	50
2.4. 閲覧者グループ画面.....	51
<管理画面切替えメニュー>	51
<閲覧者グループの情報>	51
<閲覧者グループ管理画面のメニュー>.....	52
追加.....	52
編集.....	53
削除.....	53
閲覧者グループの検索.....	53
2.5. 統計.....	54
<管理画面切替えメニュー>	55
<統計メニュー>	55
編集者操作記録ダウンロード	55
- ダウンロードされた操作記録の各ログの例と意味.....	60
閲覧者操作記録ダウンロード	62
試験結果ダウンロード	65
アンケート結果ダウンロード	67
<すべてのユーザのグラフ画面(統計画面の上のグラフ)>	69
グラフを画像ファイルにしてダウンロードする	71
グラフの一部を拡大して見る	72
<ユーザー別のグラフ画面 (統計画面の下のグラフ) >	74
<操作別状況切替えボタン(各統計画面)>	76
ログイン状況解析.....	77
アクセストレンド.....	78
個別ブックのアクセス状況.....	79
アクセストレンド(ブック選択)	80
特定ブックでのセクションアクセストップ10.....	83
個別セクションのアクセス状況(ブック選択).....	85

Handbookダウンロード数Top10	88
2.6. 環境設定.....	89
<編集者アカウント設定>	90
<システム設定>	91
システム設定(国別時刻/閲覧者アカウントを編集者アカウントと同期させる)	92
添付されたオフィス文書をPDFで閲覧できるようにする	94
編集者操作記録の保存対象操作	95
ブック設定(カテゴリー作成).....	96
システム設定(試験/アンケート結果を削除).....	96
<クライアント配布設定>	97
システム設定(デバイスIDによる制限/パスワード保存・アクセスコード設定の禁止).....	98
クライアント 端末への壁紙配布	98
名刺用画像の配布	99
<Handbook Studioについて>	100
2.7. ログアウト	100
3章 コンテンツの作成	101
3.1. コンテンツの構造.....	101
3.2. コンテンツの作成方法.....	101
3.2.1. ブックを作成する	102
<ログインと初期情報>.....	102
<ブックの作成>	104
3.2.2. チャプターを作成する.....	108
3.2.3. セクションを作成する.....	110
<コンテンツに説明文と画像を挿入する>	110
<コンテンツに説明文と動画を挿入する>.....	115
<コンテンツに説明文と添付ファイルを挿入する>	117
<コンテンツにメディア(画像/動画/添付ファイル/音声)のみを直接挿入する>	119
セクションの編集画面からメディアを直接入れる	119
セクションのリスト画面からメディアを直接入れる	122
<アンケート追加(アンケート単独のセクション)作成>	125
<コンテンツの文字を装飾する>	129
<コンテンツにリンクを設定する>	130
<コンテンツのPermalinkを表示してユーザーにメールする>	132
<フィードバック(評価方法)の設定>	134
<ブックの設定(編集)>	136
<DropboxでHandbookを作成する>.....	137
DropboxのホームページでHandbookのデータを作成する.....	137

ブック画面からDropboxのデータを読み込んで新しいブックを自動作成する	142
3.2.4. コンテンツにクイズを作成する	147
各設問タイプの説明（クイズ・試験共通）	149
3.2.5. コンテンツに試験問題を作成する	154
3.2.6. コンテンツにアンケートを作成する.....	158
アンケートの各設問タイプの説明.....	159
3.2.7. HTMLコンテンツ表示機能.....	162
1. HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルの構造.....	162
2. HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルのサムネイル(グラフィック画像)表示.....	163
3. デバイス方向別のコンテンツ	164
<HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルの作成とHandbook Studioへの登録方法>	167
HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを作成する	167
新しいHandbookのセクションにHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを登録する.....	168
<HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルをタブレットなどのデバイスから参照する>	172
<セクションのリスト画面からHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを直接入れる>	176
3.3. 各設問設定の詳細	178
各設問タイプの説明（クイズ・試験共通）	178
3.3.1. 設問タイプ1.....	179
3.3.2. 設問タイプ2.....	181
3.3.3. 設問タイプ3.....	183
3.3.4. 設問タイプ4.....	186
3.3.5. 設問タイプ5.....	188
3.3.6. 設問タイプ6.....	190
3.4. 各アンケート設定の詳細.....	192
アンケートの各設問タイプの説明.....	192
3.4.1. アンケート設問タイプ1	193
3.4.2. アンケート設問タイプ2	194
3.4.3. アンケート設問タイプ3.....	196
4章 Appendix.....	199
4.1. 入力条件.....	199
<閲覧者アカウント>	199
<編集者アカウント>	200
<閲覧者グループ>	201
<ブック>	202
<チャプター>	203
<テキストセクション>	203

<クイズ・試験>	204
<空欄埋め>	204
<接続>	205
<選択>	205
<アンケート>	205
<空欄埋め>	206
<テキストエリア>	206
<選択>	206
4.2. HandbookアプリのPDF編集機能と設定について	207

Handbook Studio ユーザーガイド（編集者用）

1章 Handbookアプリとは

Handbookアプリは、編集者(管理者)が独自に作成したクイズや練習問題、マニュアル、辞書、カタログ操作説明書、チュートリアルなどを、複数のユーザーが iPhone、Android搭載端末などのスマートフォンやiPad、Android搭載端末などのタブレットなどの情報端末(以下、情報端末)から手軽に参照できるサービスです。
※ iPod touchでもスマートフォンと同様に動作します。

1.1. Handbook Studio

Handbookを使って参照するコンテンツ(内容)は、PCのブラウザ上にてHandbook Studioを使用して作成します。コンテンツは、画像・動画やクイズ、試験なども含めて作成することができます。

1.2. Handbookアプリの特長

- ・ コンテンツはサーバー上で作成されるため、情報端末の容量制限にとらわれません。
- ・ コンテンツは、本のように階層構造（チャプターやセクションなど）で作成することができます。
- ・ テキスト、画像はもとより、動画や音声も含めることができます。
- ・ 外部のHTMLエディタやテキストエディタなどで作成したHTMLファイル、CSS、JavaScriptを利用することができます。
- ・ 練習問題や採点機能もあるため、学習教材などにも使用できます(出題形式は6パターン)。
- ・ ユーザーの試験結果や操作記録、アンケートなどをCSVファイルなどにして出力することができます。
- ・ 情報端末に簡単にダウンロードできるため、オフライン環境でも利用が可能です。
- ・ アクセスコード（ユーザーがHandbookコンテンツを見るための番号）を受け取った特定の人にだけコンテンツを見せることができます。

1.3. Handbook Studio 対応Webブラウザ

Firefox, Safari, Google Chromeに対応。

詳細なバージョン等につきましてはWebをご覧ください。<http://handbook.jp/features/spec/>

2章 Handbook Studioの画面

Handbook Studioでは、Handbookのコンテンツや編集者/ユーザーのアカウントやグループを作成します。Handbook Studioの画面には、Handbookを作成するための「ブック管理」画面、編集者のアカウント情報を作成するための「編集者アカウント管理」画面、ユーザーのアカウント情報を作成するための「閲覧者アカウント管理」画面、などがあります。これらの画面は、上部の「管理画面切替えメニュー」をクリックして表示を切替えることができます。



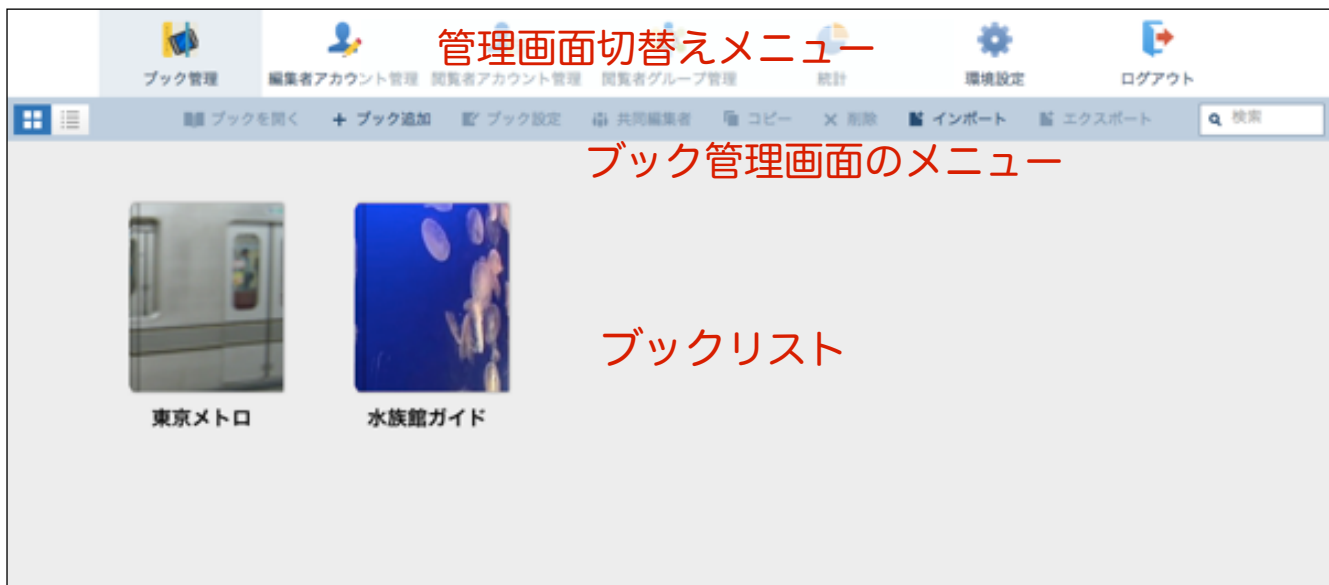
「管理画面切替えメニュー」をクリックして表示される各画面の機能と説明を、以下に順番に説明します。

2.1. ブック管理画面

Handbook画面の左上にある、「管理画面切替えメニュー」で表示されている「ブック管理」をクリックすると、Handbook Studioで作成された「ブック」ファイルの管理画面に切り替わります。



【ブック管理画面】



ブック管理画面の説明は、以下のようになります。

<管理画面切替えメニュー>

管理画面の各項目をクリックして、Handbookで作成されたブックファイル、編集者/閲覧者のアカウントやグループなどを作成するための画面を表示します。

<ブックリスト>

ブックをグラフィック/リスト表示します。ブックをドラッグして順番を入れ替えることができます。

<ブック管理画面のメニュー>



クリックしてブックの追加や削除などを行います。ブック管理画面の各メニューの内容は、以下のようになります。

ブックのグラフィック/リスト表示



左のボタンをクリックすると、ブック画面をグラフィック表示に、右のボタンをクリックするとリスト表示にします。

【ブックのグラフィック表示画面】



【ブックのリスト画面】

タイトル ▲	カテゴリー ▲	アクセスコード ▲	所有者 ▲	共同編集者 ▲
東京メトロ	鉄道	testadmin	admin test (testadmin)	
水族館ガイド	水族館	testadmin	admin test (testadmin)	
Handbook		testadmin	admin test (testadmin)	
PDF sample		testadmin	admin test (testadmin)	
HCZ sample		testadmin	admin test (testadmin)	

ブックを開く



ブックを選択してから、「ブックを開く」メニューをクリックすると、ブックを開きます。
※ ブックを選択すると右下に緑色のマークが付きます。

ブック追加



クリックすると、新しくコンテンツを作成するための画面が表示されます。
※ ブックファイル作成の詳細については、「3.2.1. ブックを作成する」を参照してください。

ブック設定



選択したブックの内容を編集します。
※ ブック設定の詳細については、「3.2.3.セクションを作成する」の「ブック設定(編集)」を参照してください。

共同編集者





「共同編集者」メニューをクリックすると以下のような画面が表示され、選択したブックを共同で作成する編集者を選択することができます。



「検索」欄では、編集者アカウント名を入力して検索することができます。

 をクリックすると、選択されていない全ての項目にチェックを入れることができます。

 をクリックすると、全ての項目にチェックを入れることができます。

 をクリックすると、全ての項目のチェックを外すことができます。

コピー



選択したブックをコピーします。


削除



選択したブックを削除します。

インポート(ブックの読み込み)



 「インポート」ボタンをクリックすると、表示される参照ウィンドウより、あらかじめ書き出して保存してあるブックの独自形式のファイルである、「HBZファイル」を読み込むことができます。「HBZファイル」とは、Handbookで利用することのできる、zipファイルのような圧縮ファイルのことをいいます。ファイルの拡張子を「.zip」に変更することもできます。

ブックファイルの読み込み手順は、以下のようになります。

1. ブック管理画面で、メニューの「インポート」ボタンをクリックすると、ファイルの参照画面が表示されるので、読み込みたいファイルをクリックして選択します。



2. ブックが読み込まれました。

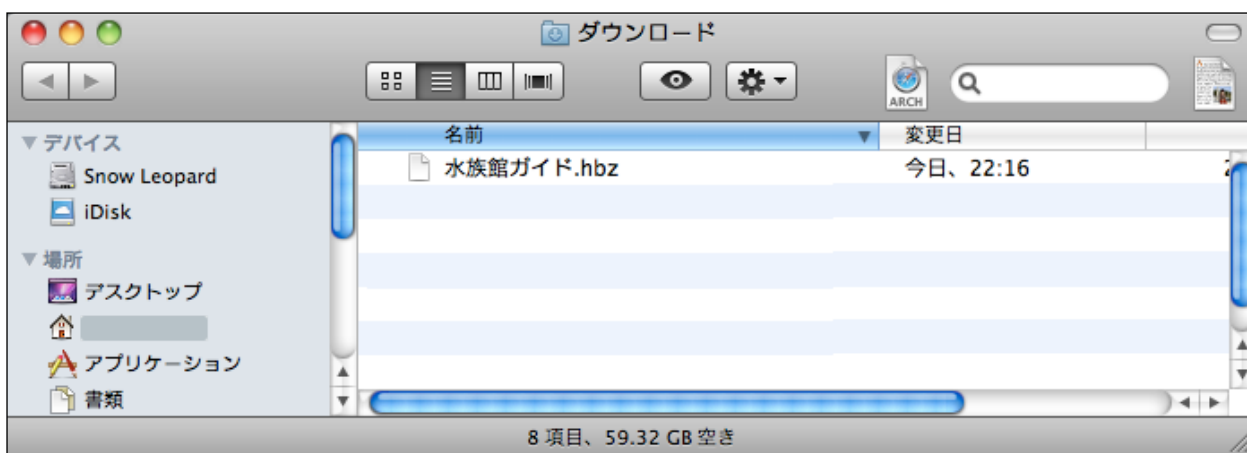


エクスポート(ブックの書き出し)



「エクスポート」ボタンをクリックすると、選択したブックを「**HBZファイル**（Handbookで利用することのできる、zipファイルのような圧縮ファイルのこと。ファイルの拡張子を「.zip」に変更することもできます。）」にして、ハードディスクのダウンロードフォルダに保存することができます。

※ 使用しているブラウザがSafariである場合は、Safariメニューの「環境設定」から「一般」タブを開き、「ダウンロード後、「安全な」ファイルを開く」の項目のチェックを外しておく、HBZファイルとして保存できるようになります。



ブックの検索



空欄にブック名を入力して検索します。

虫眼鏡のマークをクリックすると、以下のような画面が表示され、チェックを外すなどして検索対象を絞り込むことができます。



2.2. 編集者アカウント管理画面

「管理画面切替えメニュー」の「編集者アカウント管理」をクリックすると、ブックの編集者(作成者)の管理画面に切り替わります。



【編集者アカウント管理画面】

ID	編集者アカウント名	ユーザー名	パスワード	役割	メールアドレス
84	testadmin	test	admin		
95	testadmin_2	test	admin2		
37...	Test1	F test1	L test2	D2	
37...	Test2	F test2	L test2	Dev	
37...	test3				

編集者アカウント管理画面の説明は、以下のようになります。

<管理画面切替えメニュー>

管理画面の各項目をクリックして、Handbookで作成されたブックファイル、管理者/編集者/読者のアカウントやグループなどを作成するための画面を表示します。

<編集者アカウントの情報>

編集者のアカウント情報を表示します。編集者アカウントの情報画面では、「編集者」、「管理者」、「組織のオーナー」の3種類の編集者のアカウントがあります。

編集者

管理権限をもっていない通常の編集者アカウントのことです。ブックを作成することのみができます。

管理者

管理権限をもった編集者アカウントのことです。管理者は、ブックを作成する他に、通常の編集者や読者を作成したり、ログファイル(操作記録をテキストで書き出したファイル)を出力して管理したり、環境設定で設定を行ったりすることができます。

組織のオーナー

唯一、削除できない編集者アカウントです。管理者、編集者、読者を作成したり、ログファイル(操作記録をテキストで書き出したファイル)を出力して管理したり、環境設定で設定を行ったりすることができます。

編集者アカウント情報欄の各項目の説明は、以下のようになります。



編集者が読者と同期設定をしている場合に表示されるマークです。

※ 同期設定については、「2.6. 環境設定」の「システム設定」を参照してください。



この組織のオーナーアカウントのマークです。



管理権限をもった編集者アカウントのマークです(管理者)。



管理権限をもっていない通常の編集者アカウントのマークです(編集者)。

ID

編集者のIDを表示します。

編集者アカウント名

編集者のアカウント名を表示します。

名

編集者の名前を表示します。

姓

編集者の姓を表示します。

部署

編集者の部署を表示します。

メールアドレス

編集者のメールアドレスを表示します。

<編集者アカウント管理画面のメニュー>



「編集者アカウント管理画面」のメニューでは、編集者情報の追加・編集や、複数の編集者の一括登録・更新などを行うことができます。

アカウント一括登録 (CSVファイルの読み込み)



「編集者アカウント管理画面」の「一括登録」メニューをクリックすると、複数の編集者の情報が書かれたCSVファイルを読み込んで、編集者の一括登録を行うことができます。編集者の一括登録の方法は、以下のようになります。

1. **アカウント一括登録** をクリックします。

ID	編集者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス
84	testadmin	test	admin		
95	testadmin_2	test	admin2		

2. 以下のような画面が表示されます。

「ファイルの選択」ボタンをクリックして、あらかじめ作成してあるCSVファイルを読み込みます。

アカウント一括登録

以下のフォーマットのCSVで記述された編集者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christirte	Rose	Sales

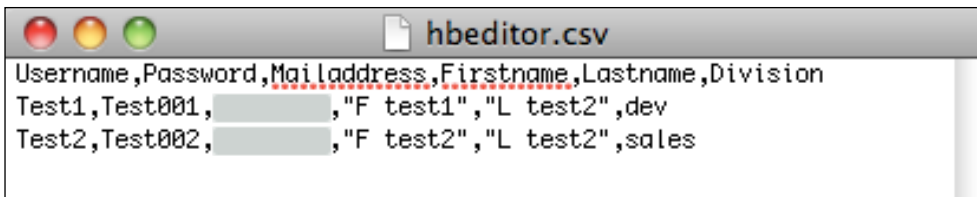
CSVファイル ファイル... 択です

エンコーディング

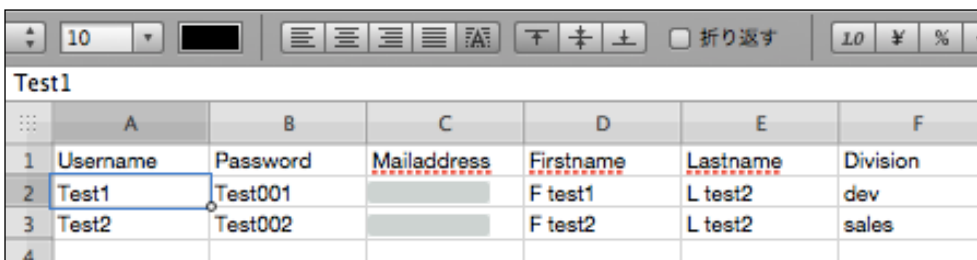
※ 一括登録画面では、CSVファイルのサンプル画像が表示されています。このサンプル画像を参考にして、あらかじめ以下のようなCSVファイルを作成しておきます。

1行目にはフィールド名（列のタイトル）が必要です。空白を含む場合は「"」で囲み、それ以外は「"」は不要です。ユーザー名は英字始まりで記述し、パスワードは6文字以上としてください。

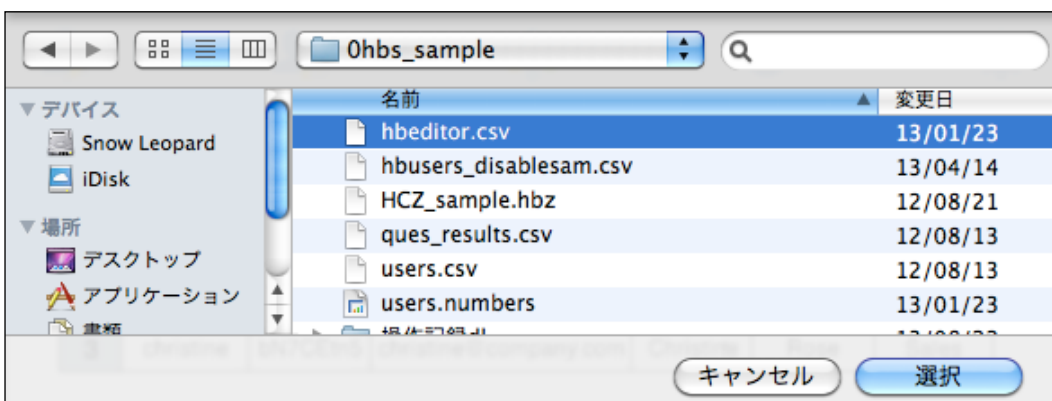
【テキストファイルで作成したCSVファイルの例】



【Excelソフトで作成したCSVファイルの例】



3. 「ファイルの選択」ボタンをクリックすると、以下のようなファイル選択画面が表示されるので、CSVファイルを選択します。



4. 「ファイルを選択」ボタンの横にCSVファイル名が表示されます。「エンコーディング（出力する文字の種類）」では、ドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「プレビュー」をクリックします。

アカウント一括登録

以下のフォーマットのCSVで記述された編集者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christirte	Rose	Sales

CSVファイル hbeditor.csv

エンコーディング

5. Handbookユーザ画面にCSVファイルの内容を読み込んだ場合のプレビュー（確認）画面が表示されます。

アカウント一括登録

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Passwor d	Mailaddress	Firstnam e	Lastnam e	Division	Status
2	Test1	Test001	t1@t.com	F test1	L test2	dev	
3	Test2	Test002	t2@t.com	F test2	L test2	sales	

*よろしければ保存ボタンを押してください

6. 「問題のある行のみ表示する」をチェックすると、問題のある行のみが表示されます。最後に「保存」をクリックします。

アカウント一括登録

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Passwor d	Mailaddress	Firstnam e	Lastnam e	Division	Status

*よろしければ保存ボタンを押してください

保存 **キャンセル**

7. 以下のような画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

アカウント一括登録

結果 問題のある行のみ表示する


<	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Passwor d	Mailaddress	Firstnam e	Lastnam e	Division	Status

データの保存が完了しました

OK

8. Studioユーザ画面にCSVファイルの内容が読み込まれ、複数の編集者の情報が登録されました。以上で編集者アカウントの一括登録の方法は終了です。

ID	編集者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス
84	testadmin	test	admin		
95	testadmin_2	test	admin2		
37...	Test1	F test1	L test2	dev	
37...	Test2	F test2	L test2	sales	

9. 各項目が入力されているかどうかは、リストを選択してから  「編集」メニューをクリックして表示される「編集者アカウント画面」にて確認することができます。詳しくは後述の「編集」の項を参照してください。

【ユーザの編集画面で確認】

編集者アカウント

名

姓

編集者アカウント

部署

メールアドレス

パスワード

パスワード (確認)

アカウントの有効化 オン


管理者権限 オフ

- 問題のある行が含まれている場合の表示

1. また、CSVファイルに問題のある行が含まれている場合は、以下のように黄色い色で行が表示されます。

アカウント一括登録

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	Status
2	Test1	Test001	<input type="text"/>	F test1	L test2	dev	
3	Test2	Test002	<input type="text"/>	F test2	L test2	sales	
4	testadmin_2	testadmin2	<input type="text"/>	test	admin2		

*よろしければ保存ボタンを押してください

2. 右上の「問題のある行のみ表示する」をチェックすると、黄色で表示されている問題のある行のみが表示されます。

アカウント一括登録

プレビュー 問題のある行のみ表示する

	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	Status
2	testadmin_2	testadmin2		test	admin2		ⓘ

*よろしければ保存ボタンを押してください

保存
キャンセル

※ データが重複している場合は、「保存」を押しても、その行だけスキップ(省略)されるようになっているので、エラーにはならず新しいデータのみを追加することができます。その他の理由でエラーが出た場合には、CSVファイルを修正して再度読み込む必要があります。

アカウント一括更新

ブック管理 | 編集者アカウント管理 | 閲覧者アカウント管理 | 閲覧者グループ管理 | 統計 | 環境設定 | ログアウト

アカウント一括登録 | **アカウント一括更新** | アカウント書き出し | + 追加 | 編集 | × 削除 | 検索

「編集者アカウント管理画面」の「アカウント一括登録」メニューをクリックすると、複数の編集者の情報が書かれたCSVファイルを読み込んで、編集者アカウントの一括更新を行うことができます。編集者の一括更新の方法は、以下のようになります。

※ 既存のユーザデータの更新だけを行なう機能です。ご契約プランにより使用できます。メニューが表示されない場合は使用できません。

1. リストのデータの内容を更新したい場合は、データの元になるCSVファイルの内容を変更してから、再度読み込みを行います。

【例：「Test2」の「部署」を「Sales」から「Dev」に変更・更新する場合】

ID	編集者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス
84	testadmin	test	admin		
95	testadmin_2	test	admin2		
37...	Test1	F test1	L test2	Dev	
37...	Test2	F test2	L test2	Sales	

2. 「アカウント一括更新」メニューをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

アカウント一括更新

以下のフォーマットのCSVで記述された編集者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christirte	Rose	Sales

CSVファイル ファイルを選択 ファイル...択です

エンコーディング Shift-JIS

プレビュー
キャンセル

※ 一括更新画面では、CSVファイルのサンプル画像が表示されています。このサンプル画像を参考にして、あらかじめ以下のようなCSVファイルの変更・追加をしておきます。

1行目にはフィールド名（列のタイトル）が必要です。ユーザー名は英字始まりで記述し、パスワードは6文字以上としてください。

※ 旧バージョンで使用していた「部署(Division)」などの記述がないCSV形式のファイルも読み込むことができます。

※ 列の項目の順番は入れ替えることができます。またDivisionの列は省略が可能です。省略された列の値は更新されません。

【テキストファイルで作成したCSVファイルの例：Test2のDivision(部署)をSales→Devに変更】

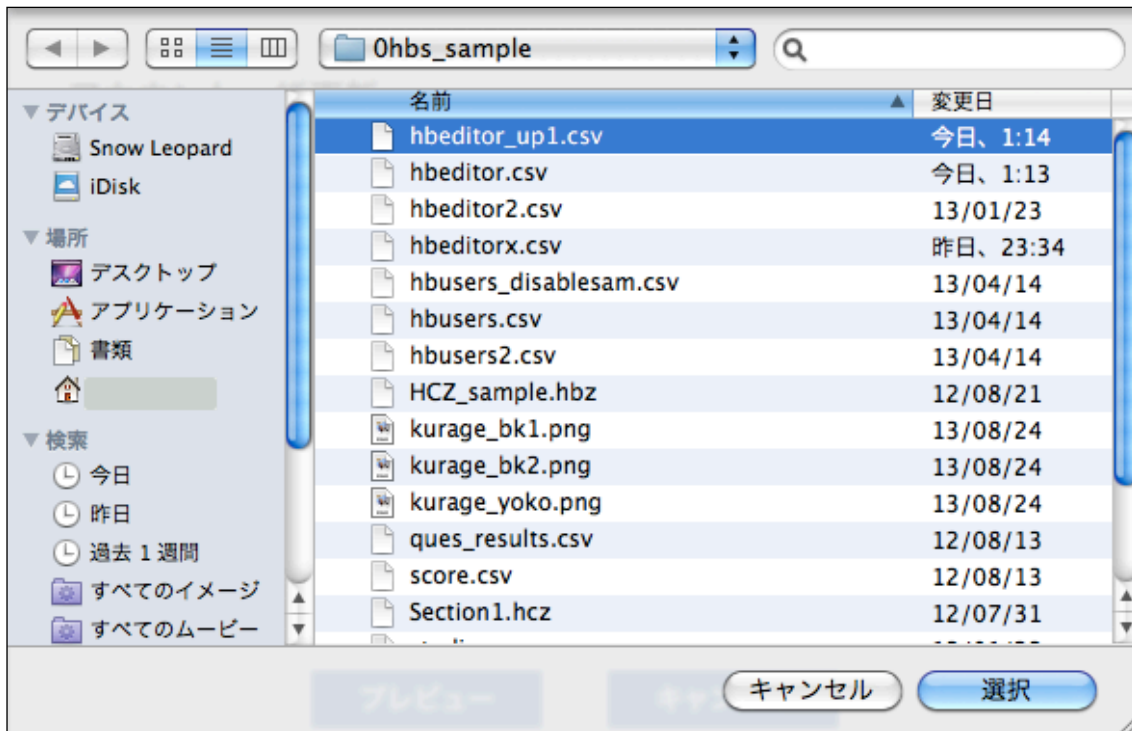
```

hbeditor_up1.csv
Username,Password,Mailaddress,Firstname,Lastname,Division
Test1,Test001,,"F test1","L test2",Dev
Test2,Test002,,"F test2","L test2",Dev
    
```

【Excelソフトで作成したCSVファイルの例：Test2のDivision(部署)をSales→Devに変更】

	A	B	C	D	E	F
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division
2	Test1	Test001		F test1	L test2	Dev
3	Test2	Test002		F test2	L test2	Dev
4						

3. Handbookユーザの一括更新画面で、「ファイルを選択」ボタンをクリックすると、以下のようなファイル選択画面が表示されるので、データを変更したCSVファイルを選択します。



4. 「ファイルを選択」ボタンの横にCSVファイル名が表示されます。「エンコーディング（出力する文字の種類）」では、ドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「プレビュー」ボタンをクリックして、情報を読み込む前に、読み込んだ際に表示される画面の確認をします。

アカウント一括更新

以下のフォーマットのCSVで記述された編集者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christinte	Rose	Sales

CSVファイル hbedit...p1.csv

エンコーディング

5. 編集者アカウント管理画面にCSVファイルの内容を読み込んだ場合のプレビュー（確認）画面が表示されます。右上の「問題のある行のみ表示する」をチェックすると、問題のある行のみが表示されます。確認が終了したら、「保存」をクリックしてCSVファイルの情報を読み込みます。

アカウント一括更新

更新、削除されたアカウントは元には戻りません。保存する前によくご確認ください。

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	Status
2	Test1	Test001		F test1	L test2	Dev	
3	Test2	Test002		F test2	L test2	Dev	

*よろしければ保存ボタンを押してください

保存 **キャンセル**

6. 次に表示される画面では、「Status(状況確認欄)」に正常処理されたことを示す緑のマークが表示されています。最後に「OK」をクリックします。

アカウント一括更新

結果 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	Status
2	Test1	Test001		F test1	L test2	Dev	✓
3	Test2	Test002		F test2	L test2	Dev	✓

データの保存が完了しました

OK

7. 編集者アカウント管理画面にCSVファイルの内容が読み込まれ、編集者の情報が更新されました。以上で編集者アカウントの一括更新の方法は終了です。

【Test2のDivision(部署)がSales→Devに変更された】



ID	編集者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス
84	testadmin	test	admin		
95	testadmin_2	test	admin2		
37...	Test1	F test1	L test2	Dev	
37...	Test2	F test2	L test2	Dev	

- 更新したいデータのみの更新と編集者/閲覧者の無効化や削除項目を設定する場合

「データの一括更新」メニューは、既存のユーザーの更新だけを行なう機能です。CSVのフォーマットは、"Username"だけが必須で、他は更新したい項目のみを書き込んで変更するだけでも構いません。また、更新機能では、"Disable(無効化)", "Delete(削除)"という特別な項目を設定することもでき、それぞれを"1(ON)"と指定することによって、そのユーザーを無効化したり、削除したりすることもできます。

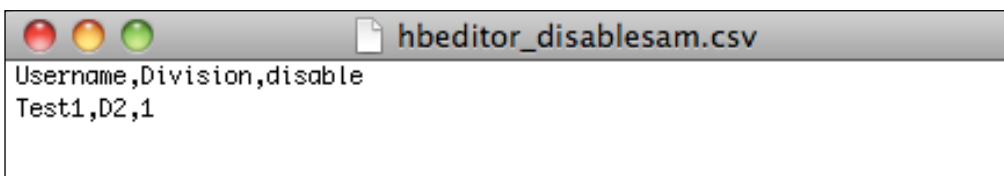
ONの指定は"1"の他に"YES"、"Y"、"TRUE" (いずれも小文字も可能) を指定することもできます。またCSVには行として含まれている場合でも、"0 (OFF)"を指定すればその行はスキップされます。OFFの指定は"0"の他に"NO"、"N"、"FALSE" (いずれも小文字も可能) を指定することもできます。

※ 「Disable(無効化)」とは、ユーザーリストにデータは存在していても、ログインできないなど使用することのできない状態にすることをいい、このような状態のユーザはいつでもDisableを解除(有効化)して使用できるようになっています。「Delete(削除)」とは、ユーザーリストからそのユーザを完全に消去してしまうことをいいます。

1. 例えば、以下のような内容のCSVファイルを読み込んでデータを更新することもできます。

※ 既存データのみの更新ですので、「Username」だけは省略することができません。

【例：Test1のDivision(部署)をDev→D2にし、同時に Disable(無効化)にするためのCSVファイルを読み込む】



```
hbeditor_disablesam.csv
Username,Division,disable
Test1,D2,1
```

2. 「アカウント一括更新」メニューをクリックすると、以下のような画面が表示されるので、上記の内容のCSVファイルを選択し、「プレビュー」ボタンをクリックします。

アカウント一括更新

以下のフォーマットのCSVで記述された編集者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christirte	Rose	Sales

CSVファイル hbedit...am.csv

エンコーディング ▾

3. "Disable(無効化)", "Delete(削除)"という特別な項目を設定して更新する場合には、更新する行がピンクで表示され、「Status(状況確認)」に以下のようなマークが表示されます。

アカウント一括更新

更新、削除されたアカウントは元には戻りません。保存する前によくご確認ください。

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C
1	Username	Division	Status
2	Test1	D2	🔴


*よろしければ保存ボタンを押してください

4. 「保存」をクリックしてデータの更新を行います。

アカウント一括更新

更新、削除されたアカウントは元には戻りません。保存する前によくご確認ください。

プレビュー 問題のある行のみ表示する


	A	B	C
1	Username	Division	Status
2	Test1	D2	

*よろしければ保存ボタンを押してください

5. Status項目に正常処理されたことを示す緑のマークが表示されました。最後に「OK」をクリックします。

アカウント一括更新

結果 問題のある行のみ表示する

	A	B	C
1	Username	Division	Status
2	Test1	D2	


データの保存が完了しました

6. 目的のユーザのデータが更新され、Disable(無効化)となりました。無効化されたユーザは灰色のついた行で表示されます。

ブック管理 編集者アカウント管理 閲覧者アカウント管理 閲覧者グループ管理 統計 環境設定 ログアウト

アカウント一括登録 アカウント一括更新 アカウント書き出し + 追加 編集 削除 検索

ID	編集者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス
84	testadmin	test	admin		
95	testadmin_2	test	admin2		
37...	Test1	F test1	L test2	D2	
37...	Test2	F test2	L test2	Dev	

7. 各項目が更新されているかどうかは、ユーザ(編集者/閲覧者)を選択してから  「編集」メニューをクリックして表示される「アカウント編集画面」にて確認することもできます。

【ユーザの編集画面で確認：Test1の 部署項目がDev→D2、「ユーザの有効化」項目が「オフ」となっている】

編集者アカウント

名	<input type="text" value="F test1"/>
姓	<input type="text" value="L test2"/>
編集者アカウント	<input type="text" value="Test1"/>
部署	<input type="text" value="D2"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード (確認)	<input type="password"/>
アカウントの有効化	<input type="checkbox"/> オフ
管理者権限	<input type="checkbox"/> オフ

アカウント書き出し(編集者アカウントをCSVファイルとして書き出し)



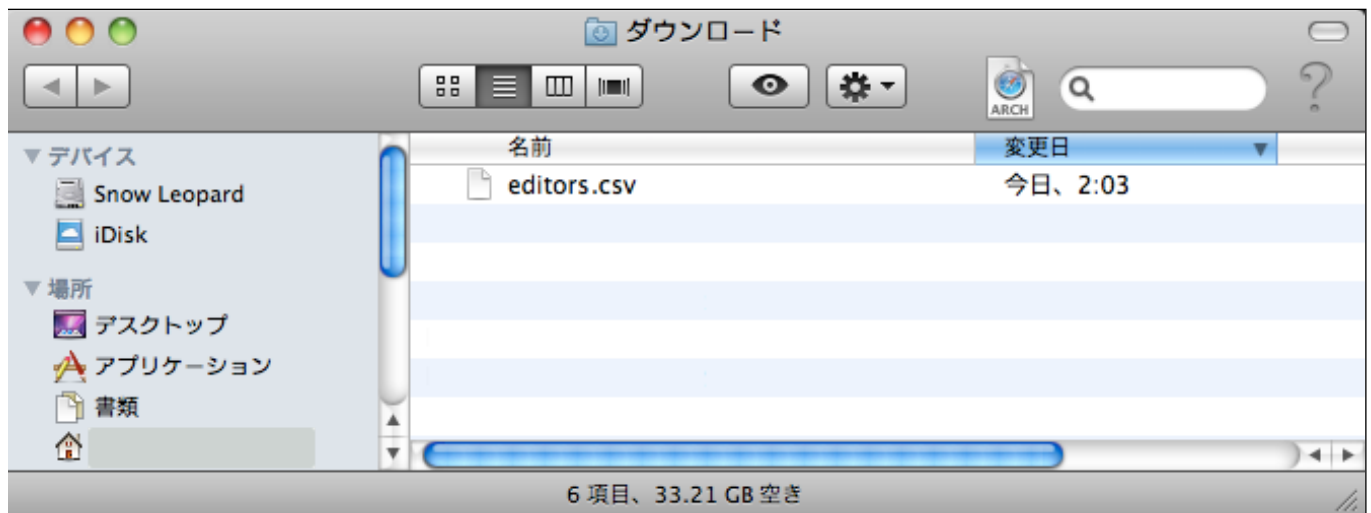
「編集者アカウント管理画面」の「アカウント書き出し」メニューをクリックすると、登録されている複数の編集者の情報をCSVファイルとして書き出すことができます。編集者アカウントの書き出し方法は、以下のようになります。

1. 「アカウント書き出し」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。
「エンコーディング（出力する文字の種類）」では、ドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「書き出し」をクリックします

※ ExcelでCSVを使用する場合には「Shift_JIS」を選択してください。



2. 編集者アカウントのリストがCSV形式のファイルとしてダウンロードフォルダに保存されます。
ファイル名は「editors.csv」となります。



3. ダウンロードフォルダに保存されたCSVファイルを開いてみると、以下のような内容でデータが書き出されています。

※ Passwordは書き出されません。

※ ユーザの一括更新メニューで "Disable(無効化)", "Delete(削除)"という特別な項目を設定して更新されたデータの場合は、「Disable」、「Delete」の項目も書き出されます。詳細は前項を参照してください。

	A	B	C	D	E	F
1	Username	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	Disable
2	testadmin	[redacted]	test	admin	[redacted]	0
3	testadmin_2	[redacted]	test	admin2	[redacted]	0
4	Test1	[redacted]	F test1	L test2	[redacted]	0
5	Test2	[redacted]	F test2	L test2	[redacted]	0

追加



「編集者アカウント管理画面」の「追加」メニューをクリックすると、編集者のアカウントを新しく作成して追加することができます。編集者のアカウントの追加方法は、以下のようになります。

「追加」メニューをクリックすると、以下のような新たに編集者を追加するための画面が表示されます。

編集者アカウント

名

姓

編集者アカウント

部署

メールアドレス

パスワード

パスワード (確認)

招待メールを送る

名：編集者の名前を入力します。

姓：編集者の姓を入力します。

編集者アカウント：編集者のアカウント名を入力します。

部署：編集者の部署(グループ)を入力します。部署フィールドは任意の文字列が入力可能で50文字までです。

メールアドレス：編集者のメールアドレスを入力します。

パスワード：編集者のログインパスワードを入力します。6文字以上以上50までで入力して下さい。

招待メールを送る：チェックを入れると、新しく追加した閲覧者にHandbookの招待メールが届きます。

編集



「編集者アカウント管理画面」の「編集」メニューをクリックすると、編集者のアカウントの内容を追加・変更するなどの編集をすることができます。編集者アカウントの編集方法は、以下のようになります。

「編集」メニューをクリックすると、以下のような編集者アカウントを編集するための画面が表示されます。

編集者アカウント

名	<input type="text" value="F test2"/>
姓	<input type="text" value="L test2"/>
編集者アカウント	<input type="text" value="Test2"/>
部署	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード (確認)	<input type="password"/>
アカウントの有効化	<input checked="" type="checkbox"/> オン
管理者権限	<input type="checkbox"/> オフ

名：編集者の名前を入力します。

姓：編集者の姓を入力します。

編集者アカウント：編集者のアカウント名を入力します。

部署：編集者の部署(グループ)を入力します。部署フィールドは任意の文字列が入力可能で50文字までです。

メールアドレス：編集者のメールアドレスを入力します。

パスワード：編集者のログインパスワードを入力します。6文字以上から50文字までで入力して下さい。

アカウントの有効化：登録した編集者を有効化します。オン、オフを切り替えることによって、選択した編集者のログインを可能にしたり、制限したりすることができます。一番最初に登録した編集者の編集画面には表示されません。

管理者権限：管理者権限:オン、オフを切り替えることによって、選択した編集者に管理者権限を付与することができます。

削除




「編集者アカウント管理画面」の「削除」メニューをクリックすると、選択した編集者のアカウントを削除することができます。編集者のアカウントの削除方法は、以下のようになります。

「編集者アカウント管理画面」にて「削除」メニューをクリックすると以下のような画面が表示され、選択した編集者を削除することができます。編集者の削除画面で「データベースからの削除」のチェックボックスをチェックしてから「OK」をクリックすると、データベースにある情報を完全に削除することができます。

「データベースからの削除」をチェックしないで「OK」をクリックしたい場合（完全に削除しない場合）には、この編集者のログインは制限されるようになりますが、「編集者アカウント管理画面」のリストに表示されたまま残ります。



編集者を完全に削除しないでリストに残した場合、この編集者を選択してから  「編集」メニューをクリックして表示される「編集者アカウント画面」にて「アカウントの有効化」項目を「オン」にすると、再びこの編集者をログイン可能な状態に戻すことができます。

A screenshot of the '編集者アカウント' (Edit Editor Account) form. The form has the following fields: '名' (Name) with value 'F test2', '姓' (Surname) with value 'L test2', '編集者アカウント' (Editor Account) with value 'Test2', '部署' (Department), 'メールアドレス' (Email Address), 'パスワード' (Password), and 'パスワード (確認)' (Password Confirmation). At the bottom, there are two toggle switches: 'アカウントの有効化' (Account Activation) set to 'オン' (On) and '管理者権限' (Admin Rights) set to 'オフ' (Off). At the very bottom are two blue buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

編集者アカウントの検索



空欄に編集者アカウントを入力して検索します。

2.3. 閲覧者アカウント管理画面

「管理画面切替えメニュー」の「閲覧者アカウント管理」をクリックすると、閲覧者アカウント画面 (ユーザーの管理画面) に切り替わります。



【閲覧者アカウント管理画面】

ID	閲覧者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス	端末バー...
109	testuser	test	user	D1		androidtable...
137	testuser_2	test	user2	D2		androidtable...
144	testuser_4	test	user_4	D2		
147697	Test1	F test1	L test2	D2		
147698	Test2	F test2	L test2	D1		

閲覧者アカウント画面の各項目の説明は、以下のようになります。

<管理画面切替えメニュー>

管理画面の各項目をクリックして、Handbookで作成されたブックファイル、編集者/閲覧者のアカウントやグループなどを作成するための画面を表示します。

<閲覧者アカウントの情報>

ID	閲覧者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス	端末バー...
109	testuser	test	user	D1		androidtable...
137	testuser_2	test	user2	D2		androidtable...
144	testuser_4	test	user_4	D2		
147697	Test1	F test1	L test2	D2		
147698	Test2	F test2	L test2	D1		

閲覧者(ユーザー)のアカウント情報を表示します。20件ごとにページが切り換わります。

ID

閲覧者のIDを表示します。

閲覧者アカウント

閲覧者名を表示します。

名

閲覧者の名前を表示します。

姓

閲覧者の姓を表示します。

部署

閲覧者の部署(グループ)を表示します。

メールアドレス

閲覧者のメールアドレスを表示します。

端末バージョン

閲覧者が利用している端末にインストールされているHandbookアプリのバージョンが表示されます。

<閲覧者アカウント管理画面のメニュー>

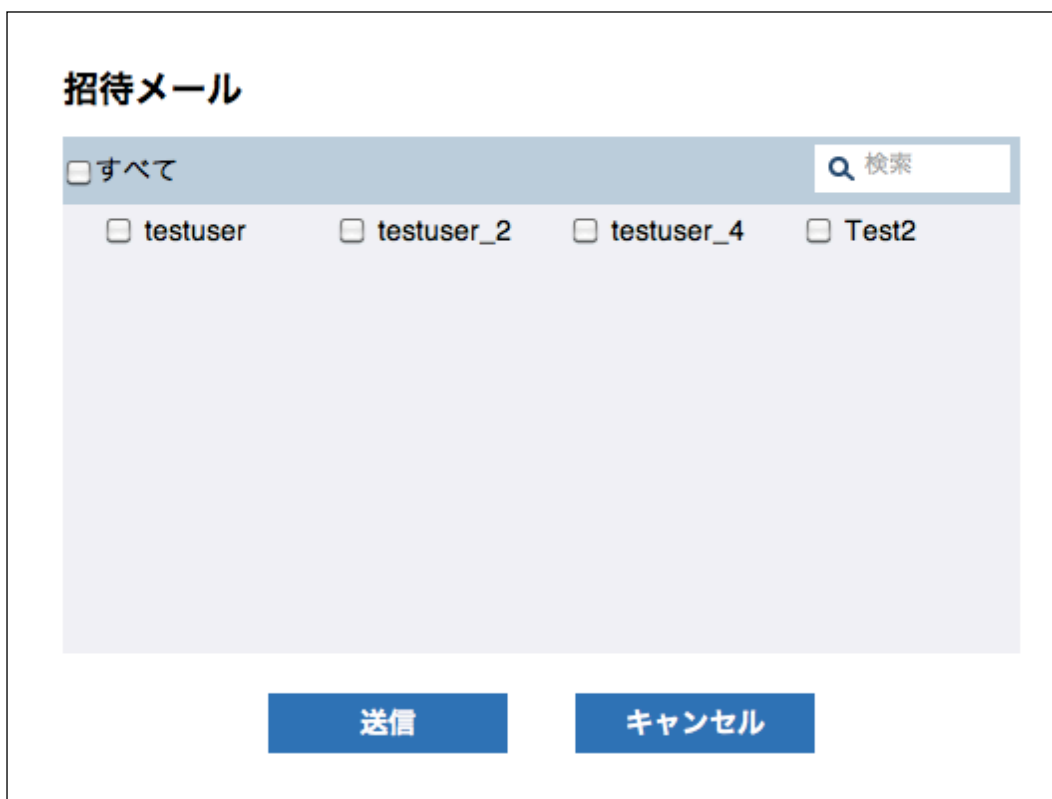


「閲覧者アカウント管理画面」のメニューでは、閲覧者情報の追加・編集や、複数の閲覧者の一括登録・更新などを行うことができます。

招待メール



「閲覧者アカウント管理画面」の「招待」メニューをクリックすると以下のような画面が表示され、選択した閲覧者にHandbook事務局からHandbookのurlの記載された招待メールが送られます。



アカウント一括登録（CSVファイルの読み込み）



「アカウント一括登録」メニューをクリックすると、複数の閲覧者の情報が書かれたCSVファイルを読み込んで、閲覧者の一括登録を行うことができます。閲覧者の一括登録の方法は、以下のようになります。

※ 既存のユーザデータの更新だけを行なう機能です。ご契約プランにより使用できます。メニューが表示されない場合は使用できません。

1. **アカウント一括登録** をクリックします。

The screenshot shows a table with columns: ID, 閲覧者アカウント, 名, 姓, 部署, メールアドレス, and 端末バー... The table contains three rows of test data.

ID	閲覧者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス	端末バー...
109	testuser	test	user	D1		androidtable...
137	testuser_2	test	user2	D2		androidtable...
144	testuser_4	test	user_4	D2		

2. 以下のような画面が表示されます。

「ファイルの選択」ボタンをクリックして、あらかじめ作成してあるCSVファイルを読み込みます。

The screenshot shows the 'アカウント一括登録' (Bulk Account Registration) screen. It includes a title, a description, a sample CSV table, and input fields for 'CSVファイル' and 'エンコーディング'. There are 'プレビュー' (Preview) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

アカウント一括登録

以下のフォーマットのCSVで記述された閲覧者アカウントリストをインポートしてください

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev	aeb2c344	Xoc443	1
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christirte	Rose	Sales	afr2c138	yQb,172	0

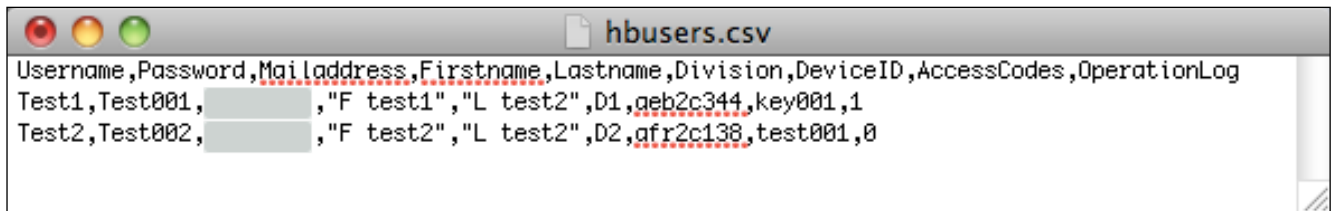
CSVファイル ファイル... 択です

エンコーディング

※ 一括登録画面では、CSVファイルのサンプル画像が表示されています。このサンプル画像を参考にして、あらかじめ以下のようなCSVファイルを作成しておきます。

1行目にはフィールド名（列のタイトル）が必要です。空白を含む場合は「"」で囲み、それ以外は「"」は不要です。ユーザー名は英字始まりで記述し、パスワードは6文字以上としてください。

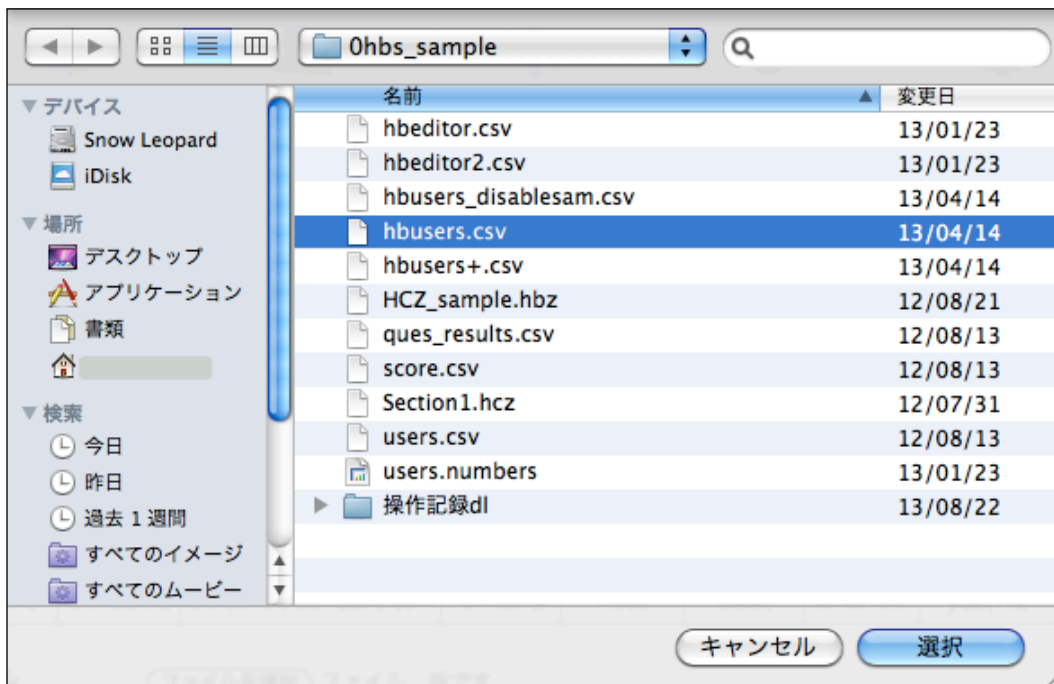
【テキストファイルで作成したCSVファイルの例】



【Excelソフトで作成したCSVファイルの例】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog
2	Test1	Test001		F test1	L test2	D1	aeb2c344	key001	1
3	Test2	Test002		F test2	L test2	D2	afr2c138	test001	0
4									
5									

3. 「ファイルの選択」ボタンをクリックすると、以下のようなファイル選択画面が表示されるので、CSVファイルを選択します。



4. 「ファイルを選択」ボタンの横にCSVファイル名が表示されます。「エンコーディング（出力する文字の種類）」では、ドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「プレビュー」をクリックします。

アカウント一括登録

以下のフォーマットのCSVで記述された閲覧者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev	aeb2c344	Xoc443	1
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christine	Rose	Sales	afr2c138	yQb;172	0

CSVファイル hbusers.csv

エンコーディング

5. 閲覧者アカウント画面にCSVファイルの内容を読み込んだ場合のプレビュー（確認）画面が表示されます。

アカウント一括登録

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog	Status
2	Test1	Test001		F test1	L test2	D1	aeb2c344	key001	1	
3	Test2	Test002		F test2	L test2	D2	afr2c138	test001	0	

*よろしければ保存ボタンを押してください

6. 「問題のある行のみ表示する」をチェックすると、問題のある行のみが表示されます。
 ※ 問題のある行が含まれている場合の表示については、「2.2.編集者アカウント管理画面」の「- 問題のある行が含まれている場合の表示」を参照してください。

アカウント一括登録

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog	Status
2	Test1	Test001		F test1	L test2	D1	aeb2c344	key001	1	
3	Test2	Test002		F test2	L test2	D2	afr2c138	test001	0	

*よろしければ保存ボタンを押してください

7. 以下のような画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

アカウント一括登録

結果 問題のある行のみ表示する


	A	B	C	D	E	F	G
1	Username	Passwor d	Mailaddress	Firstnam e	Lastnam e	Division	Status

データの保存が完了しました

OK

8. 閲覧者アカウント画面にCSVファイルの内容が読み込まれ、複数の閲覧者の情報が登録されました。以上で閲覧者の一括登録の方法は終了です。

ID	閲覧者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス	端末バー...
109	testuser	test	user	D1		androidtable...
137	testuser_2	test	user2	D2		androidtable...
144	testuser_4	test	user_4	D2		
148646	Test1	F test1	L test2	D1		
148647	Test2	F test2	L test2	D2		

9. 各項目が入力されているかどうかは、リストを選択してから  「編集」メニューをクリックして表示される「閲覧者アカウント画面」にて確認することができます。詳しくは後述の「編集」の項を参照してください。

【ユーザの編集画面で確認】

閲覧者アカウント

*名	<input type="text" value="F test2"/>
*姓	<input type="text" value="L test2"/>
*閲覧者アカウント	<input type="text" value="Test2"/>
部署	<input type="text" value="D1"/>
*メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード (確認)	<input type="password"/>
アクセスコード	<input type="text" value="test001"/>
グループアクセスコード	<input type="text"/>
デバイスID セミコロン(:)分割で複数記入可	<input type="text" value="afr2c138"/>
操作記録設定	<input type="checkbox"/> オフ
アカウントの有効化	<input checked="" type="checkbox"/> オン

アカウント一括更新



「閲覧者アカウント管理画面」の「一括更新」メニューをクリックすると、複数の閲覧者の追加・変更された情報が書かれたCSVファイルを読み込んで、閲覧者の一括更新を行うことができます。閲覧者の一括更新の方法は、以下ようになります。

※ 既存のユーザデータの更新だけを行なう機能です。ご契約プランにより使用できます。メニューが表示されない場合は使用できません。

1. リストのデータの内容を更新したい場合は、データの元になるCSVファイルの内容を変更してから、再度読み込みを行います。

【例：「Test2」の「部署」を「D2」から「D1」に変更・更新する場合】

ID	閲覧者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス	端末バー...
109	testuser	test	user	D1		androidtable...
137	testuser_2	test	user2	D2		androidtable...
144	testuser_4	test	user_4	D2		
148646	Test1	F test1	L test2	D1		
148647	Test2	F test2	L test2	D2		

2. まず、「アカウント一括更新」メニューをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

アカウント一括更新

以下のフォーマットのCSVで記述された編集者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christirte	Rose	Sales

CSVファイル ファイル... 択です

エンコーディング

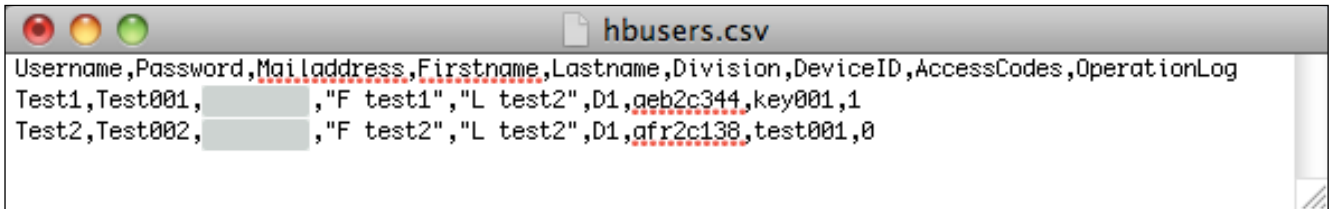
※ 一括更新画面では、CSVファイルのサンプル画像が表示されています。このサンプル画像を参考にして、あらかじめ以下のようなCSVファイルの変更・追加をしておきます。

1行目にはフィールド名（列のタイトル）が必要です。ユーザー名は英字始まりで記述し、パスワードは6文字以上としてください。

※ 旧バージョンで使用していた「部署(Division)」などの記述がないCSV形式のファイルも読み込むことができます。

※ 列の項目の順番は入れ替えることができます。またDivisionの列は省略が可能です。省略された列の値は更新されません。

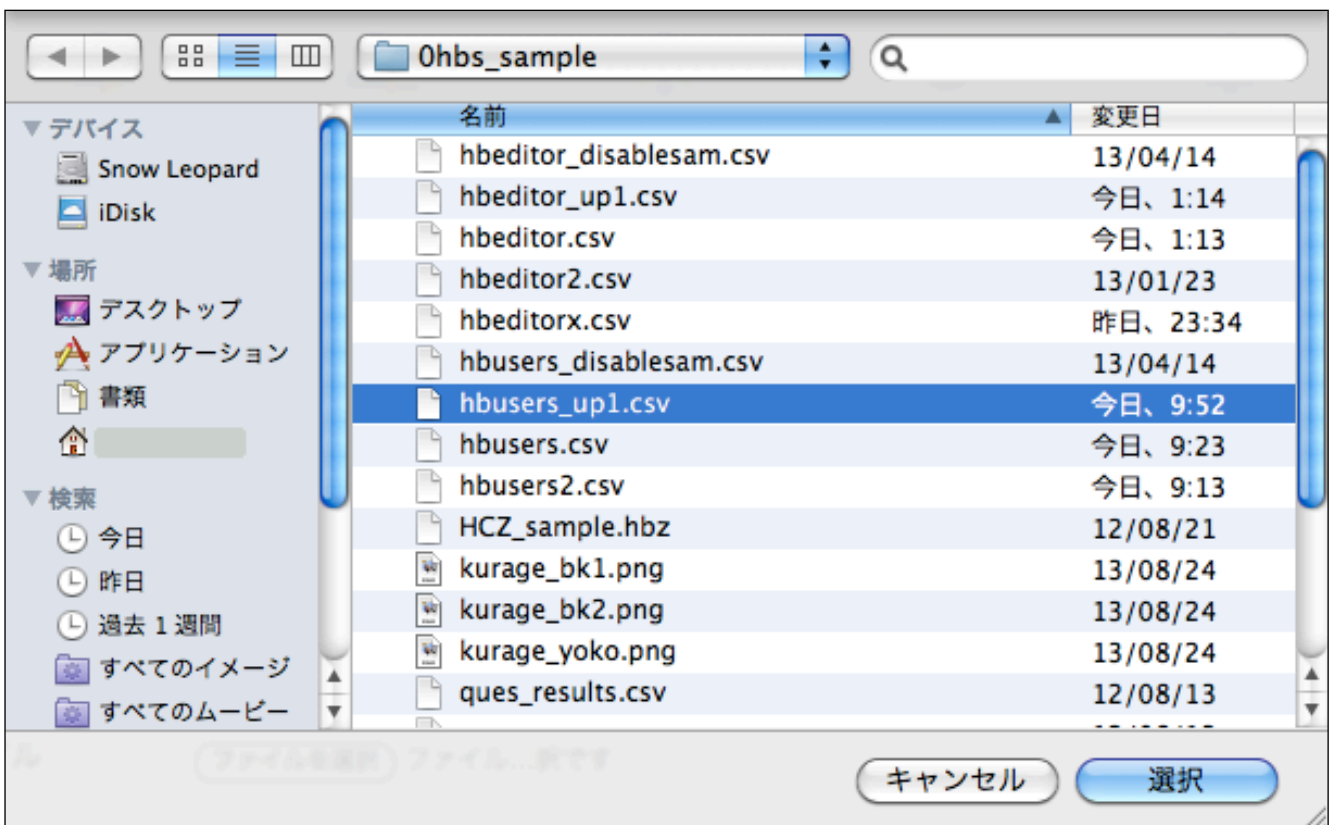
【テキストファイルで作成したCSVファイルの例：Test2のDivision(部署)をD2→D1に変更】



【Excelソフトで作成したCSVファイルの例：Test2のDivision(部署)をD2→D1に変更】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog
2	Test1	Test001		F test1	L test2	D1	aeb2c344	key001	1
3	Test2	Test002		F test2	L test2	D1	afr2c138	test001	0
4									
5									

3. Handbookユーザーの一括更新画面で、「ファイルを選択」ボタンをクリックすると、以下のようなファイル選択画面が表示されるので、データを変更したCSVファイルを選択します。



4. 「ファイルを選択」ボタンの横にCSVファイル名が表示されます。「エンコーディング（出力する文字の種類）」では、ドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「プレビュー」ボタンをクリックして、情報を読み込む前に、読み込んだ際に表示される画面の確認をします。

アカウント一括更新

以下のフォーマットのCSVで記述された閲覧者アカウントリストをインポートしてください

<	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog
2	brandon	Xc3zhP24	brandon@company.com	Brandon	Smith	Dev	aeb2c344	Xoc443	1
3	christine	bN7CEtn5	christine@company.com	Christirte	Rose	Sales	afr2c138	yQb;172	0

CSVファイル huser...p1.csv

エンコーディング

5. 閲覧者アカウント管理画面にCSVファイルの内容を読み込んだ場合のプレビュー（確認）画面が表示されます。右上の「問題のある行のみ表示する」をチェックすると、問題のある行のみが表示されます。確認が終了したら、「保存」をクリックしてCSVファイルの情報を読み込みます。

アカウント一括更新

更新、削除されたアカウントは元には戻りません。保存する前によくご確認ください。

プレビュー 問題のある行のみ表示する

<	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog	Status
2	Test1	Test001		F test1	L test2	D1	aeb2c344	key001	1	
3	Test2	Test002		F test2	L test2	D1	afr2c138	test001	0	

*よろしければ保存ボタンを押してください

6. 次に表示される画面では、「Status(状況確認欄)」に正常処理されたことを示す緑のマークが表示されています。最後に「OK」をクリックします。

アカウント一括更新

結果 問題のある行のみ表示する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	Username	Password	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog	Status
1	Test1	Test001		F test1	L test2	D1	aeb2c344	key001	1	✔
3	Test2	Test002		F test2	L test2	D1	afr2c138	test001	0	✔

データの保存が完了しました

OK

7. 閲覧者アカウント画面にCSVファイルの内容が読み込まれ、ユーザの情報が更新されました。以上で閲覧者の一括更新の方法は終了です。
- ※ 更新したいデータのみ更新と閲覧者の "無効化"や "削除"項目を設定する場合には、「2.2.編集者アカウント管理画面」の「- 更新したいデータのみ更新と編集者/閲覧者の無効化や削除項目を設定する場合」を参照してください。

【Test2のDivision(部署)がD2→D1に変更された】

ID	閲覧者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス	端末バー...
109	testuser	test	user	D1		androidtable...
137	testuser_2	test	user2	D2		androidtable...
144	testuser_4	test	user_4	D2		
148646	Test1	F test1	L test2	D1		
148647	Test2	F test2	L test2	D1		

アカウント書き出し(閲覧者アカウントをCSVファイルとして書き出し)

ブック管理
編集者アカウント管理
閲覧者アカウント管理
閲覧者グループ管理
統計
環境設定
ログアウト

招待メール
アカウント一括登録
アカウント一括更新
アカウント書き出し
+ 追加
編集
削除
検索

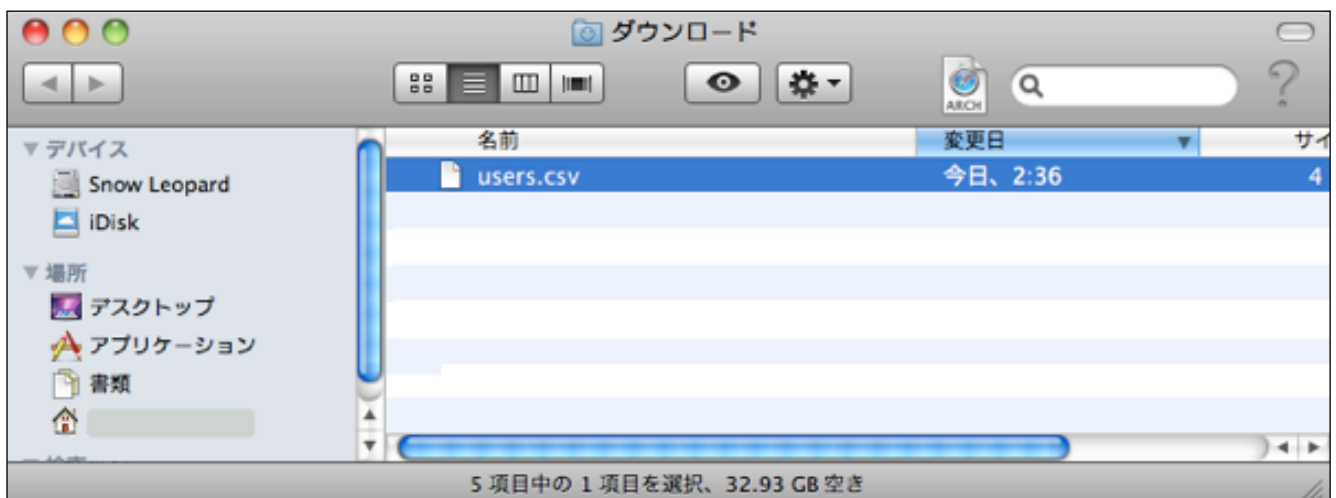
「閲覧者アカウント管理画面」の「アカウント書き出し」メニューをクリックすると、登録されている複数の閲覧者の情報をCSVファイルとして書き出すことができます。閲覧者アカウントの書き出し方法は、以下のようになります。

- 「アカウント書き出し」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。
「エンコーディング(出力する文字の種類)」では、ドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「書き出し」をクリックします

※ ExcelでCSVを使用する場合には「Shift_JIS」を選択してください。



2. 閲覧者アカウントのリストがCSV形式のファイルとしてダウンロードフォルダに保存されます。ファイル名は「users.csv」となります。



3. ダウンロードフォルダに保存されたCSVファイルを開いてみると、以下のような内容でデータが書き出されています。

※ Passwordは書き出されません。

※ ユーザの一括更新メニューで "Disable(無効化)", "Delete(削除)"という特別な項目を設定して更新されたデータの場合は、「Disable」、「Delete」の項目も書き出されます。詳細は前項を参照してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Username	Mailaddress	Firstname	Lastname	Division	DeviceID	AccessCode	OperationLog	Disable
2	testuser		test	user	D1		testadmin	1	0
3	testuser_2		test	user2	D2		testadmin	1	0
4	testuser_4		test	user_4	D2			0	0
5	Test1		F test1	L test2	D2	aeb2c344	key001	1	1
6	Test2		F test2	L test2	D1	afr2c138	test001	0	0

追加



「閲覧者アカウント管理画面」の「追加」メニューをクリックすると、閲覧者のアカウントを新しく作成して追加することができます。閲覧者のアカウントの追加方法は、以下のようになります。

「追加」メニューをクリックすると、以下のような新たに閲覧者を追加するための画面が表示されます。

閲覧者アカウント

*名

*姓

*閲覧者アカウント

部署

*メールアドレス

パスワード

パスワード (確認)

アクセスコード

デバイスID
セミコロン(;)分割で複数記入可

操作記録設定 オフ

アカウントの有効化 オン

招待メールを送る

※ 「*」印のついている項目は必須入力欄です。

名：閲覧者の名前を入力します。

姓：閲覧者の姓を入力します。

閲覧者アカウント：閲覧者のアカウント名を入力します。閲覧者アカウント名は最初アルファベットではじまり、以後、アルファベット、数字、アンダーバー“_”とハイフン“-”が使用できます。4文字以上30文字までで入力して下さい。

部署：閲覧者の部署(グループ)を入力します。部署フィールドは任意の文字列が入力可能で50文字までです。

メールアドレス：閲覧者のメールアドレスを入力します。

パスワード：閲覧者のログインパスワードを入力します。6文字以上以上50までで入力して下さい。

アクセスコード：閲覧者が使用できるアクセスコード（特定のHandbookコンテンツを見るための番号）を入力します。

デバイスID：閲覧者が使用するタブレットやスマートフォンなどの情報端末の識別子（デバイスID）の番号を入力します。環境設定画面で「ログインをデバイスIDによって制限する」にチェックを入れた場合は、その識別子をもつ情報端末からのみログインしてブックの参照を行うことができるようになります。

デバイスIDは最大250文字です。iPad, iPhone, Windows 8のようなデバイスIDでの登録は最大6台までとなります。（Android OSでは端末のIDがデバイスIDでないため、台数では定義しておりません。このサイズを超えない範囲でご登録いただけます。）記述する場合はスペース文字を含まずにセミコロン(;)で各IDを区切って記述してください。最後のセミコロンは必要ありません。

※ ログインをデバイスIDによって制限する設定方法については、「2.6. 環境設定」の「クライアント配布設定」を参照してください。

操作記録設定：「記録しない」もしくは、「記録する」をクリックして、閲覧者がコンテンツを開いた時間を記録するかしないかを設定します。

アカウントの有効化：登録した閲覧者を有効化します。オン、オフを切り替えることによって、選択した閲覧者のログインを可能にしたり、制限したりすることができます。一番最初に登録した閲覧者の編集画面には表示されません。

招待メールを送る：チェックを入れると、新しく追加した閲覧者にHandbookの招待メールが届きます。

編集



「閲覧者アカウント管理画面」の「編集」メニューをクリックすると、閲覧者のアカウントの内容を追加・変更などの編集をすることができます。閲覧者のアカウントの編集方法は、以下ようになります。

「編集」メニューをクリックすると、以下のような閲覧者アカウントを編集するための画面が表示されます。

閲覧者アカウント

*名	<input type="text" value="F test2"/>
*姓	<input type="text" value="L test2"/>
*閲覧者アカウント	<input type="text" value="Test2"/>
部署	<input type="text" value="D1"/>
*メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード (確認)	<input type="password"/>
アクセスコード	<input type="text" value="test001"/>
グループアクセスコード	<input type="text"/>
デバイスID セミコロン(;)分割で複数記入可	<input type="text" value="afr2c138"/>
操作記録設定	<input type="checkbox"/> オフ
アカウントの有効化	<input checked="" type="checkbox"/> オン

※ 「*」印のついている項目は必須入力欄です。

名：閲覧者の名前を入力します。

姓：閲覧者の姓を入力します。

閲覧者アカウント：閲覧者のアカウント名を入力します。閲覧者アカウント名は最初アルファベットではじまり、以後、アルファベット、数字、アンダーバー"_"とハイフン"-"が使用できます。4文字以上30文字までで入力して下さい。

部署：閲覧者の部署(グループ)を入力します。部署フィールドは任意の文字列が入力可能で50文字までです。

メールアドレス：閲覧者のメールアドレスを入力します。

パスワード：閲覧者のログインパスワードを入力します。6文字以上から50文字までで入力して下さい。

アクセスコード：閲覧者が使用できるアクセスコード（特定のHandbookコンテンツを見るための番号）を入力します。

グループアクセスコード：閲覧者が使用できるグループのアクセスコードを入力します。

デバイスID：閲覧者が使用するタブレットやスマートフォンなどの情報端末の識別子（デバイスID）の番号を入力します。ブックの編集画面で「ログインをデバイスIDによって制限する」にチェックを入れた場合は、その識別子をもつ情報端末からのみログインしてブックの参照を行うことができるようになります。

デバイスIDは最大250文字です。iPad, iPhone, Windows 8のようなデバイスIDでの登録は最大6台までとなります。（Android OSでは端末のIDがデバイスIDでないため、台数では定義しておりません。このサイズを超えない範囲でご登録いただけます。）記述する場合はスペース文字を含まずにセミコロン(;)で各IDを区切って記述してください。最後のセミコロンは必要ありません。

※ ログインをデバイスIDによって制限する設定方法については、「2.6. 環境設定」の「クライアント配布設定」を参照してください。

操作記録設定：「オン(記録する)」もしくは、「オフ(記録しない)」をクリックして、閲覧者がコンテンツを開いた時間を記録するかしないかを設定します。

アカウントの有効化：登録した閲覧者を有効化します。オン、オフを切り替えることによって、選択した閲覧者のログインを可能にしたり、制限したりすることができます。一番最初に登録した閲覧者の編集画面には表示されません。

削除




「閲覧者アカウント管理画面」の「削除」メニューをクリックすると、選択した閲覧者のアカウントを削除することができます。閲覧者のアカウントの削除方法は、以下のようになります。

「閲覧者アカウント管理画面」にて「削除」メニューをクリックすると以下のような画面が表示され、選択した閲覧者を削除することができます。閲覧者の削除画面で「データベースからの削除」のチェックボックスをチェックしてから「OK」をクリックすると、データベースにある情報を完全に削除することができます。

「データベースからの削除」をチェックしないで「OK」をクリックした場合（完全に削除しない場合）には、この閲覧者のログインは制限されるようになりますが、「閲覧者アカウント管理画面」のリストに表示されたまま残ります。



閲覧者を完全に削除しないでリストに残した場合、この閲覧者を選択してから  「編集」メニューをクリックして表示される「閲覧者アカウント画面」にて「アカウントの有効化」項目を「オン」にすると、再びこの閲覧者をログイン可能な状態に戻すことができます。

閲覧者アカウント

*名	<input type="text" value="F test2"/>
*姓	<input type="text" value="L test2"/>
*閲覧者アカウント	<input type="text" value="Test2"/>
部署	<input type="text" value="D1"/>
*メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード (確認)	<input type="password"/>
アクセスコード	<input type="text" value="test001"/>
グループ アクセスコード	<input type="text"/>
デバイスID セミコロン(;)分割で複数記入可	<input type="text" value="afr2c138"/>
操作記録設定	<input type="checkbox"/> オン <input checked="" type="checkbox"/> オフ
アカウントの有効化	<input checked="" type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ

保存

キャンセル

閲覧者アカウントの検索



The navigation bar contains the following items from left to right: ブック管理 (Book Management), 編集者アカウント管理 (Editor Account Management), 閲覧者アカウント管理 (Viewer Account Management), 閲覧者グループ管理 (Viewer Group Management), 統計 (Statistics), 環境設定 (Environment Settings), and ログアウト (Logout). Below these are several action buttons: アカウント一括登録 (Batch Register Accounts), アカウント一括更新 (Batch Update Accounts), アカウント書き出し (Export Accounts), + 追加 (Add), 編集 (Edit), and × 削除 (Delete). A search input field with a magnifying glass icon and the text '検索' (Search) is highlighted with a red box.

空欄に閲覧者アカウントを入力して検索します。

2.4. 閲覧者グループ画面

「管理画面切替えメニュー」の「閲覧者グループ管理」をクリックすると、閲覧者のグループ管理画面に切り替わります。



【閲覧者グループ画面】

ID	閲覧者グループ名	閲覧者アカウント	アクセスコード	操作記録設定
48	group1	testuser,testuser_2	testadmin	記録しない
49	group2	testuser	testadmin	記録しない

閲覧者グループ画面の各項目の説明は、以下のようになります。

<管理画面切替えメニュー>

管理画面の各項目をクリックして、Handbookで作成されたブックファイル、編集者/閲覧者のアカウントやグループなどを作成するための画面を表示します。

<閲覧者グループの情報>

ID	閲覧者グループ名	閲覧者アカウント	アクセスコード	操作記録設定
48	group1	testuser,testuser_2	testadmin	記録しない
49	group2	testuser	testadmin	記録しない

閲覧者(ユーザー)のアカウント情報を表示します。20件ごとにページが切り換わります。

ID

閲覧者のIDを表示します。

閲覧者グループ名

閲覧者のグループ名を表示します。

閲覧者アカウント

閲覧者のアカウント前を表示します。

アクセスコード

グループの閲覧者が使用できるアクセスコード(特定のブックを見るための番号)を入力します。

操作記録設定

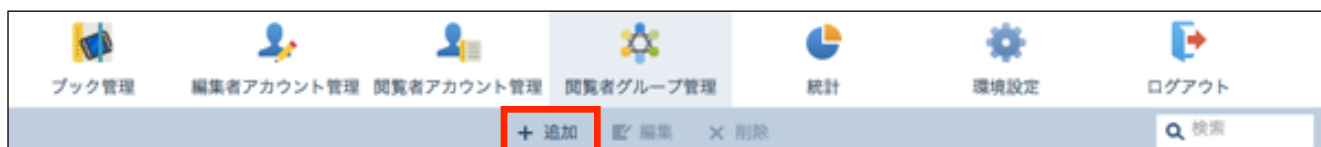
「オン(記録する)」もしくは、「オフ(記録しない)」をクリックして、グループの閲覧者がコンテンツを開いた時間を記録するかないかを設定します。

<閲覧者グループ管理画面のメニュー>



「閲覧者グループ管理画面」のメニューでは、閲覧者グループ情報の追加・編集や、削除を行うことができます。

追加



「閲覧者グループ管理画面」の「追加」メニューをクリックすると、閲覧者グループを新しく作成して追加することができます。閲覧者グループの追加方法は、以下のようになります。

1. 「追加」メニューをクリックすると、以下のような閲覧者グループを追加するための画面が表示されます。

閲覧者グループ

閲覧者グループ名 アクセスコード

操作記録設定 オン オフ

閲覧者アカウント

検索

testuser testuser_2 testuser_4 Test1 Test2

閲覧者グループ名：グループの名前を入力します。

アクセスコード：グループのアクセスコードを入力します。

操作記録設定：「オン（記録する）」もしくは、「オフ（記録しない）」をクリックして、閲覧者グループのメンバーがコンテンツを開いた時間を記録するかどうかを設定します。

閲覧者アカウント：グループに入れる閲覧者アカウントを選択します。

検索：閲覧者アカウントを検索します。

選択ボタン： のチェックボタンをクリックすることで、それぞれ左から「選択されていない全ての項目にチェックを入れる」、「全ての項目にチェックを入れる」、「全ての項目のチェックを外す」ことができます。

編集

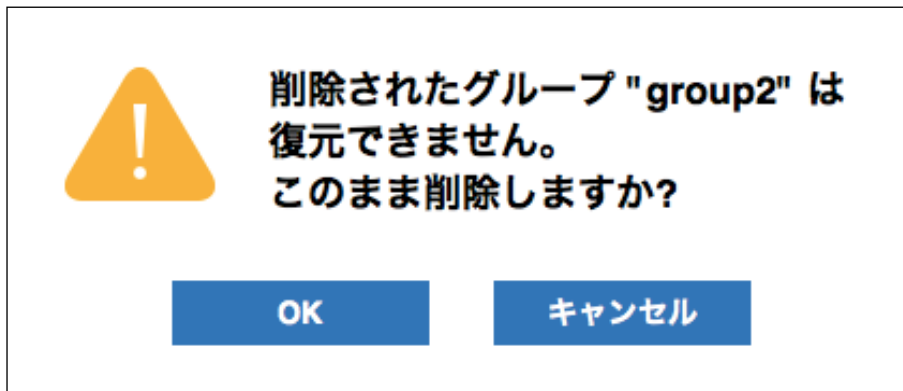


「編集」メニューをクリックすると、選択した閲覧者グループの内容を編集します。

削除



「閲覧者グループ管理画面」にて「削除」メニューをクリックすると以下のような画面が表示され、選択したグループを削除することができます。



閲覧者グループの検索



空欄に閲覧者グループ名を入力して検索します。

2.5. 統計

「管理画面切替えメニュー」の「統計」をクリックすると、統計情報の管理画面に切り替わります。統計情報の画面では、閲覧者のブックのログインや、アクセス、ダウンロードなどの回数や日時などを表示することができます。



【環境設定画面】

管理画面切替えメニュー

ブック管理 編集者アカウント管理 閲覧者アカウント管理 閲覧者グループ管理 統計 環境設定 ログアウト

編集者操作記録ダウンロード 閲覧者操作記録ダウンロード 試験結果ダウンロード アンケート結果ダウンロード

統計画面のメニュー

ログイン状況解析
操作別状況切替えボタン

すべてのユーザ 1時間ごと 1日ごと 時間帯別平均 曜日別平均 2013-06-01 2013-08-31

Handbook
閲覧者ログイン数

すべてのユーザのグラフ画面

ユーザを選択

Handbook
testuser

ユーザー別のグラフ画面

閲覧者グループ画面の各項目の説明は、以下のようになります。

<管理画面切替えメニュー>

管理画面の各項目をクリックして、Handbookで作成されたブックファイル、編集者/閲覧者のアカウントやグループなどを作成するための画面を表示します。

<統計メニュー>

「統計画面」のメニューでは、閲覧者の操作記録のダウンロードや、試験・アンケート結果のダウンロードを行うことができます。



「統計画面」の各メニューについての説明は、以下のようになります。

編集者操作記録ダウンロード



「統計画面」の「編集者操作記録ダウンロード」をクリックすると、編集者の操作記録をダウンロードすることができます。

※ ご契約プランにより使用できます。メニューが表示されない場合は使用できません。

※ この操作記録の目的は監査向けの機能です。記録されるログの内容は監査以外で使用することを目的としていませんので、時系列に編集者がどのような操作をしたかを順に記録していますが、その操作の詳細な内容は記録されていません。

1. 「編集者操作記録ダウンロード」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。



The screenshot shows a form titled '編集者操作記録ダウンロード'. It contains two date selection fields: '期間開始日' (Start Date) and '期間終了日' (End Date), each with a calendar icon to its right. Below these fields is a checkbox labeled 'すべての編集者データを1つのCSVファイルにマージ' (Merge all editor data into one CSV file). At the bottom, there are two blue buttons: 'ダウンロード' (Download) and 'キャンセル' (Cancel).

2. 右の四角マークをクリックすると、カレンダーが表示されるので、ダウンロードしたい期間の開始日と終了日を選択します。

編集者操作記録ダウンロード

期間開始日

期間終了日

すべての編集者データを

ダウンロード

2013年9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

3. 「すべてのユーザの編集者データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れて、「ダウンロード」をクリックします。「すべての編集者データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れた場合は、期間内に操作を行ったすべての閲覧者のデータが1つのファイルにまとめてダウンロードされます。チェックせずに「ダウンロード」をクリックすると、個別の記録がダウンロードされます。

編集者操作記録ダウンロード

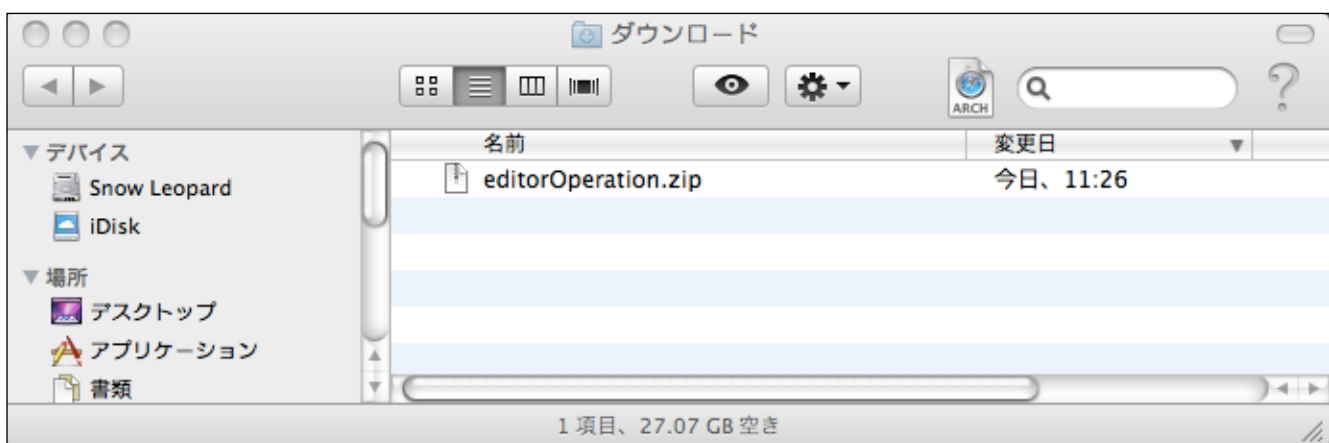
期間開始日

期間終了日

すべての編集者データを1つのCSVファイルにマージ

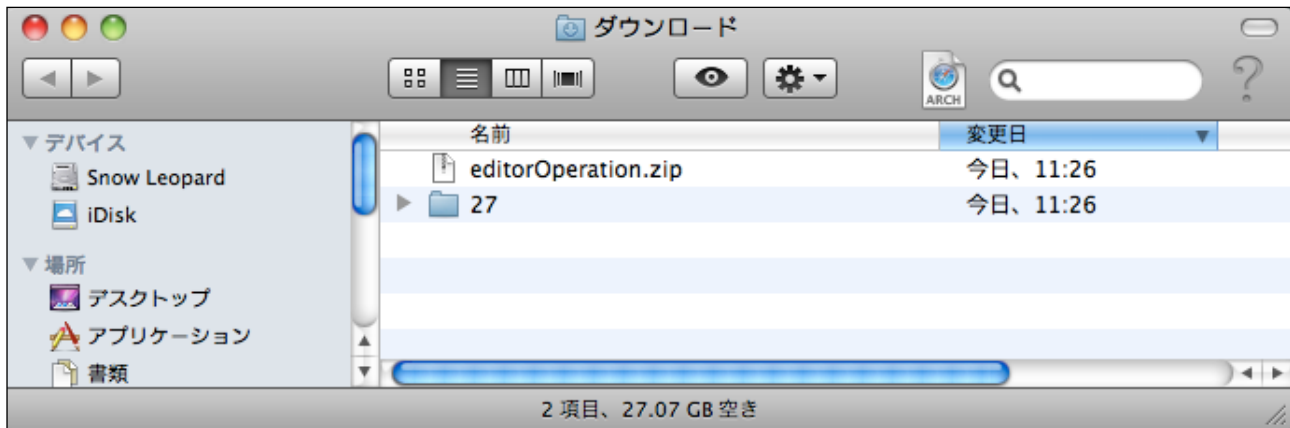
ダウンロード **キャンセル**

4. 編集者の操作記録が「editorOperation.zip」として「ダウンロード」フォルダにダウンロードされます。



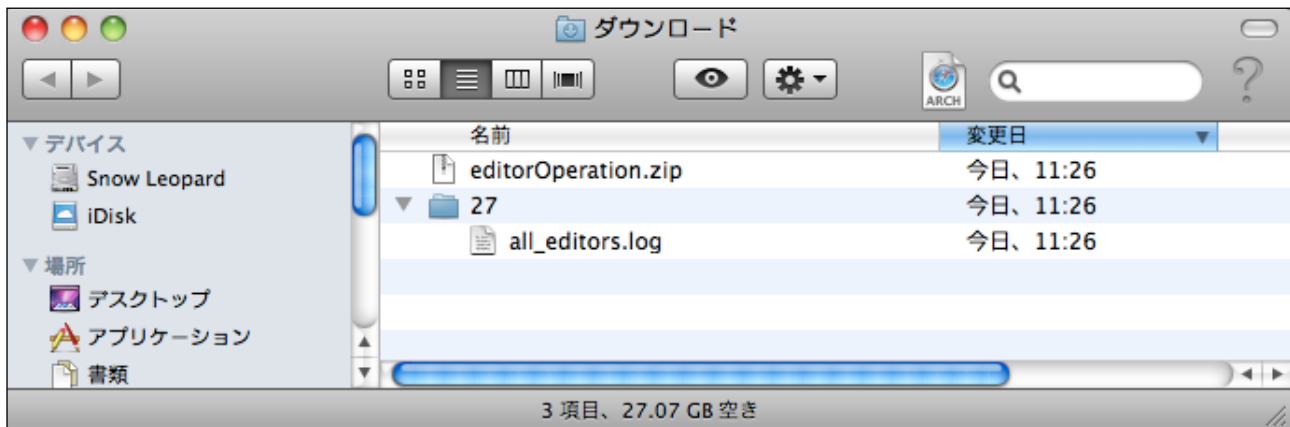
5. Zipファイルをクリックして展開すると、以下のようなフォルダが表示されるので、クリックして開きます。

【編集者が使用している環境設定のID名のついたフォルダが表示】



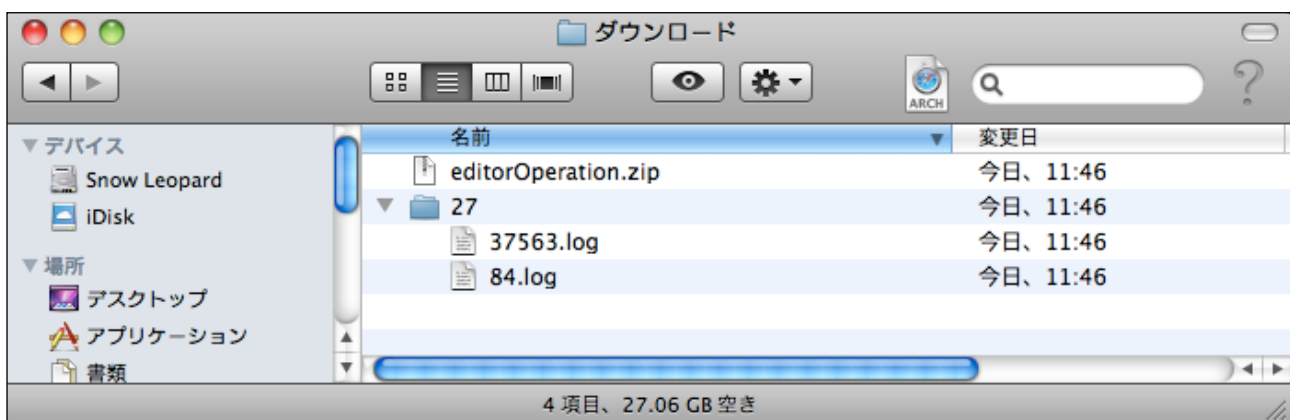
6. フォルダの中には、以下のように「all_editors.log」というファイルが入っているので、クリックして開きます。

【「すべての編集者データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れた場合】

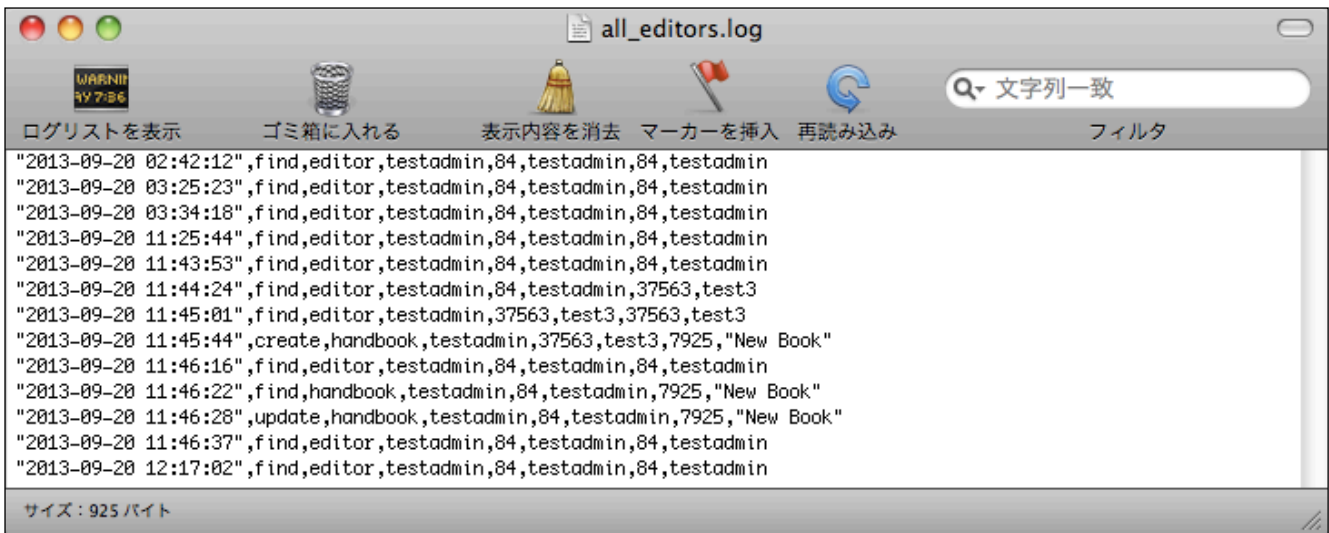


※ 「すべての編集者データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れずに「ダウンロード」をクリックした場合は、以下のように編集者ごとのID名のついたログが複数個作成されます。

【「すべての編集者データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れなかった場合】



7. 「all_editors.log」 をタップすると、以下のように指定した期間内の全ての編集者の操作記録が表示されます。

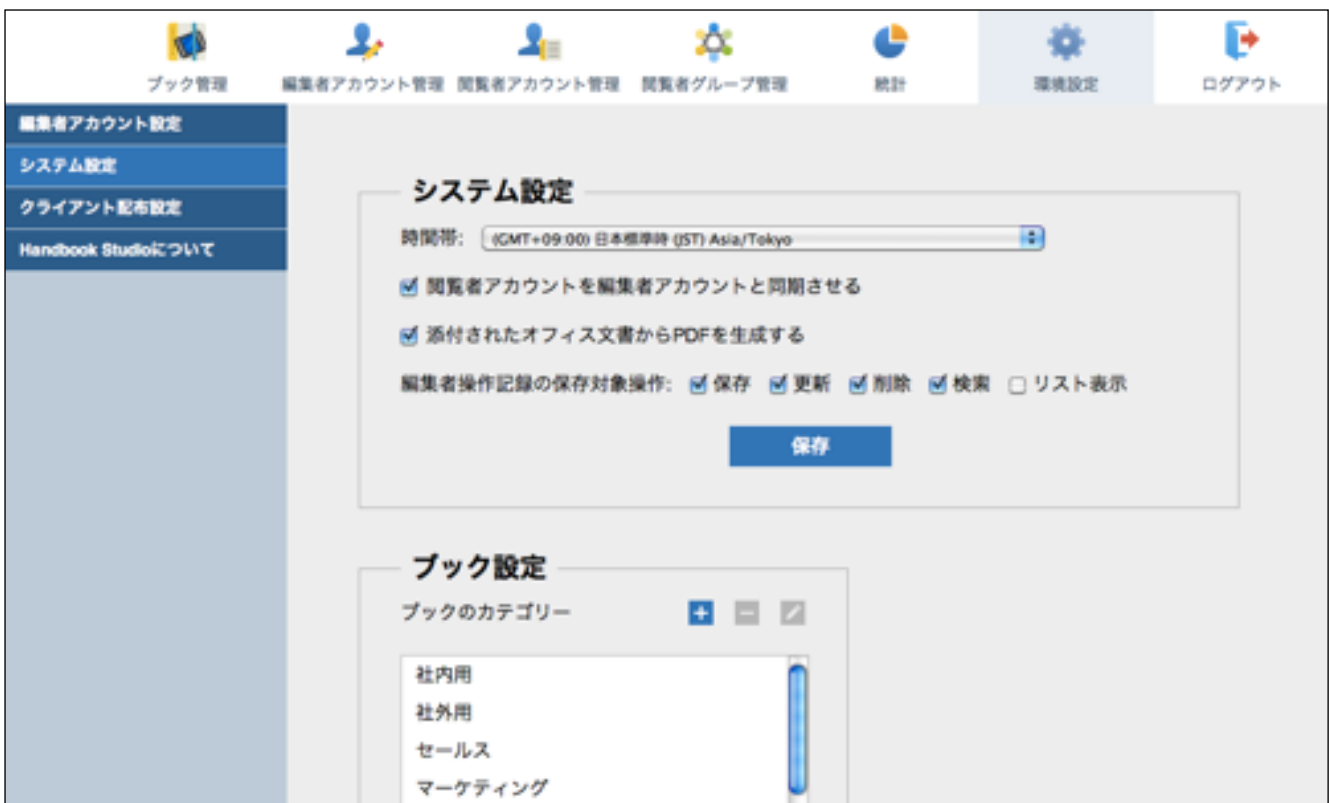


ログとして書き出された編集者操作記録の意味は、以下のようになります。

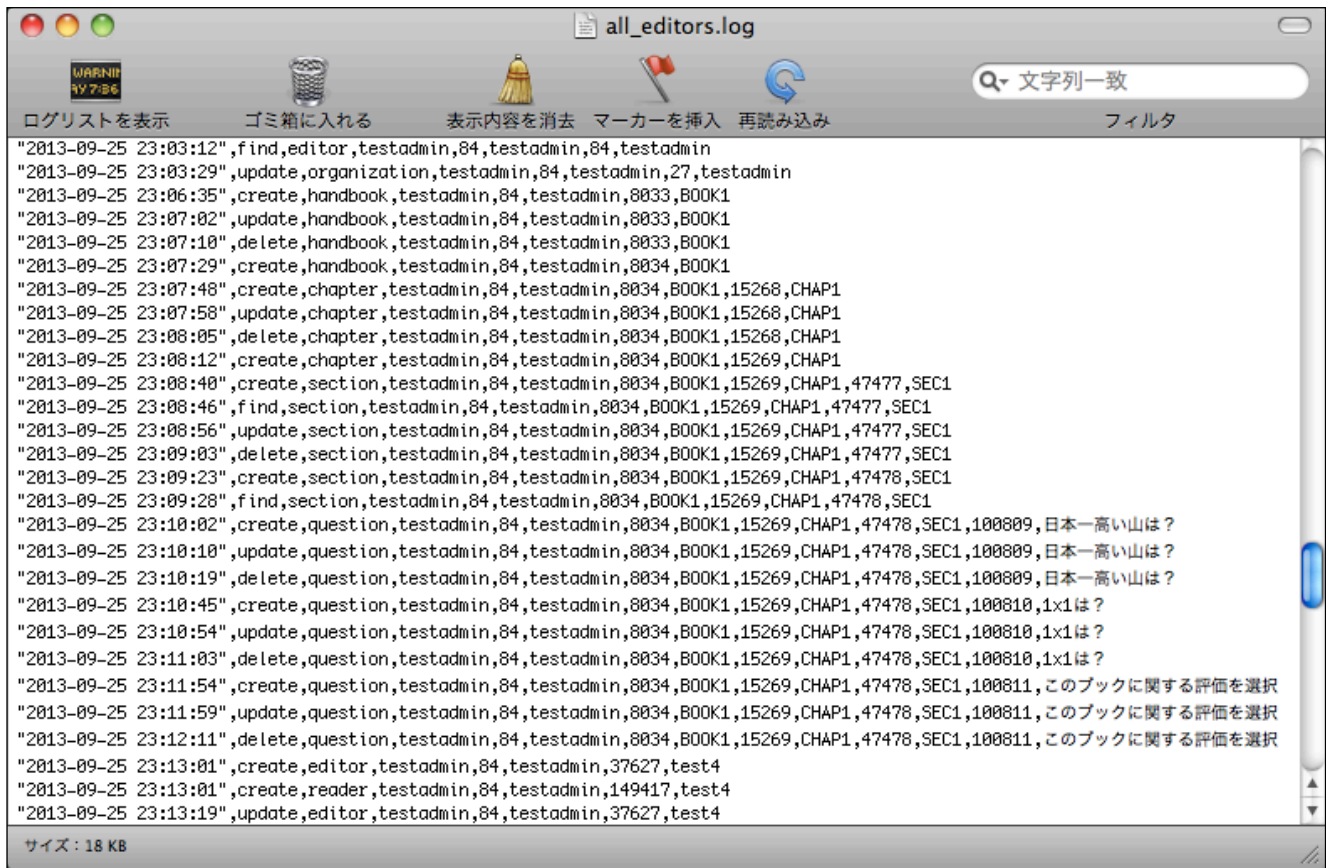
※ 各ログの例と説明については、後述の「 - ダウンロードされた操作記録の各ログの例と意味」を参照してください。

ログの例	"2013-09-20 11:45:44",create,handbook,testadmin,37563,test3,7925,"New Book"
意味	"年月日 時刻",作成する,ハンドブック,編集者名,編集者ID,編集者名,ブックのID,"ブック名"

8. 上記の青い字の部分の記録項目は、あらかじめHandbook Studioの「環境設定」で設定しておくことができます。「環境設定」画面の「システム設定」を開いてみると、「編集者操作記録の保存対象操作」という項目があります。ここで記録したい項目にチェックを入れて、「保存」をしておきます。「保存」は「create」、「更新」は「update」、「削除」は「delete」、「検索(ログイン)」は「find」としてログに記録されます。



- ダウンロードされた操作記録の各ログの例と意味



ダウンロードされた編集者操作記録の各ログの例と意味を、以下の表に記述します。

表の青いログの部分は、「環境設定」画面にある「システム設定」の「編集者操作記録の保存対象操作」であらかじめ設定された記録ログの部分です。「create(保存)」、「update(更新)」、「delete(削除)」、「find(検索/ログイン)」は、互いに置き換えることができます。「list(リスト表示)」は、「環境設定」の「システム設定」でリスト表示の操作記録にチェックを入れてから閲覧した場合のみ表示されます。また、「クイズ」、「試験」、「アンケート」などの設問部分は、共通の「question」というログで表示されます。

ログの例(上段) → ログの意味(下段)
<ul style="list-style-type: none"> 編集者がログインした場合 <p>"2013-09-25 23:03:12",find,editor,testadmin,84,testadmin,84,testadmin → "年月日 時刻", 検索/ログインする, 編集者, 組織名, 編集者ID, 編集者名, 編集者名ID, 編集者名</p>
<ul style="list-style-type: none"> ブックを作成した場合 <p>"2013-09-25 23:06:35",create,handbook,testadmin,84,testadmin,8033,BOOK1 → "年月日 時刻", 保存する, ハンドブック, 組織名, 編集者ID, 編集者名, ブックID, ブック名</p>
<ul style="list-style-type: none"> チャプタを更新した場合 <p>"2013-09-25 23:07:58",update,chapter,testadmin,84,testadmin,8034,BOOK1,15268,CHAP1 → "年月日 時刻", 更新する, チャプタ, 組織名, 編集者ID, 編集者名, ブックID, ブック名, チャプタID, チャプタ名</p>
<ul style="list-style-type: none"> セクションを削除した場合 <p>"2013-09-25 23:09:03",delete,section,testadmin,84,testadmin,8034,BOOK1,15269,CHAP1,47477,SEC1 → "年月日 時刻", 削除する, セクション, 組織名, 編集者ID, 編集者名, ブックID, ブック名, チャプタID, チャプタ名, セクションID, セクション名</p>

ログの例(上段) → ログの意味(下段)
<p>・クイズを作成した場合 "2013-09-25 23:10:02",create,question,testadmin,84,testadmin,8034,BOOK1,15269,CHAP1,47478,SEC1,100809,日本一高い山は？ → "年月日 時刻", 保存する,クイズ,組織名, 編集者ID, 編集者名,ブックID,ブック名,チャプタID,チャプタ名,セクションID,セクション名, クイズID, クイズの文章</p>
<p>・試験を更新した場合 "2013-09-25 23:10:54",update,question,testadmin,84,testadmin,8034,BOOK1,15269,CHAP1,47478,SEC1,100810,1x1は？ → "年月日 時刻", 更新する,試験,組織名, 編集者ID, 編集者名,ブックID,ブック名,チャプタID,チャプタ名,セクションID,セクション名, 試験ID, 試験の文章</p>
<p>・アンケートを削除した場合 "2013-09-25 23:12:11",delete,question,testadmin,84,testadmin,8034,BOOK1,15269,CHAP1,47478,SEC1,100811,このブックに関する評価を選択 → "年月日 時刻", 削除する,アンケート,組織名, 編集者ID, 編集者名,ブックID,ブック名,チャプタID,チャプタ名,セクションID,セクション名, アンケートID, アンケートの文章</p>
<p>・編集者が新たに編集者を作成した場合 "2013-09-25 23:13:01",create,editor,testadmin,84,testadmin,37627,test4 → "年月日 時刻", 保存する, 編集者, 組織名, 編集者ID, 編集者名, 新しい編集者ID, 新しい編集者名</p>
<p>・編集者が閲覧者を削除した場合 "2013-09-25 23:14:30",delete,reader,testadmin,84,testadmin,149418,test4 → "年月日 時刻", 削除する, 閲覧者, 組織名, 編集者ID, 編集者名, 閲覧者ID, 閲覧者名</p>
<p>・編集者が環境設定の内容を更新した場合 "2013-09-25 23:14:44",update,organization,testadmin,84,testadmin,27,testadmin → "年月日 時刻", 更新する, 環境設定, 組織名, 編集者ID, 編集者名, 組織ID, 組織名</p>
<p>・編集者がブック画面を開いた場合 "2013-09-25 23:16:23",list,handbook,testadmin,84,testadmin,1263,東京メトロ → "年月日 時刻", リスト表示, ブック, 組織名, 編集者ID, 編集者名, ブックID, ブック名</p>
<p>・編集者がチャプタ画面を開いた場合 "2013-09-25 23:16:37",list,chapter,testadmin,84,testadmin,1264,水族館ガイド,4570,館内紹介 → "年月日 時刻", リスト表示, チャプタ, 組織名, 編集者ID, 編集者名, ブックID, ブック名, チャプタID,チャプタ名</p>
<p>・編集者がセクション画面を開いた場合 "2013-09-25 23:16:37",list,section,testadmin,84,testadmin,1264,水族館ガイド,4570,館内紹介,15690,クラゲファンタジーホールの紹介 → "年月日 時刻", リスト表示, セクション, 組織名, 編集者ID, 編集者名,ブックID,ブック名,チャプタID,チャプタ名, セクションID,セクション名,</p>
<p>・編集者が編集者アカウント画面を開いた場合 "2013-09-25 23:17:08",list,editor,testadmin,84,testadmin,84,testadmin → "年月日 時刻", リスト表示, 編集者アカウント画面, 組織名, (開いている)編集者ID, (開いている)編集者名, (表示されている)編集者ID, (表示されている)編集者名</p>
<p>・編集者が閲覧者アカウント画面を開いた場合 "2013-09-25 23:17:12",list,reader,testadmin,84,testadmin,109,testuser → "年月日 時刻", リスト表示, 閲覧者アカウント画面, 組織名, 編集者ID, 編集者名, 閲覧者ID, 閲覧者名</p>
<p>・編集者が閲覧者グループ画面を開いた場合 "2013-09-25 23:17:17",list,group,testadmin,84,testadmin,48,group1 → "年月日 時刻", リスト表示, グループ画面, 組織名, 編集者ID, 編集者名, グループID, グループ名</p>

閲覧者操作記録ダウンロード



「統計画面」の「閲覧者操作記録ダウンロード」をクリックすると、閲覧者の操作記録をダウンロードすることができます。

1. 「閲覧者操作記録ダウンロード」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。

The screenshot shows the '閲覧者操作記録ダウンロード' form. It includes two date input fields: '期間開始日' and '期間終了日', each with a calendar icon to its right. Below these fields is a checkbox labeled 'すべてのユーザの操作記録データを1つのCSVファイルにマージ'. At the bottom of the form are two buttons: 'ダウンロード' and 'キャンセル'.

2. 右の四角マークをクリックすると、カレンダーが表示されるので、ダウンロードしたい期間の開始日と終了日を選択します。

This screenshot shows the same form as above, but with a calendar open over the '期間終了日' field. The calendar is for August 2013 (2013年8月) and shows days from 1 to 31. The 31st is highlighted in yellow. The 'ダウンロード' button is visible below the calendar.

3. 「すべてのユーザの操作記録データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れて、「ダウンロード」をクリックします。

「すべてのユーザの操作記録データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れた場合は、期間内に操作を行ったすべての閲覧者のデータが1つのファイルにまとめてダウンロードされます。チェックせずに「ダウンロード」をクリックすると、個別の記録がダウンロードされます。

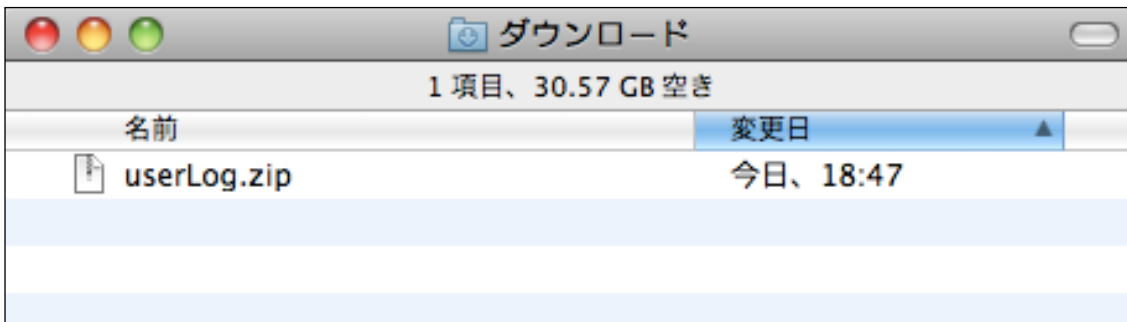
閲覧者操作記録ダウンロード

期間開始日 

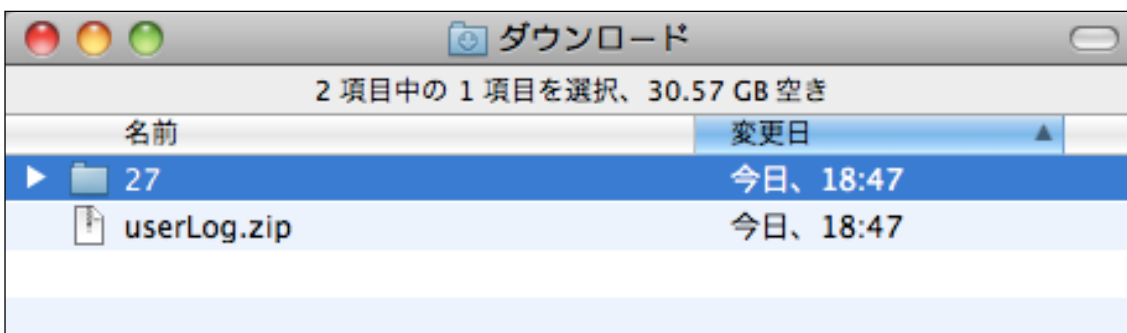
期間終了日 

すべてのユーザの操作記録データを1つのCSVファイルにマージ

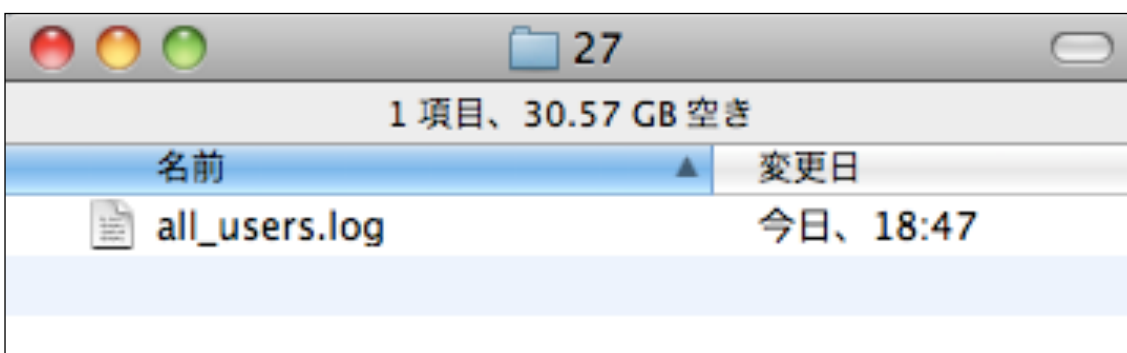
4. 閲覧者の操作記録が「userLog.zip」として「ダウンロード」フォルダにダウンロードされます。



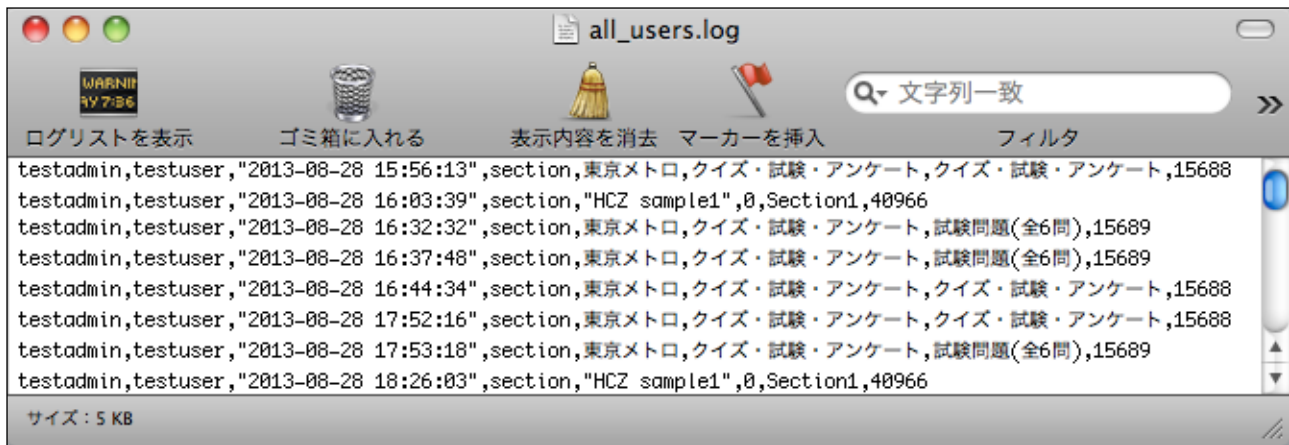
5. Zipファイルをクリックして展開すると、以下のようなフォルダが表示されるので、クリックして開きます。



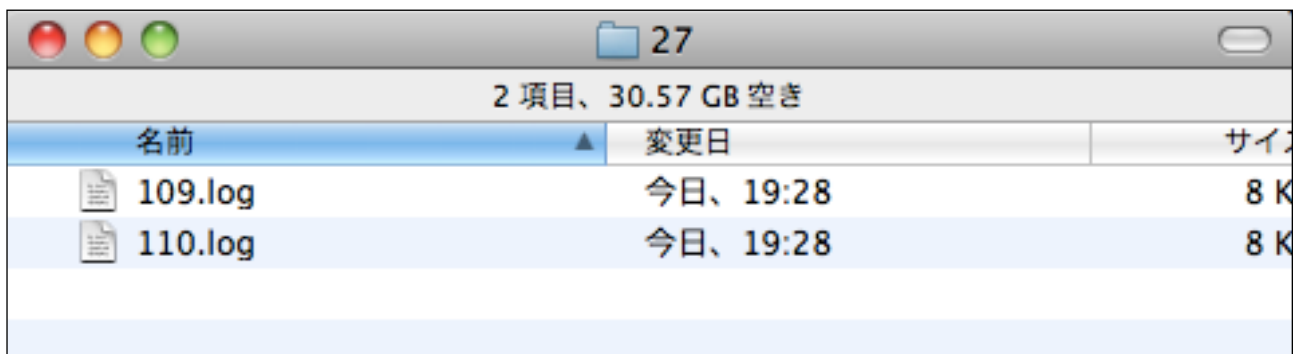
6. フォルダの中には、以下のように「all_users.log」というファイルが入っているので、クリックして開きます。



7. 以下のように、指定した期間内の全ての閲覧者の操作記録が表示されます。



8. 「すべてのユーザの操作記録データを1つのCSVファイルにマージ」にチェックを入れなくて、ダウンロードした場合は、閲覧者ごとのID番号が書かれたログファイルが複数個ダウンロードされます。



試験結果ダウンロード



「統計画面」の「試験結果ダウンロード」をクリックすると、閲覧者の試験結果をダウンロードすることができます。

1. 「試験結果ダウンロード」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。

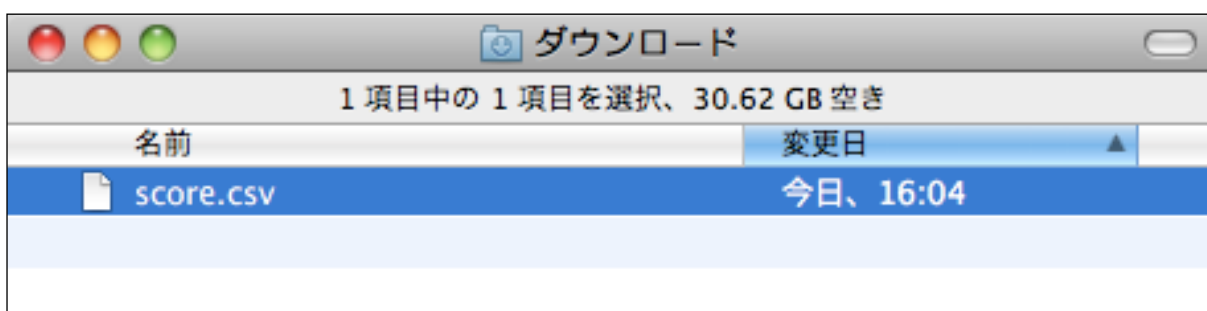
The screenshot shows the '試験結果ダウンロード' form. It includes two date selection fields: '期間開始日' and '期間終了日', each with a calendar icon. Below these is an 'エンコーディング' dropdown menu currently set to 'Shift-JIS'. At the bottom are two buttons: 'ダウンロード' and 'キャンセル'.

2. 日時を選択し、「エンコーディング（出力する文字の種類）」のドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「ダウンロード」をクリックします。

※ ExcelでCSVを使用する場合には「Shift_JIS」を選択してください。

This screenshot shows the same form as above, but with the 'エンコーディング' dropdown menu open. The menu shows 'Shift-JIS' (checked) and 'UTF-8' as options. The 'ダウンロード' and 'キャンセル' buttons are still visible at the bottom.

3. 以下のようなCSVファイルが「ダウンロード」フォルダにダウンロードされます。



4. CSVファイルをクリックして開くと、以下のように試験結果の詳細なデータが表示されます。

Start Time	End Time	User	Handbook Title	Chapter Title	Section Title	Total Score	Question ID	Question Title	Score	Question ID	Question Title	Score	Question ID
2013/08/28 16:32:55		testuser	東京メトロ	クイズ・試験	試験問題(全6問)	50	62111	東西線「blank	10	62112	半蔵門線「渋谷	0	
2013/08/28 16:32:55		testuser	東京メトロ	クイズ・試験	試験問題(全6問)	50	62111	東西線「blank	10	62112	半蔵門線「渋谷	0	
2013/08/28 16:32:55		testuser	東京メトロ	クイズ・試験	試験問題(全6問)	0	62111	東西線「blank	0	62112	半蔵門線「渋谷	0	
2013/08/28 16:32:55		testuser	東京メトロ	クイズ・試験	試験問題(全6問)	0	62111	東西線「blank	0	62112	半蔵門線「渋谷	0	

フィールド名	フィールド型	説明
開始時刻	yyyy.mm.dd mm.ss形式	試験を開始した時間
終了時刻	yyyy.mm.dd mm.ss形式	試験を終了した時間
ユーザ	最大長50バイト	試験を実行したユーザのユーザ名
Handbook名	最大長50バイト	試験が含まれているHandbookの名前
チャプター名	最大長50バイト	試験が含まれているチャプターの名前
セクション名	最大長255バイト	試験が含まれているセクションの名前
トータルスコア	数値	試験の合計得点
設問シリアルナンバー	数値	設問の内部管理番号
設問タイトル	最大長2000バイト	設問のタイトル
スコア	数値	設問の得点

1行に1つ試験結果が出力され、複数の設問がある場合には、質問シリアルナンバー～スコアまでが繰り返し出力されます。

アンケート結果ダウンロード



「統計画面」の「アンケート結果ダウンロード」をクリックすると、閲覧者のアンケート結果をダウンロードすることができます。

1. 「アンケート結果ダウンロード」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。

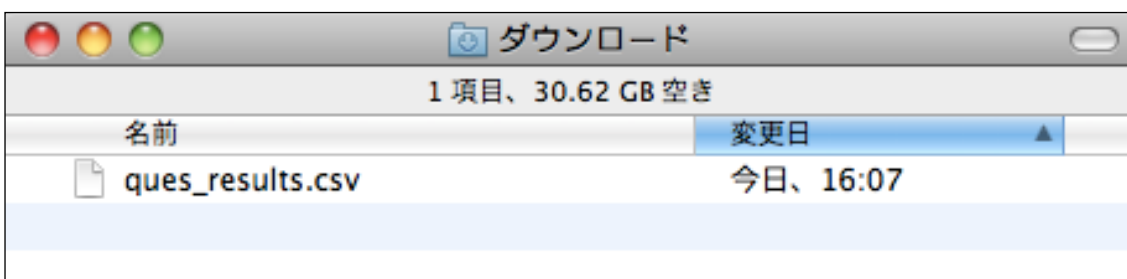
The screenshot shows a form titled 'アンケート結果ダウンロード'. It contains three input fields: '期間開始日' (Start Date), '期間終了日' (End Date), and 'エンコーディング' (Encoding). The 'エンコーディング' dropdown menu is set to 'Shift-JIS'. At the bottom, there are two buttons: 'ダウンロード' (Download) and 'キャンセル' (Cancel).

2. 期間開始日と終了日を右の四角のマークをクリックして表示されるカレンダーより選択し、「エンコーディング（出力する文字の種類）」のドロップダウンリストで「Shift-JIS」もしくは「UTF-8」のいずれかの文字コードを選択し、「ダウンロード」をクリックします。

※ ExcelでCSVを使用する場合には「Shift_JIS」を選択してください。

This screenshot shows the same form as above, but with the '期間開始日' field set to '2013-08-01' and the '期間終了日' field set to '2013-08-31'. The 'エンコーディング' dropdown menu is open, showing 'Shift-JIS' selected with a checkmark and 'UTF-8' as an alternative option. The 'ダウンロード' and 'キャンセル' buttons are still visible.

3. 以下のようなCSVファイルが「ダウンロード」フォルダにダウンロードされます。



4. CSVファイルをクリックして開くと、以下のように試験結果の詳細なデータが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Handbook Title	Chapter Title	Section Title	Start Time	End Time	Question Title	User	Answer
2	東京メトロ	クイズ・試験	クイズ・試験	2013/08/28 1	2013/08/28 1	以下の欄にお名	testuser	-
3	東京メトロ	クイズ・試験	クイズ・試験	2013/08/28 1	2013/08/28 1	このハンドブック	testuser	参考になりまし
4	東京メトロ	クイズ・試験	クイズ・試験	2013/08/28 1	2013/08/28 1	この質問内容に	testuser	0
5	東京メトロ	クイズ・試験	クイズ・試験	2013/08/30 2	2013/08/30 2	以下の欄にお名	testuser	-
6	東京メトロ	クイズ・試験	クイズ・試験	2013/08/30 2	2013/08/30 2	このハンドブック	testuser	参考になりまし

フィールド名	フィールド型	説明
Handbook名	最大長50バイト	アンケートが含まれているHandbookの名前
チャプター名	最大長50バイト	アンケートが含まれているチャプターの名前
セクション名	最大長255バイト	アンケートが含まれているセクションの名前
開始時刻	yyyy.mm.dd mm.ss形式	アンケートを開始した時間
終了時刻	yyyy.mm.dd mm.ss形式	アンケートを終了した時間
設問設定	最大長2000バイト	アンケートの設問
ユーザ	最大長50バイト	アンケートを実行したユーザのユーザ名
答え	最大長200バイト	アンケートの回答結果 複数回答の場合には「,」(カンマ)で区切ります 改行が入力されている場合には"¥n"に変換されます 選択問題の時は0を基点として答えが設定されます

<すべてのユーザのグラフ画面(統計画面の上のグラフ)>

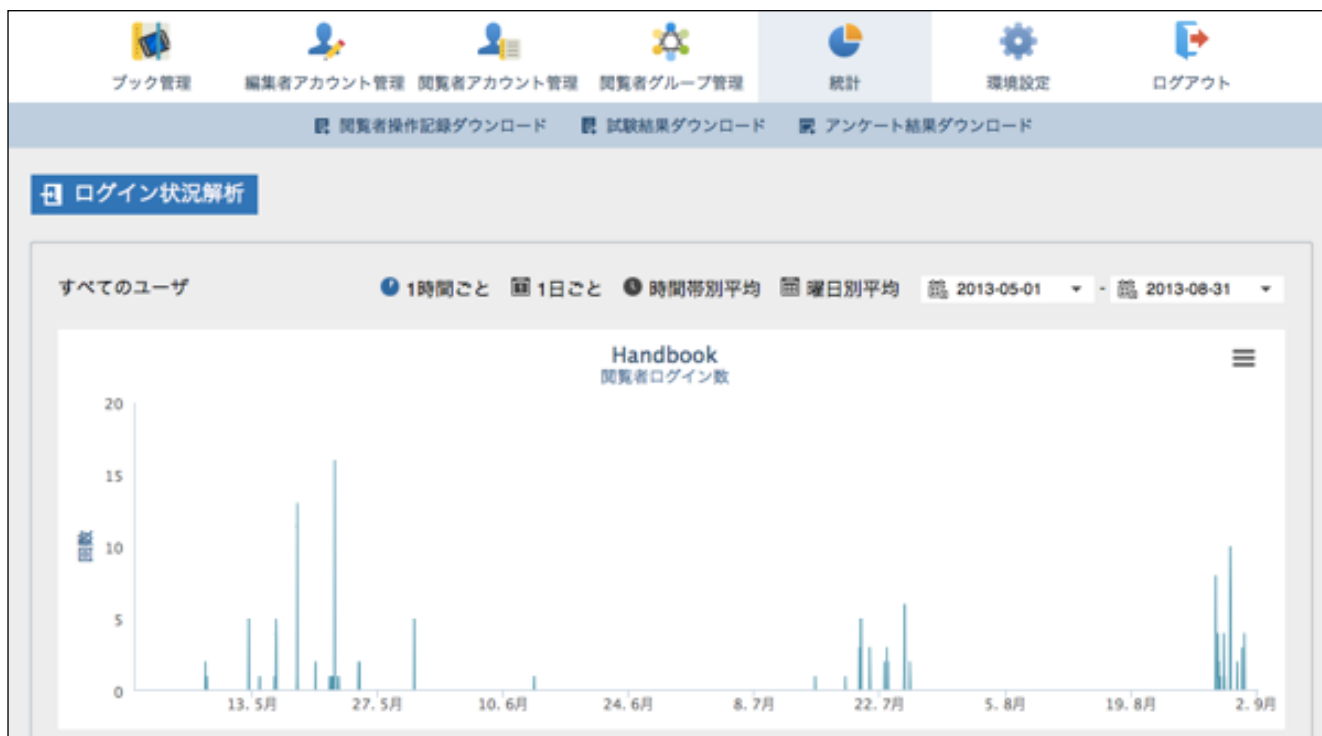
統計画面の上の方のグラフは「すべてのユーザ(閲覧者)」の操作状況別のデータをグラフ化しています。

グラフ化したい期間は、グラフ右上にある日にち設定欄の右端の矢印マークをクリックすると、以下のようにカレンダーが表示されるので、カレンダーの日にちをクリックして、それぞれ表示開始日、終了日を設定します。



また、グラフ内のメニューをクリックして、「1時間ごと」、「1日ごと」、「時間帯別平均」、「曜日別平均」の表示に切り替えることができます。

【1時間ごとの表示】



【1日ごとの表示】



【時間帯別平均(24時間ごとの平均)の表示】



【曜日別平均の表示】



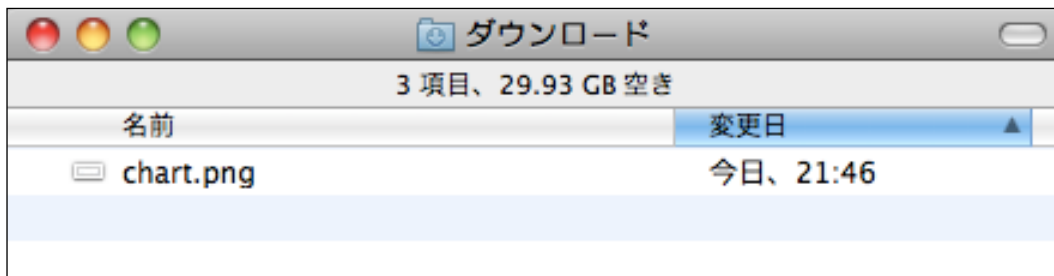
グラフを画像ファイルにしてダウンロードする

上の方のグラフを画像ファイル(pngファイル)にして、ダウンロードすることができます。

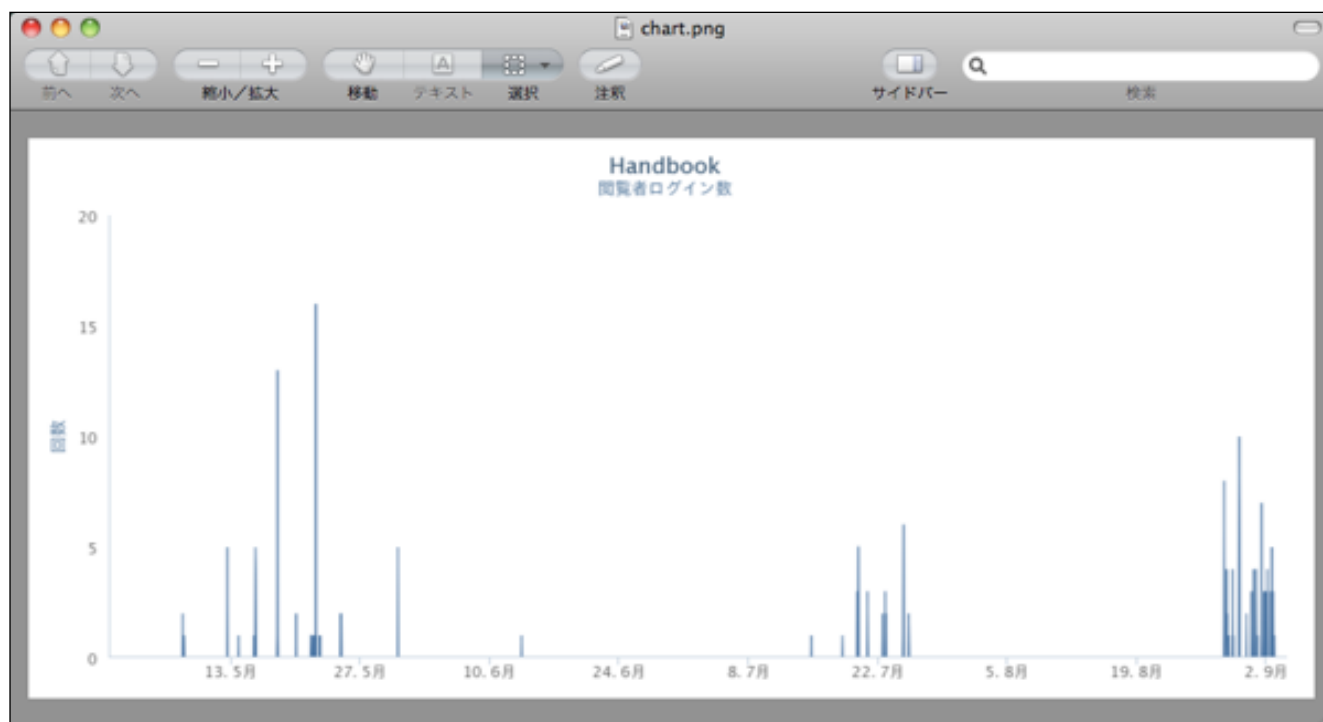
1. グラフの右にある をクリックすると、「PNGファイルでダウンロード」という文字が出てくるので、選択します。



2. グラフの画像ファイルが「ダウンロード」フォルダにダウンロードされました。



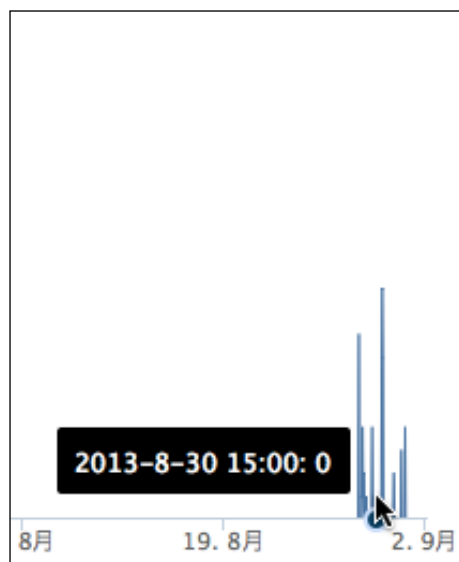
3. ファイルをクリックすると、PNGファイルになった上の方のグラフの画像が開きます。



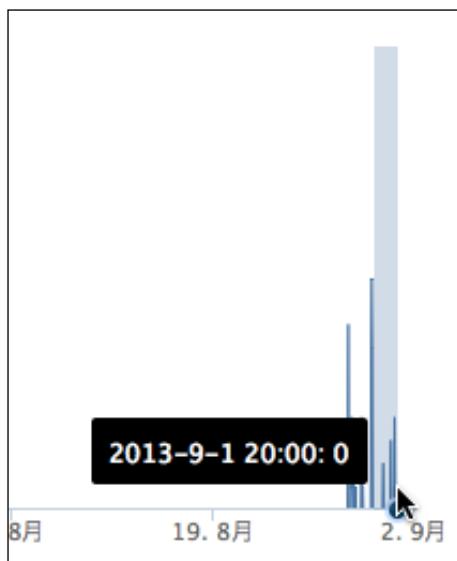
グラフの一部を拡大して見る

グラフの一部のみを拡大して表示することもできます。拡大表示方法は、以下ようになります。

1. グラフにカーソルを近づけると、以下のように日時が表示されます。



2. この日時を基準にしてクリックしてから特定の期間まで右にドラッグすると、以下のようにドラッグした範囲が青く表示されます。



3. ドラッグが終わると、指定した範囲が自動で拡大表示されます。グラフ内右に表示された「Reset zoom」ボタンをクリックすると、元のグラフ表示画面に戻ります。



<ユーザー別のグラフ画面 (統計画面の下のグラフ) >

統計画面の下の方のグラフは「閲覧者ごと」の操作状況のデータをグラフ化します。グラフ化したい期間は、上のグラフで設定した期間が適用されます。

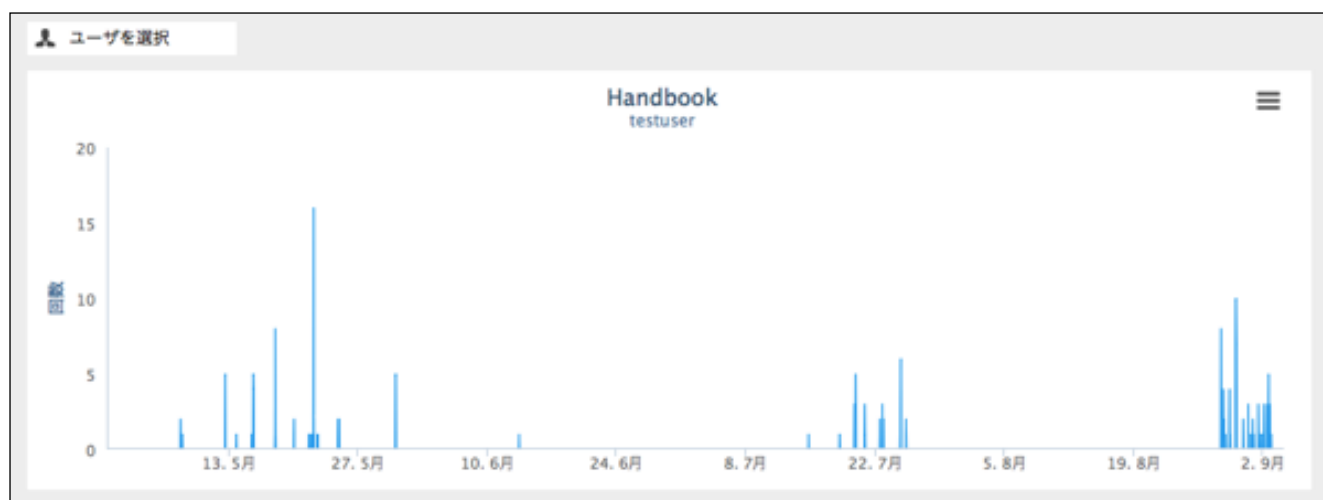
1. ユーザ(閲覧者)を何も選択していない場合は、何も表示されません。左上の「ユーザを選択」ボタンをクリックします。



2. 閲覧者アカウントの選択画面が表示されるので、表示したい閲覧者のアカウントをチェックして選択し、「保存」をクリックします。



3. 選択した閲覧者の情報がグラフ表示されます。



<操作別状況切替えボタン(各統計画面)>

統計画面は、統計画面左上の「操作別状況切替え」ボタンをクリックして様々な種類の統計情報を表示することができます。



「操作別状況切替え」ボタンには、以下のような種類があります。



「操作別状況切替え」ボタンで表示される統計の各画面について、以下に説明してゆきます。

ログイン状況解析

ログイン状況解析

アクセストレンド

個別ブックのアクセス状況

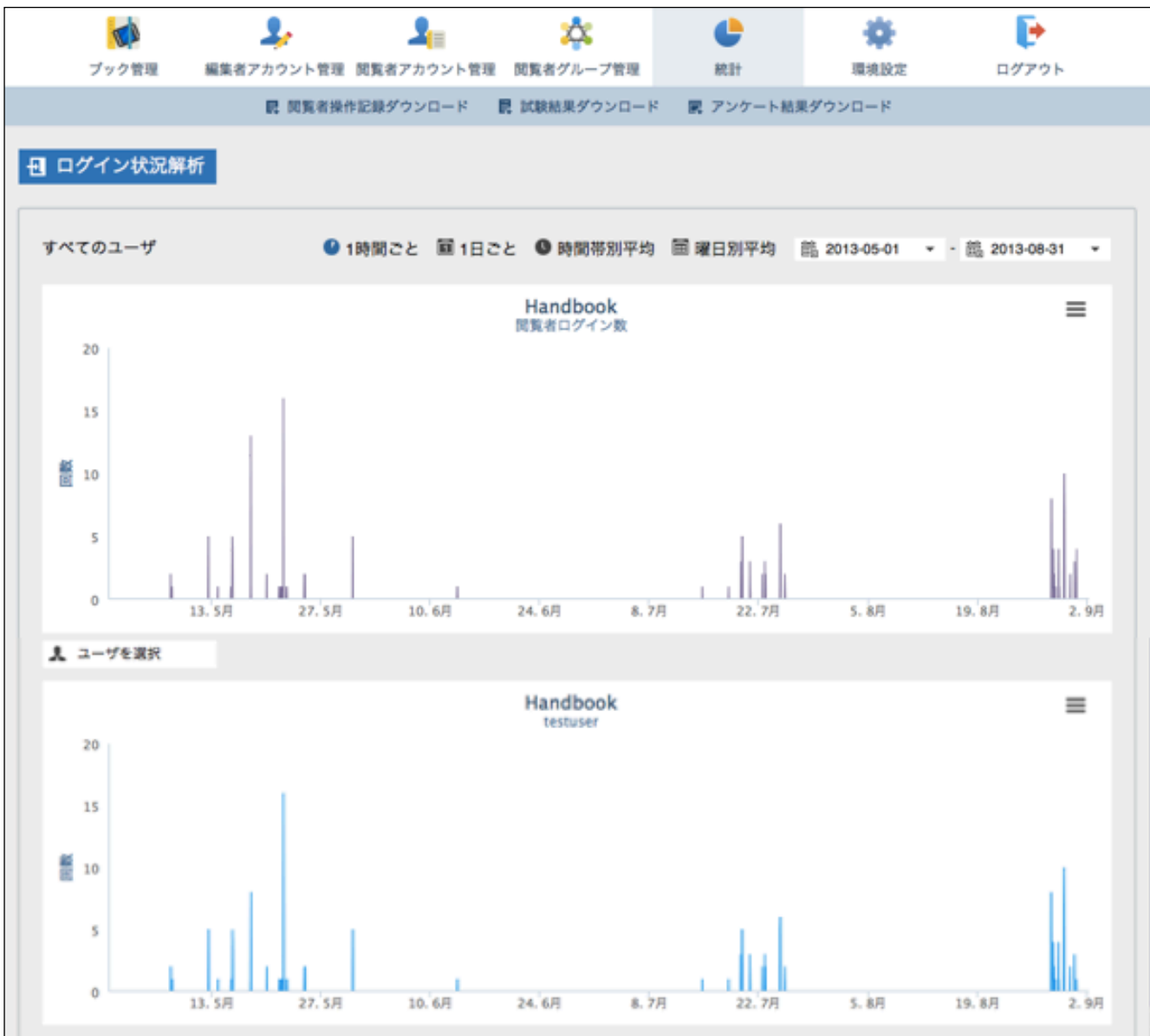
アクセストレンド(ブック選択)

特定ブックでのセクションアクセストップ10

個別セクションのアクセス状況(ブック選択)

HandbookダウンロードTop10

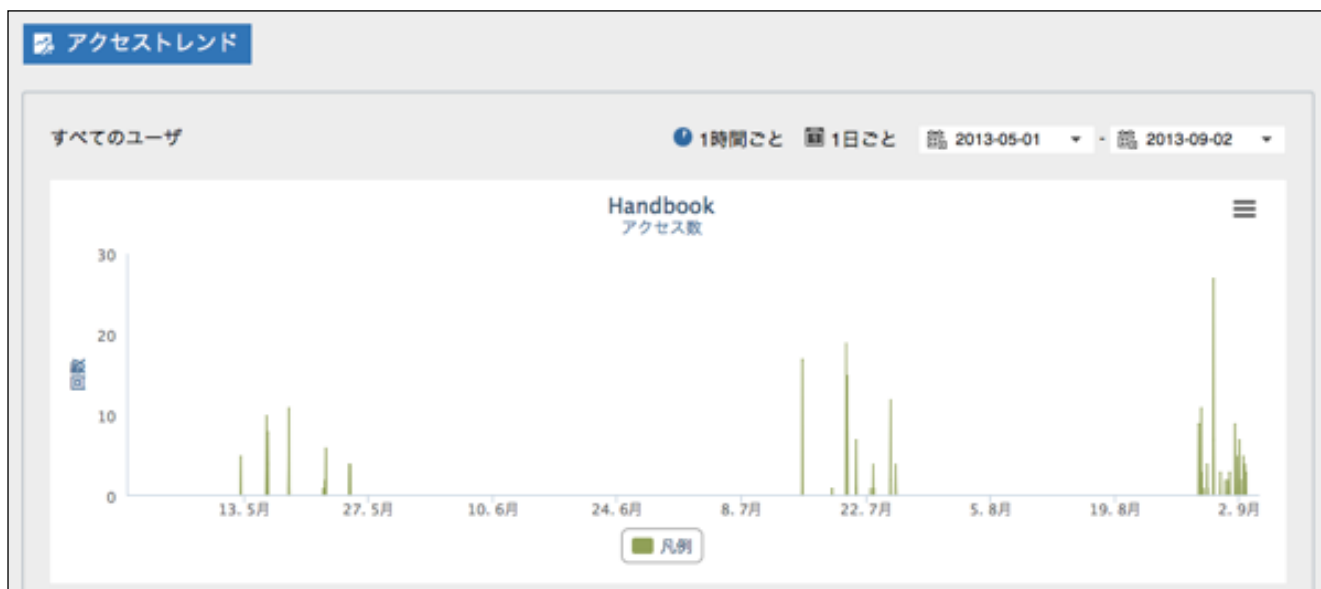
「ログイン状況解析」グラフでは、閲覧者のブックへのログイン状況を年月日単位で表示します。



アクセストレンド



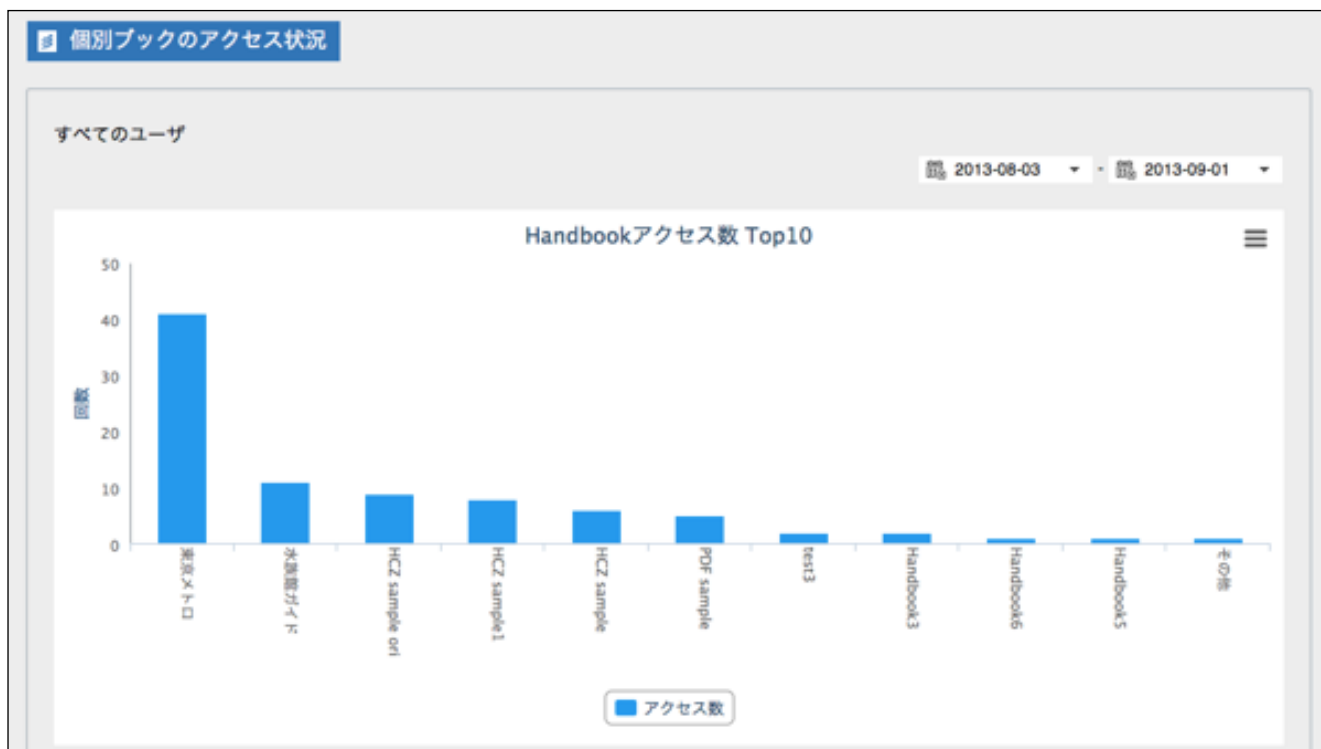
「アクセストレンド」グラフでは、閲覧者のブックへのアクセス数を年月日単位で表示します。



個別ブックのアクセス状況



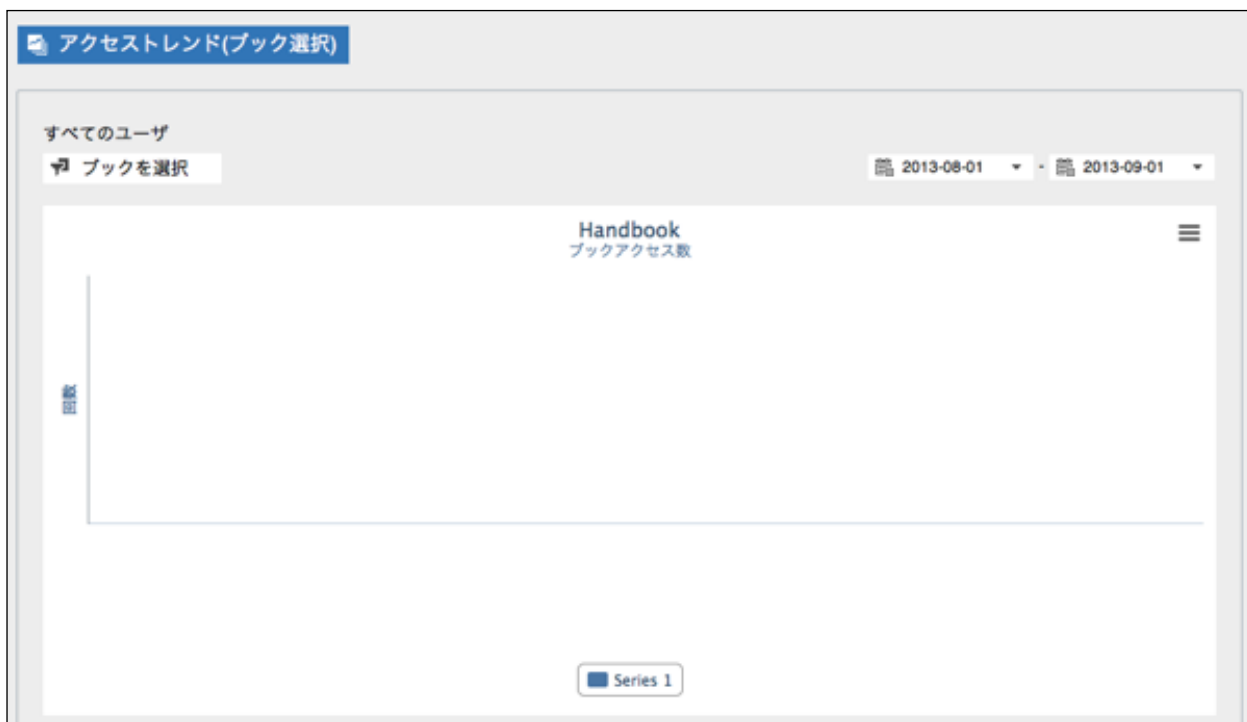
「個別ブックのアクセス状況」グラフでは、閲覧者の個別ブックへのアクセス数TOP10を表示します。10番以下のグラフは一番右に「その他」として表示されます。



アクセストレンド(ブック選択)



「アクセストレンド(ブック選択)」グラフでは、特定のブックへの閲覧者のアクセス数を年月日単位で表示します。

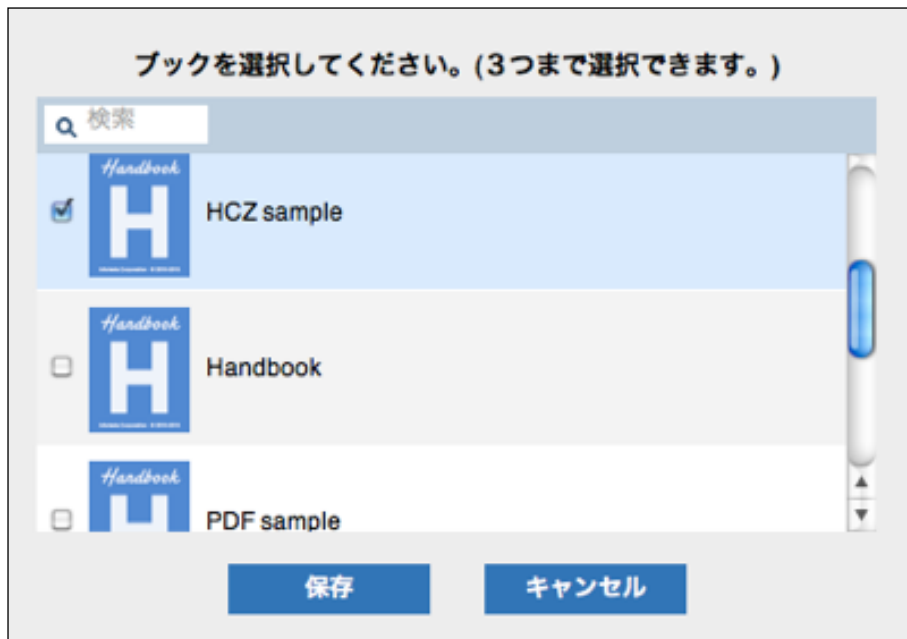


ここでは、特定のブックのアクセス状況を表示することができます。特定のブックの選択方法は、以下のようになります。

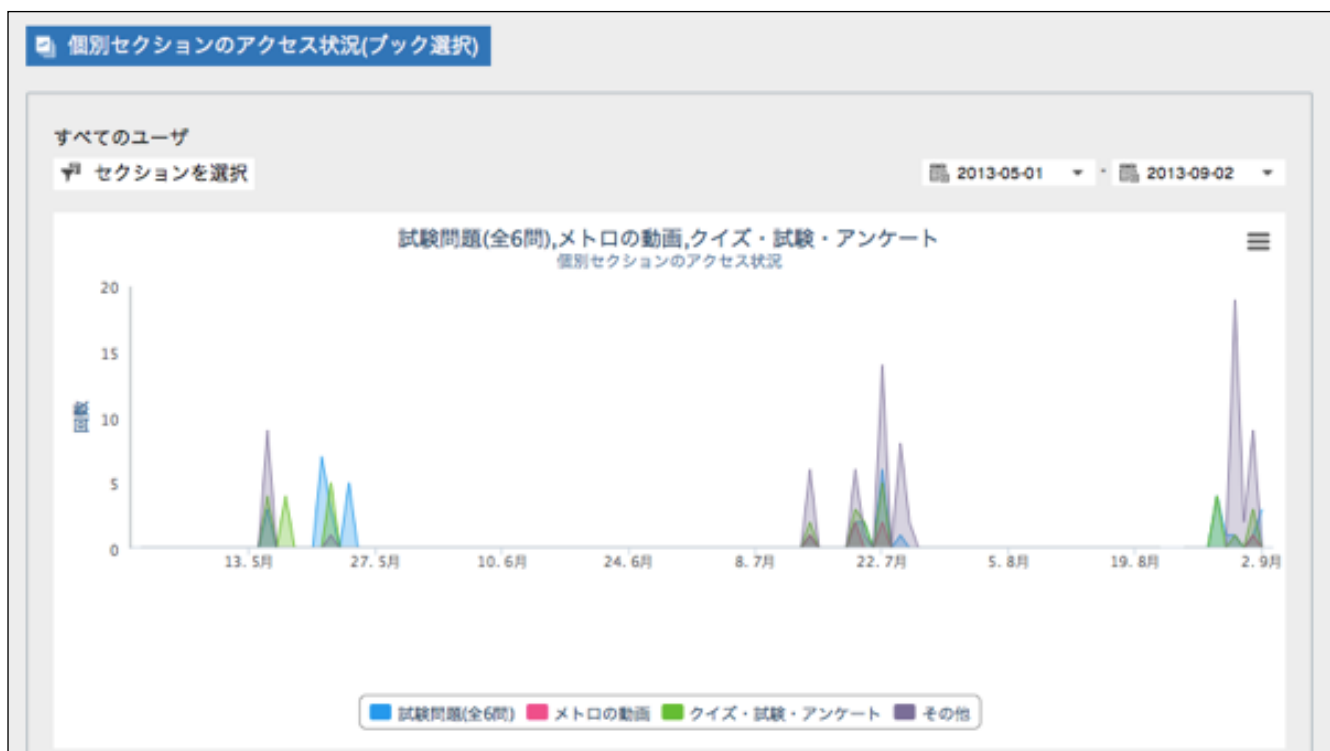
1. グラフ左上の「ブックを選択」ボタンをクリックします。



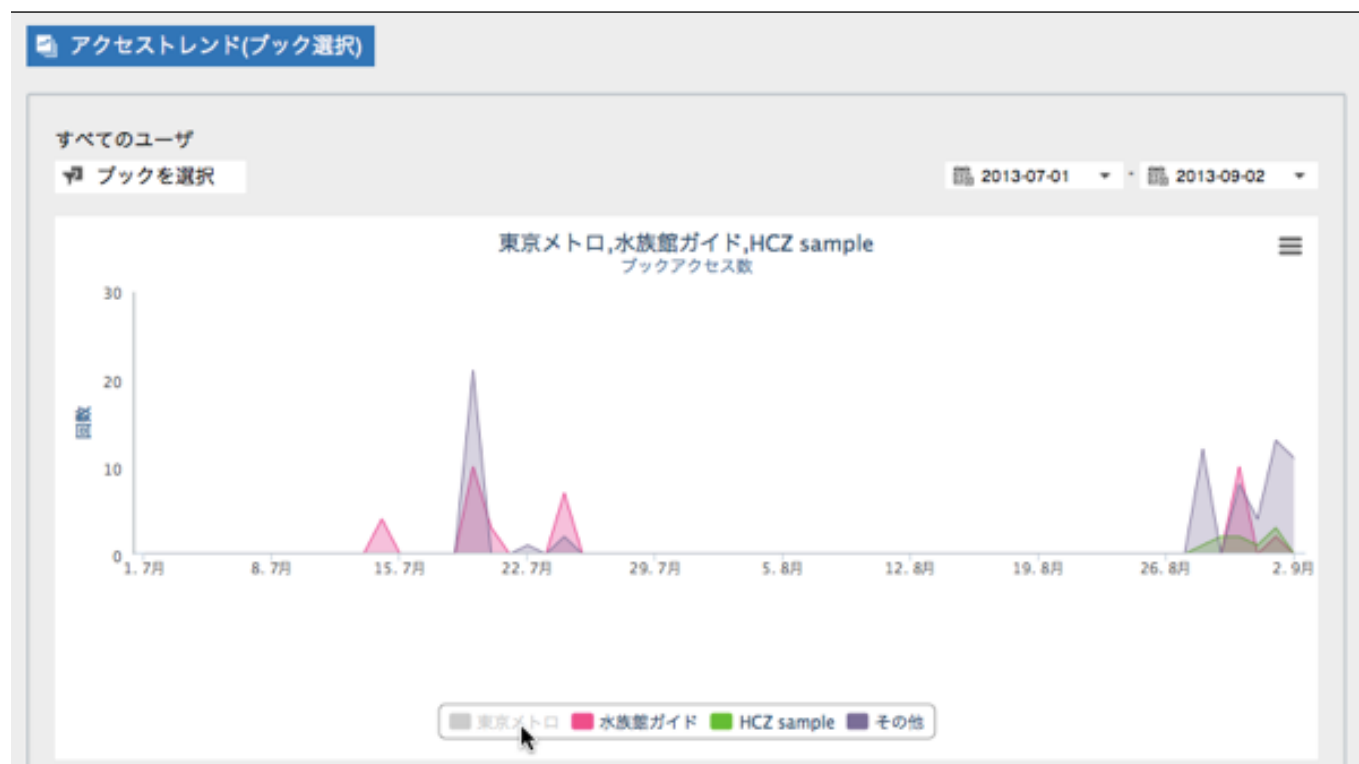
2. ブックは3つまで選択することができます。選択したら「保存」をクリックします。



3. 特定のブックのアクセストレンド(ブック選択)のグラフが表示されました。



4. グラフ下の「凡例」の1つをクリックすると、そのブックのグラフのみが消去されて表示されます。再度凡例をクリックすると、元に戻ります。



特定ブックでのセクションアクセストップ10

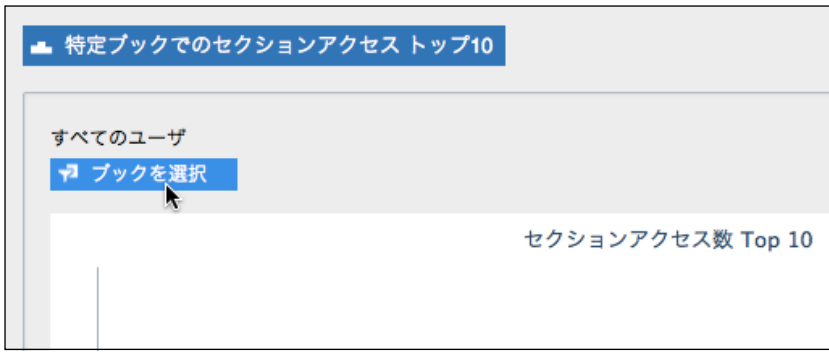


「特定ブックでのセクションアクセストップ10」グラフでは、特定のブックのセクションのアクセス数トップ10を表示します。10番以下のグラフは一番右に「その他」として表示されます。

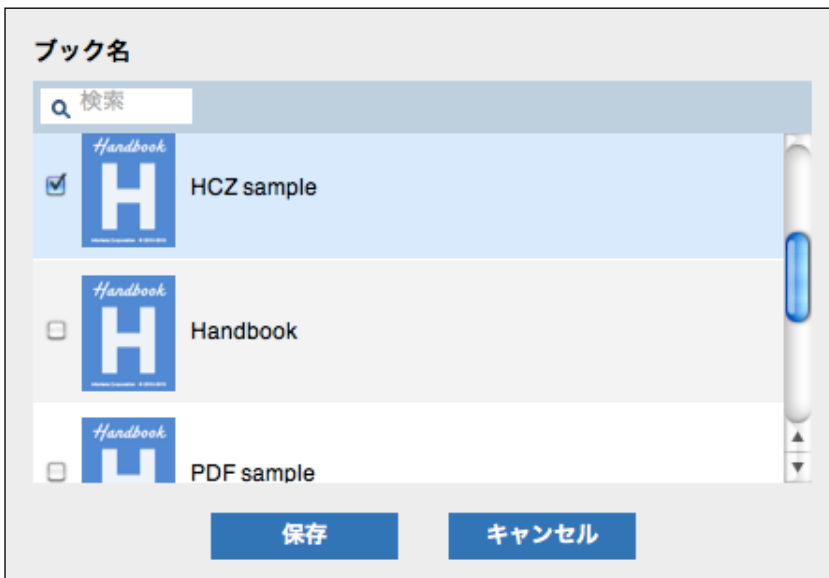


ここでは、特定のブックでのセクションのアクセス状況を表示することができます。特定のブックの選択方法は、以下のようになります。

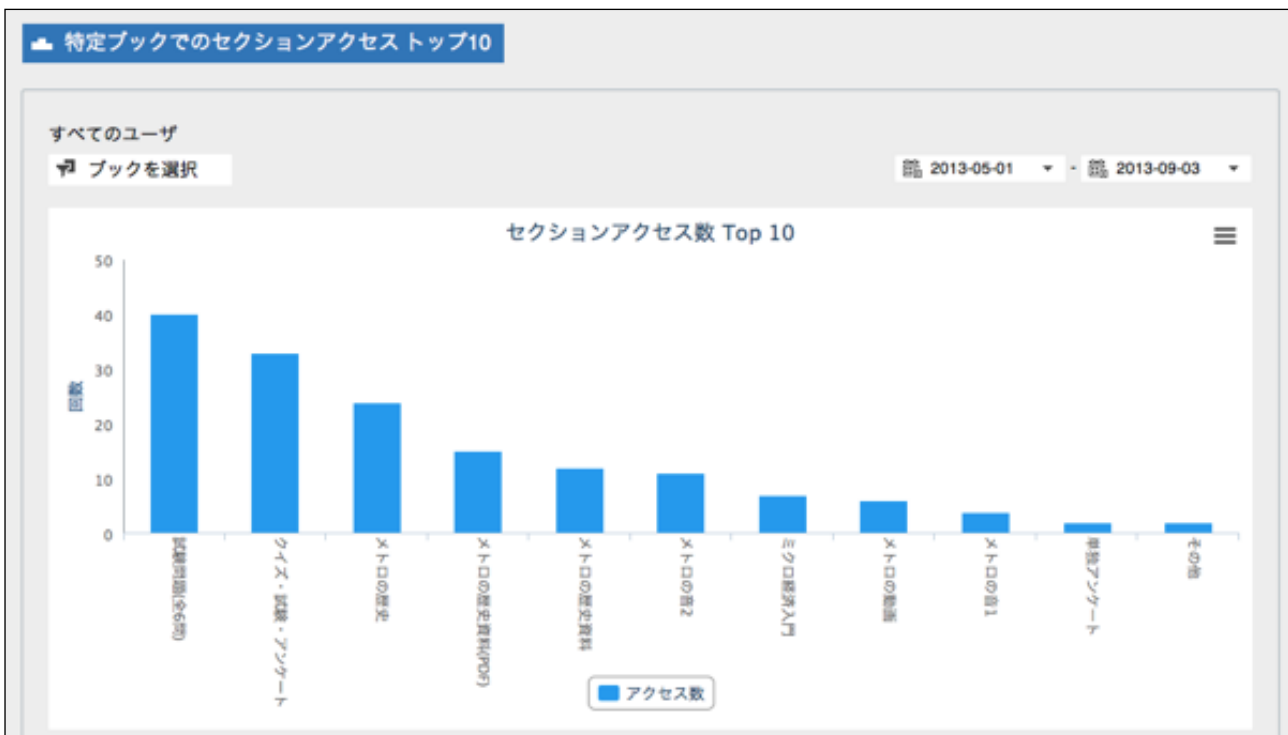
1. グラフ左上の「ブックを選択」ボタンをクリックします。



2. ブックは3つまで選択することができます。選択したら「保存」をクリックします。



3. 特定ブックのセクションのアクセス数トップ10のグラフが表示されました。



個別セクションのアクセス状況(ブック選択)

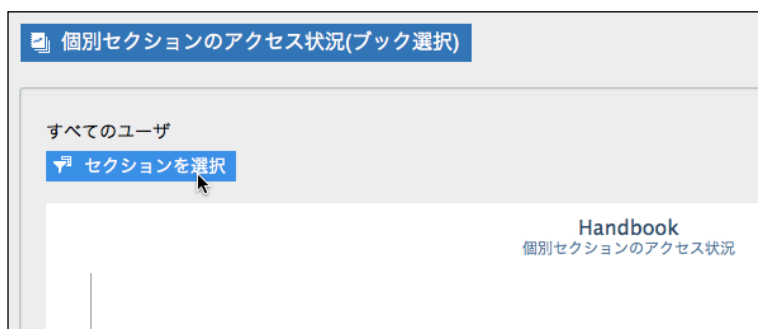


「個別セクションのアクセス状況(ブック選択)」グラフでは、個別セクションへのアクセス数を年月日単位で表示します。



ここでは、特定のブックとセクションを選択します。

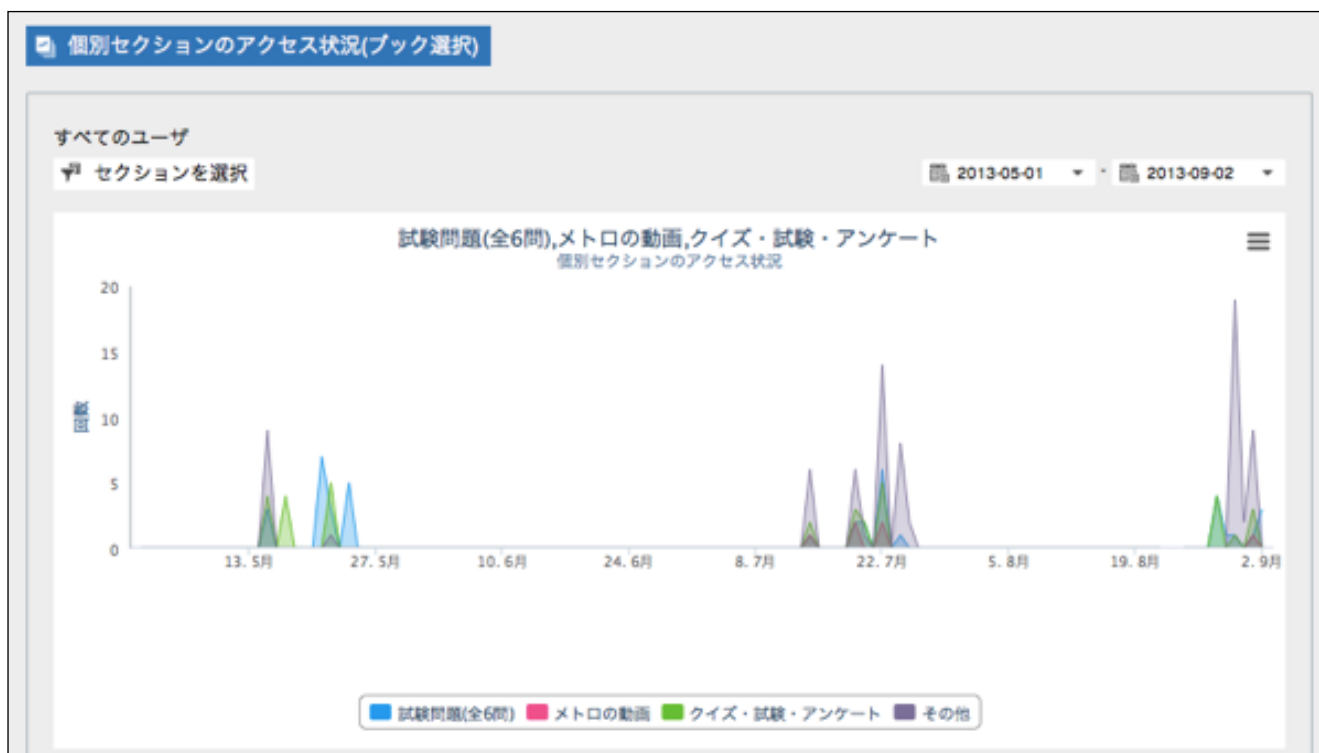
1. グラフ左上の「セクションを選択」ボタンをクリックします。



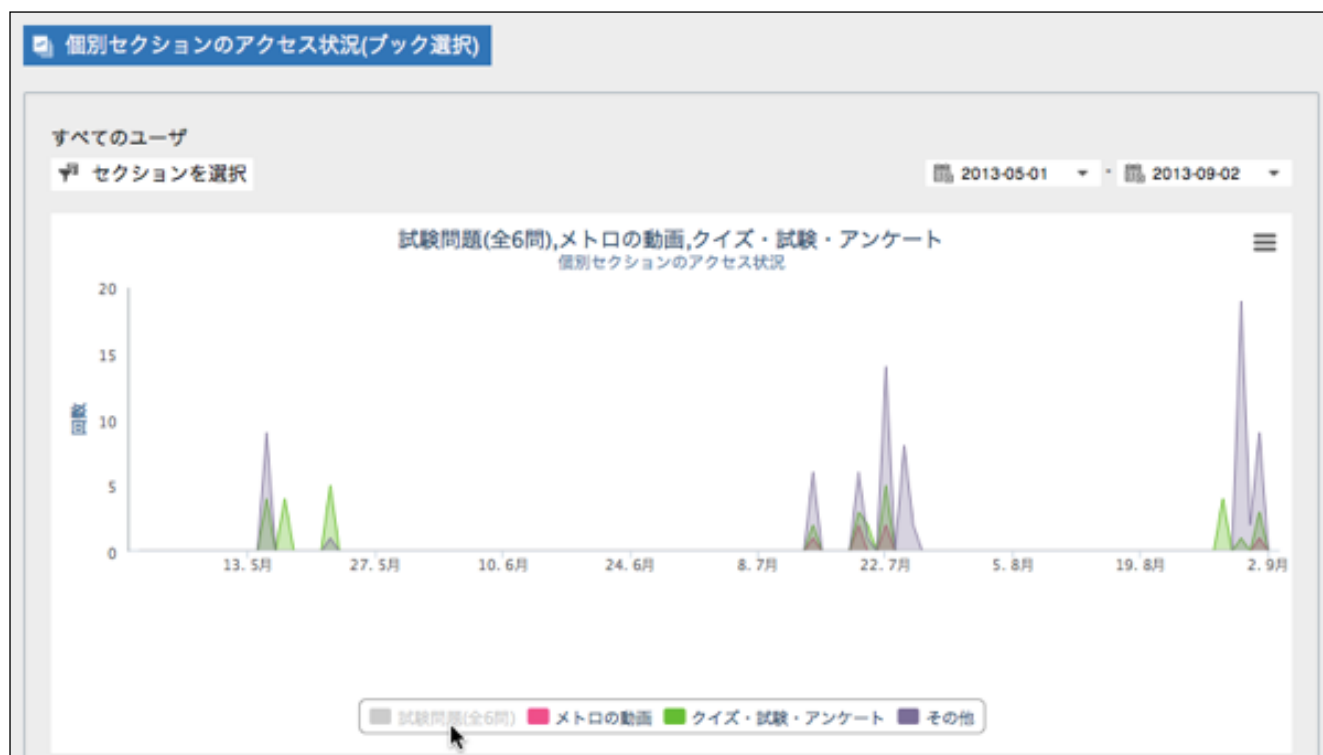
2. ブックを選択すると、右側にそのセクションが表示されます。セクションは3つまで選択することができます。選択したら「保存」をクリックします。



3. 個別セクションのアクセス状況のグラフが表示されました。



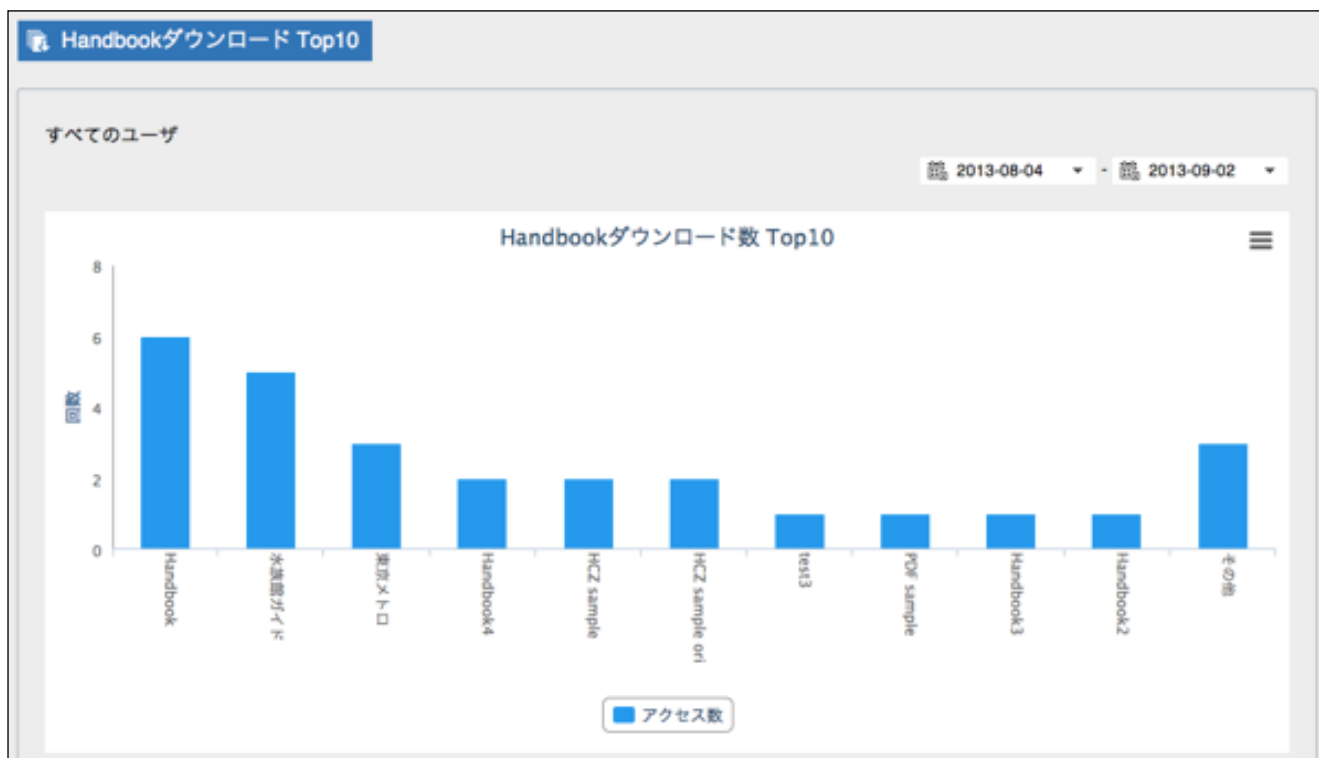
4. グラフ下の「凡例」の1つをクリックすると、そのブックのグラフのみが消去されて表示されます。再度凡例をクリックすると、元に戻ります。



Handbookダウンロード数Top10



「HandbookダウンロードTop10」グラフでは、ブックのダウンロード数トップ10を表示します。10番以下のグラフは一番右に「その他」として表示されます。



2.6. 環境設定

「管理画面切替えメニュー」の「環境設定」をクリックすると、環境設定の管理画面に切り替わります。



【環境設定画面】



環境設定では、左側のリストを選択して編集者アカウントやシステムの設定などを行うことができます。環境設定の各画面についての説明は、以下のようになります。

<編集者アカウント設定>

「編集者アカウント設定」画面では、編集者がブックを作成する際に、ブックのアクセスコードや著作権情報を表示するなどの設定を行うことができます。

【編集者アカウント設定画面】



フィードバック評価状況を表示

チェックをすると、セクションで設定したフィードバック(評価表示)のマークが、セクションのアイコン下に表示されるようになります。

ブックカバー表示時にアクセスコードを表示

ブック画面の画像下にアクセスコードが表示されるようにします。

メディアライブラリバーを表示する

旧バージョンのHandbook(version3.x)で使用し、画像などのメディアを保管していた「メディアライブラリ」を、ブック画面画面下に表示されるようにします。

メディアライブラリとは、Handbookの旧バージョン(v3.x)でコンテンツに挿入するための画像、動画(ビデオ)、添付ファイル、音声などのメディアを登録していた画面のことをいいます。

この項目をチェックすると、ブック画面の左下に  ボタンが表示され、クリックするとメディアの登録画面 (メディアライブラリバー) が表示されます。

※ 現在のHandbookでは、直接メディアをドラッグ&ドロップして利用できるようになったので、使用する必要はありません。

著作権設定を利用する(HandbookStudio3.xとの互換機能)

旧バージョンのHandbook(version3.x)で使用していた著作権情報をクリックして見ることのできるボタンを、ブック画面のメニュー右側に表示します。

<システム設定>

「システム設定」画面では、時間帯の設定やブックのカテゴリ名の作成、試験やクイズの結果の削除などを行うことができます。

【システム設定画面】

システム設定

時間帯: (GMT+09:00) 日本標準時 (JST) Asia/Tokyo

閲覧者アカウントを編集者アカウントと同期させる

添付されたオフィス文書をPDFで閲覧できるようにする

編集者操作記録の保存対象操作: 保存 更新 削除 検索 リスト表示

保存

ブック設定

ブックのカテゴリ

- 社内用
- 社外用
- セールス
- マーケティング
- 研究開発
- その他

データベースの整理

試験結果を削除

この日
付まで
削除

アンケート結果を削除

この日
付まで
削除

削除

システム設定(国別時刻/閲覧者アカウントを編集者アカウントと同期させる)

システム設定

時間帯: (GMT+09:00) 日本標準時 (JST) Asia/Tokyo

閲覧者アカウントを編集者アカウントと同期させる

添付されたオフィス文書をPDFで閲覧できるようにする

編集者操作記録の保存対象操作: 保存 更新 削除 検索 リスト表示

[保存](#)

ブック全体の国別時刻を選択します。また、「閲覧者アカウントを編集者アカウントと同期させる」にチェックを入れると、編集者アカウントが作成された場合に、閲覧者アカウントも同時に作成されるようになります。アカウントの内容に変更があった場合にも同期されます。同期しているアカウントの左側には緑色のマークが表示されます。また、ここで同期設定した管理者権限のある編集者アカウントが、ブックの作成画面にて新しいアクセスコードを設定した場合は、同期している閲覧者アカウント内の「アクセスコード」欄にも自動で追加されます。

※ 編集者アカウント管理画面で作成した場合のみ、同期で閲覧者アカウントが作成されます。編集者は閲覧者も兼ねることを前提としています。

※ 閲覧者アカウントのみの情報であるアクセスコード、グループアクセスコード、デバイスIDおよび操作記録設定は同期されません。

【同期設定している編集者アカウント画面】

ID	編集者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス
84	testadmin	test	admin		
95	testadmin_2	test	admin2		
37...	Test1	F test1	L test2	D2	
37...	Test2	F test2	L test2	Dev	
37...	test3	test3	3		

【同期設定している閲覧者アカウント画面 (編集者と同じアカウントが自動作成)】

ID	閲覧者アカウント	名	姓	部署	メールアドレス	端末バージョン
109	testuser	test	user	D1		androidlabel ...
137	testuser_2	test	user2	D2		androidlabel ...
144	testuser_4	test	user_4	D2		
148646	Test1	F test1	L test2	D1		
148647	Test2	F test2	L test2	D1		
148658	test3	test3	3			
148659	test4	test	4			

【管理者権限のある編集者がブック作成画面で新たにアクセスコードを設定】



Handbook
H
test

タイトル
test

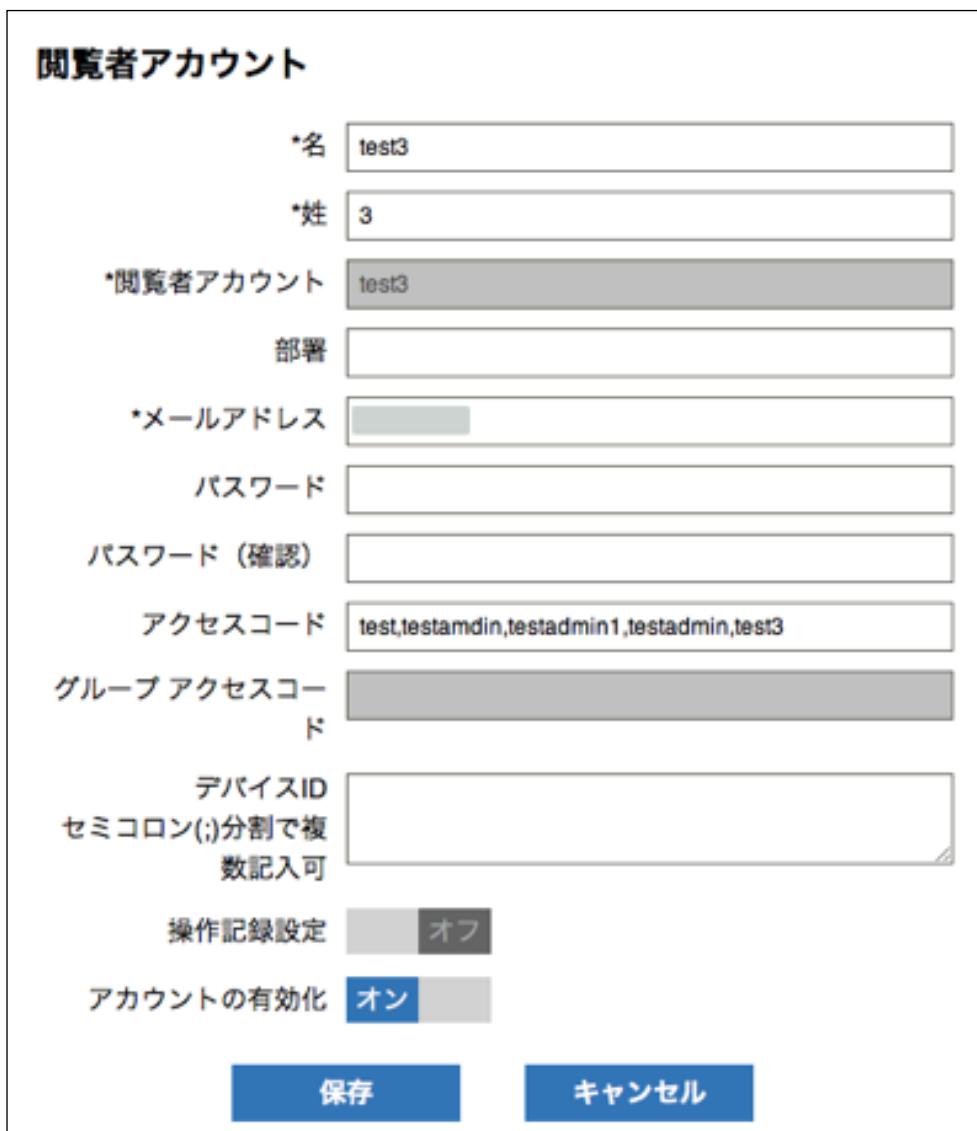
アクセスコード
test3

ブック全体にこのアクセスコードを適用
 フィードバック機能を利用

カテゴリ ①
カテゴリなし

説明

【同期している閲覧者アカウントの「編集」画面を開くと、同じアクセスコードが自動追加】



閲覧者アカウント

*名 test3

*姓 3

*閲覧者アカウント test3

部署

*メールアドレス

パスワード

パスワード (確認)

アクセスコード test,testamdin,testadmin1,testadmin,test3

グループアクセスコード

デバイスID
セミコロン(:)分割で複数記入可

操作記録設定 オフ

アカウントの有効化 オン

保存 キャンセル

添付されたオフィス文書をPDFで閲覧できるようにする

システム設定

時間帯: (GMT+09:00) 日本標準時 (JST) Asia/Tokyo

閲覧者アカウントを編集者アカウントと同期させる

添付されたオフィス文書をPDFで閲覧できるようにする

編集者操作記録の保存対象操作: 保存 更新 削除 検索 リスト表示

保存

この項目にチェックを入れてから、オフィス文書(ワード、エクセル、パワーポイントの文書)を添付したブックを作成すると、オフィス文書を元にPDFファイルを自動で作成してPDFのフォーマットで閲覧できるようにしたり、元のオフィス文書のままで閲覧したりすることができるようになります。オフィス文書のWord文書の拡張子はdoc/docx、Excel文書の拡張子はxls/xlsx、PowerPoint文書の拡張子はppt/pptxです。

オフィス文書を添付ファイルにして、PDF形式で閲覧したり編集したい場合は、この項目に先にチェックを入れてからブックを作成しないと、PDFファイルとして自動作成されません。

この項目にチェックを入れた場合、iOSやAndroidOSの情報端末(タブレットや携帯端末)を利用しているユーザーにとって、以下のようなメリットがあります。

【iOS情報端末のユーザー】

- ・ダウンロードした場合は、PDF編集が可能となります (タブレットのみ)
- ・PDFファイル内の文字はキーワード検索で検索できます

【AndroidOS情報端末のユーザー】

- ・外部のアプリケーションではなく、内部のアプリケーションでファイルを開くことができるようになるので、セキュリティを保てます
- ・PDFファイル内の文字はキーワード検索で検索できます

※ 既存のユーザーデータの更新だけを行なう機能です。ご契約プランにより使用できます。メニューが表示されない場合は使用できません。

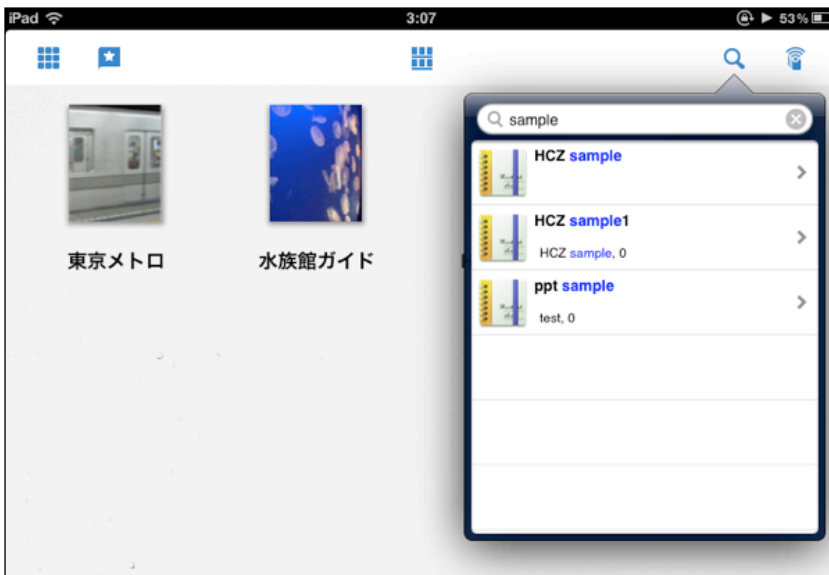
【添付されたオフィス文書をPDFで閲覧できるようにした場合のiOSのタブレットの画面

→ PDFファイルの場合のみ表示される「PDF編集メニュー」が表示されるようになっている】



また、PDFで閲覧できるようにしておくと、閲覧者(ユーザー)がタブレットなどの情報端末で検索をした場合に、PDFファイル内の文字も検索対象となるので、より詳しい検索を行うことができるようになります。

【自動でPDFファイル内のテキストも検索されているタブレットの画面】

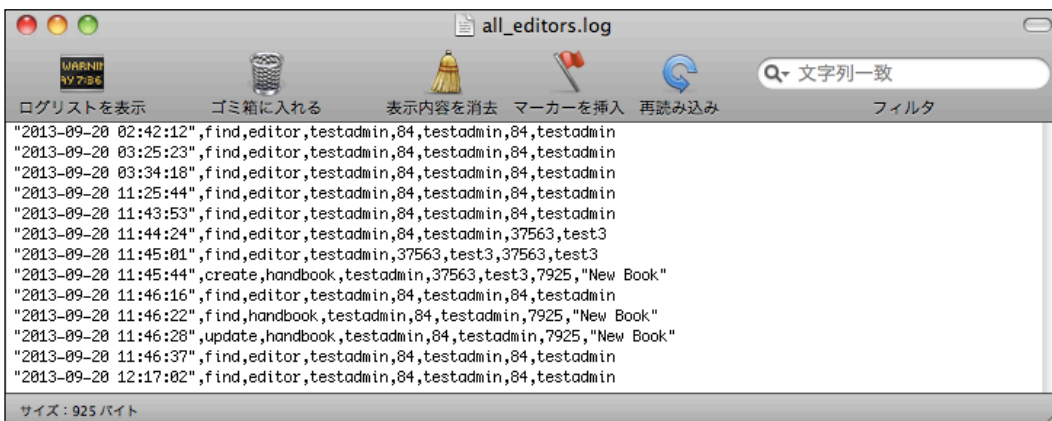


編集者操作記録の保存対象操作




この項目は、Handbook Studioの「統計」画面にて、「編集者操作記録ダウンロード」をクリックして編集者の操作記録をログファイル(.log)としてダウンロードする際に、どのような動作を保存するかを決めるための項目です。「保存」は「create」、「更新」は「update」、「削除」は「delete」、「検索(ログイン)」は「find」、「リスト表示」はブックのセクション画面をリスト表示化し、「list(リスト表示設定した動作)」としてログに記録されます。編集者操作記録の詳細については、「2.5. 統計」の「統計メニュー」にある「編集者操作記録ダウンロード」を参照してください。

【統計画面でダウンロードされた編集者操作記録のログの例】




ブック設定(カテゴリー作成)

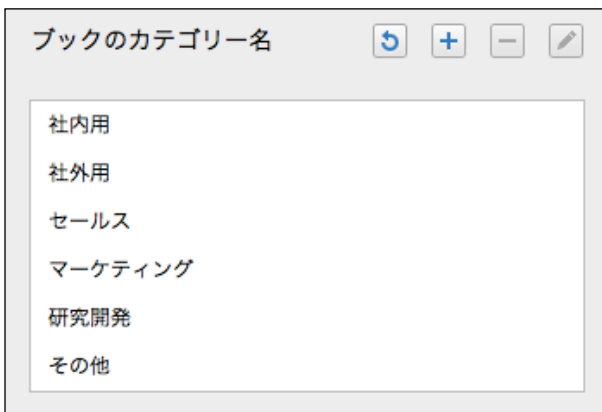
ブックのカテゴリー名を入力して作成することができます。ここで表示されるカテゴリーは、ブック画面で新しいブックを作成する際にドロップダウンリストで自動選択できるようにします。

 ボタンをクリックすると、それぞれ左から「自動でカテゴリー名を作成する」、「新しいカテゴリー名を入力する」、「選択したカテゴリー名を削除する」、「選択したカテゴリー名を編集する」ことができます。

【カテゴリー名新規作成画面】



 ボタンをクリックすると、以下のように自動でデフォルトのカテゴリー名が設定されます。



システム設定(試験/アンケート結果を削除)

試験結果を削除：閲覧者が行った試験の結果データを削除します。

「この日付まで削除」では、右の青いマークをクリックするとカレンダーが表示されるので日付をクリックして選択します。

アンケート結果を削除：閲覧者が行ったアンケートの結果データを削除します。

「この日付まで削除」では、右の青いマークをクリックするとカレンダーが表示されるので、日付をクリックして選択します。



<クライアント配布設定>

「クライアント配布設定」画面では、編集者がブックを作成する際に、閲覧者に対してデバイスのIDによってログインを制限したり、ブックの背景画像を指定することで独自の背景を貼付けることができます。また名刺用画像を配布するとセクションに挿入する名刺に画像を貼付けることができます。

【クライアント配布設定画面】

The screenshot shows the 'クライアント配布設定' (Client Distribution Settings) page. The top navigation bar includes: ブック管理, 編集者アカウント管理, 閲覧者アカウント管理, 閲覧者グループ管理, 統計, 環境設定, and ログアウト. The left sidebar has: 編集者アカウント設定, システム設定, クライアント配布設定, and Handbook Studioについて. The main content area is titled 'システム設定' (System Settings) and includes a section for '接続を許可するデバイス:' (Devices to allow connection) with icons for iPhone, iPad, Android, Windows 8, and PCWeb, each with a checked checkbox. Below this are three unchecked checkboxes: 'ログインをデバイスIDによって制限する', 'クライアントでのパスワードの保存を禁止する.', and 'クライアントでのアクセスコードの設定を禁止'. A '保存' (Save) button is present. The next section is 'クライアント端末への壁紙配布' (Wallpaper distribution to client devices) with a large '画像' (Image) placeholder and an 'アップロード' (Upload) button. The final section is '名刺用画像の配布' (Distribution of business card images) with another '画像' (Image) placeholder and an 'アップロード' (Upload) button.

システム設定(デバイスIDによる制限/パスワード保存・アクセスコード設定の禁止)



接続を許可するデバイス (タブレットなどの情報端末)

デバイスの種類によってアクセスを制限することができます。

ログインをデバイスIDによって制限する

閲覧者のログインを、デバイスのIDによって制限することができます。

クライアントでのパスワードの保存を禁止する

クライアント(閲覧者)が独自にパスワードを設定することを禁止します。

クライアントでのアクセスコードの設定を禁止

クライアント(閲覧者)が独自にアクセスコードを設定することを禁止します。

クライアント 端末への壁紙配布



編集者が独自に設定したブック用の壁紙を、閲覧者に配布することができます。

「アップロード」をクリックすると、参照画面が表示されるので、背景にしたい画像を選択します。アップロード後は、「解除」ボタンが表示されるので、「解除」をクリックして画像を消去します。

【背景画像を設定した場合の画面】



名刺用画像の配布

編集者が名刺用の壁紙を、閲覧者に配布することができます。

「名刺(ネームカード)」とは、編集者がアカウントをまだ持っていない閲覧者に対して、「ルーム」というネット上の一時保管場所にブックを公開し、そこからアカウントを持っていない閲覧者がダウンロードをする際に、ブックの編集者情報として自動的にセクションに挿入されるものです。

クライアント端末への壁紙配布と同様に、「アップロード」をクリックすると、参照画面が表示されるので、背景にしたい画像を選択します。アップロード後は、「解除」ボタンが表示されるので、「解除」をクリックして画像を消去します。

※ 「ルーム」についての詳細は、別紙の「Handbookアプリユーザーガイド」を参照してください。

<Handbook Studioについて>

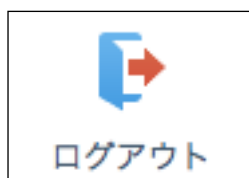
「Handbook Studioについて」画面では、Handbook Studioに関するバージョンや使用量などの情報を表示します。

【Handbook Studioについての画面】



2.7. ログアウト

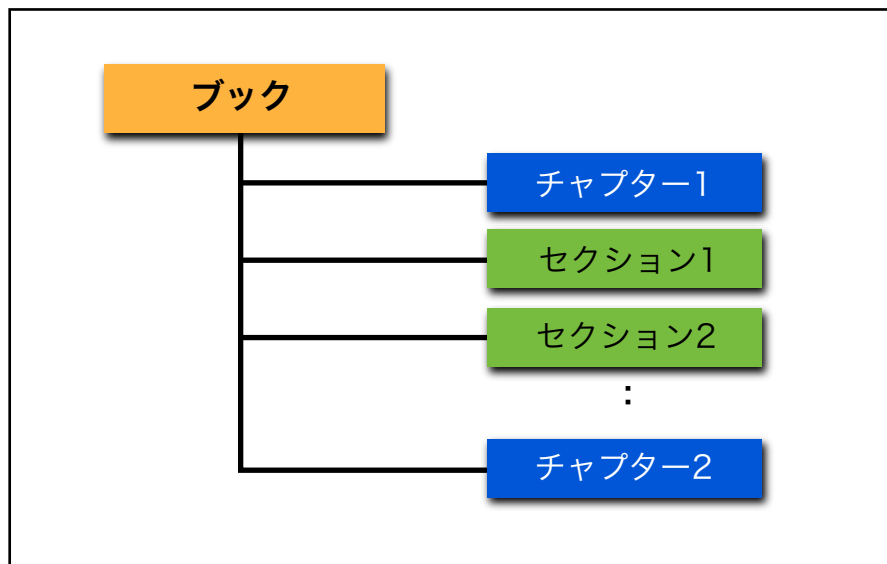
「管理画面切替えメニュー」の一番右にある「ログアウト」をクリックすると、Handbook Studioからログアウトすることができます。



3章 コンテンツの作成

3.1. コンテンツの構造

コンテンツは、2段階の階層構造で作成することができます。セクション下には、クイズなどの設問を設定したり、画像・動画を挿入したりすることができます。この構造をふまえて、作成前にあらかじめコンテンツの大枠を考えておきます。



3.2. コンテンツの作成方法

Handbookのコンテンツの作成は、Handbook Studioにて行います。コンテンツは「ブック」→「チャプター（セクションの区切りとして必要な場合）」→「セクション」→「セクションのコンテンツ(設問)」の順に作成します。「チャプター」はセクションの区切りとしてタイトルが必要な場合にのみ挿入します。

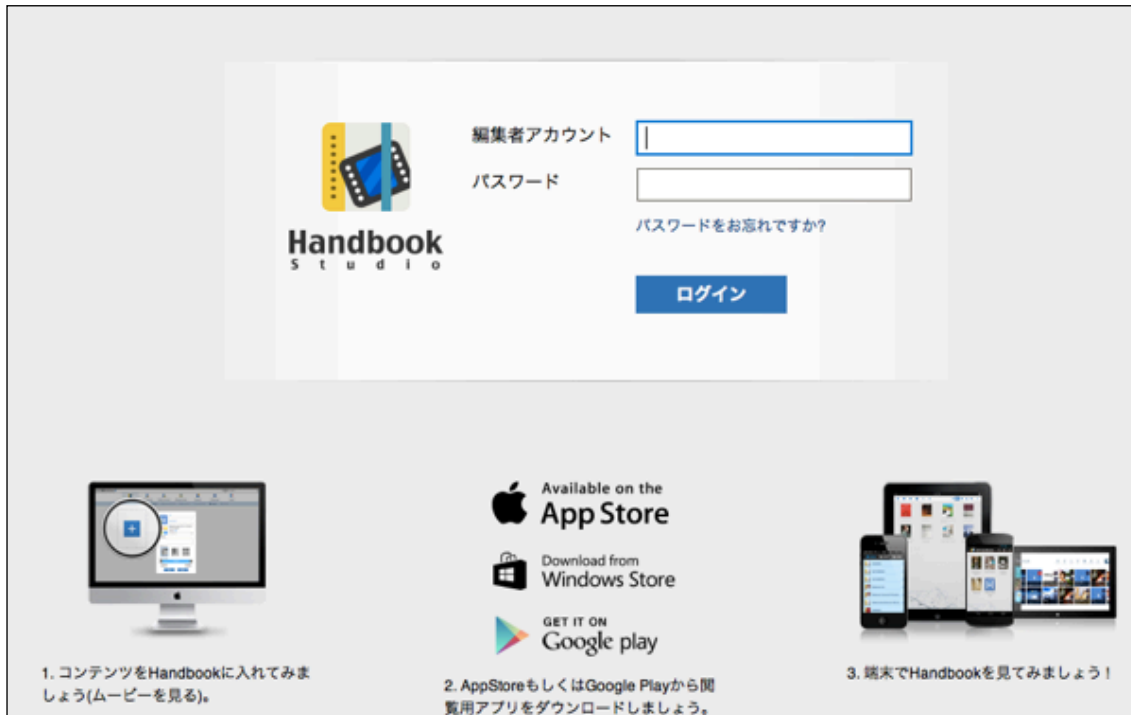
コンテンツの作成手順は、以下のようになります。

3.2.1. ブックを作成する

<ログインと初期情報>

PCのブラウザよりHandbook Studioのログイン画面にアクセスし、登録したユーザー名とパスワードを入力し、最後に「ログイン」ボタンをクリックします。

【Handbook Studioのログイン画面】



ログインすると、以下のようにHandbook作成の大まかな流れのチュートリアルイラストが表示されるので、右矢印ボタンでStep3まで参照し、最後に右上のX印をクリックして画面を閉じてください。

※ 左下にある「ログイン後にこの画面を表示」のチェックを外してからチュートリアル画面を閉じると、次回からは表示されません。

【Step1の画面】



【Step2の画面】

Attachment Section

Title

Please drag and drop files from the desktop

Select a image file from this device

Select a image file from a cloud

Save Cancel Delete

ログイン後にこの画面を表示

ステップ 2. ハンドブックにコンテンツを入れる

【Step3の画面】

Download on the App Store

GET IT ON Google play

Available on the Windows Store

ログイン後にこの画面を表示

ステップ 3. 端末で見る

<ブックの作成>


1. Handbook Studioの最初の画面が開きます。ここでブックを作成していきます。



2. まず、画面の上にある「ブック追加」ボタンをクリックし、新しいブックを作成します。



3. ブックの作成画面が表示されます。



Handbook
H
Inditena Corporation © 2019-2023

タイトル

アクセスコード

ブック全体にこのアクセスコードを適用
 フィードバック機能を利用

カテゴリー ⓘ

カテゴリーなし ▼

説明

セクションの表示レイアウト

S1	S2
S3	S4
S5	S6

S1		S4
S2		S5
S3	S6	S7

S1
S2
S3
S4
S5

閲覧可能期間

閲覧可能期間

開始 終了

保存 キャンセル

4. ブックの作成画面で各項目を入力してゆきます。

表紙画像

タイトル
東京メトロ

アクセスコード
testadmin

ブック全体にこのアクセスコードを適用
 フィードバック機能を利用

カテゴリー ①
鉄道

説明
~東京メトロの雑学を身に付けよう~

セクションの表示レイアウト

閲覧可能期間
2012-05-01 00:00:00 ~ 2015-01-01 00:00:00

保存 キャンセル

表紙画像：写真やイラストをドラッグ&ドロップして挿入します。

タイトル：タイトルを入力します。

アクセスコード：「アクセスコード」とは、作成したHandbookを、ユーザーに参照してもらう際に必要なコードです。アクセスコード欄には、自分の独自のコードを入力することができます。

環境設定画面にて、管理者権限のある編集者アカウントが閲覧者アカウントと「同期」させる設定をしている場合は、このブック作成画面で入力したアクセスコードは、同期している閲覧者アカウントの「アクセスコード」として自動登録されます。

※ 編集者と閲覧者のアカウント同期とアクセスコードの自動設定についての詳細は、「2.6. 環境設定」の「システム設定」を参照してください。

※ なおアクセスコードは50文字までの英数字で入力して下さい。大文字小文字は判別されません。

ブック全体にこのアクセスコードを適用：ブックの全体に同じアクセスコードを適用します。

フィードバック機能を利用：閲覧者がブックの評価や感想などを書き込めるように設定されます。

カテゴリー：ドロップダウンリストで表示される項目より選択できます。新しくカテゴリーを作成したい場合は、「環境設定」にてカテゴリーを作成します。

※ 新しいカテゴリーの作成方法については、「2.6. 環境設定」の「システム設定」の項目を参照してください。

背景色選択：4色よりいずれかを選択します。

説明：ブックの説明を入力します。

セクションの表示レイアウト：3パターンのうちいずれかを選択します。

閲覧可能期間：ブックを閲覧者が参照することが可能な期間の開始日と終了日を設定します。それぞれ「開始」と「終了」の文字をクリックすると、以下のようにカレンダーが表示されるので、日時をクリックして設定し、「完了」をクリックします。

説明

2013年8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

時間
00:00

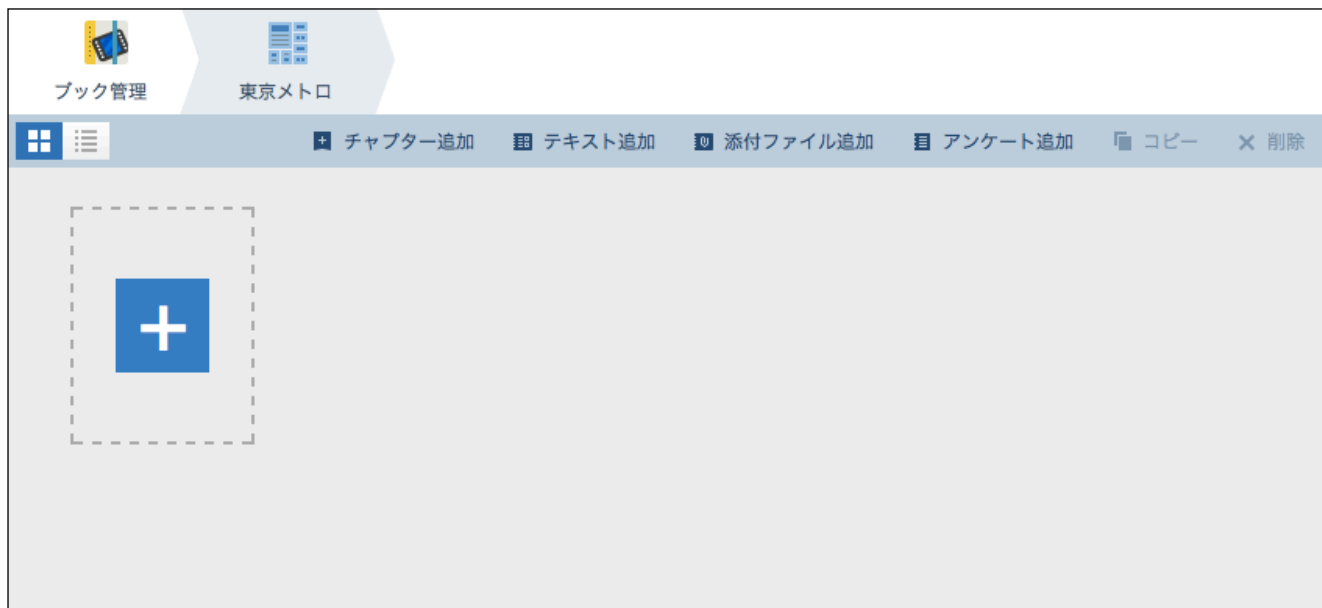
時

分

現在 消去 完了

開始

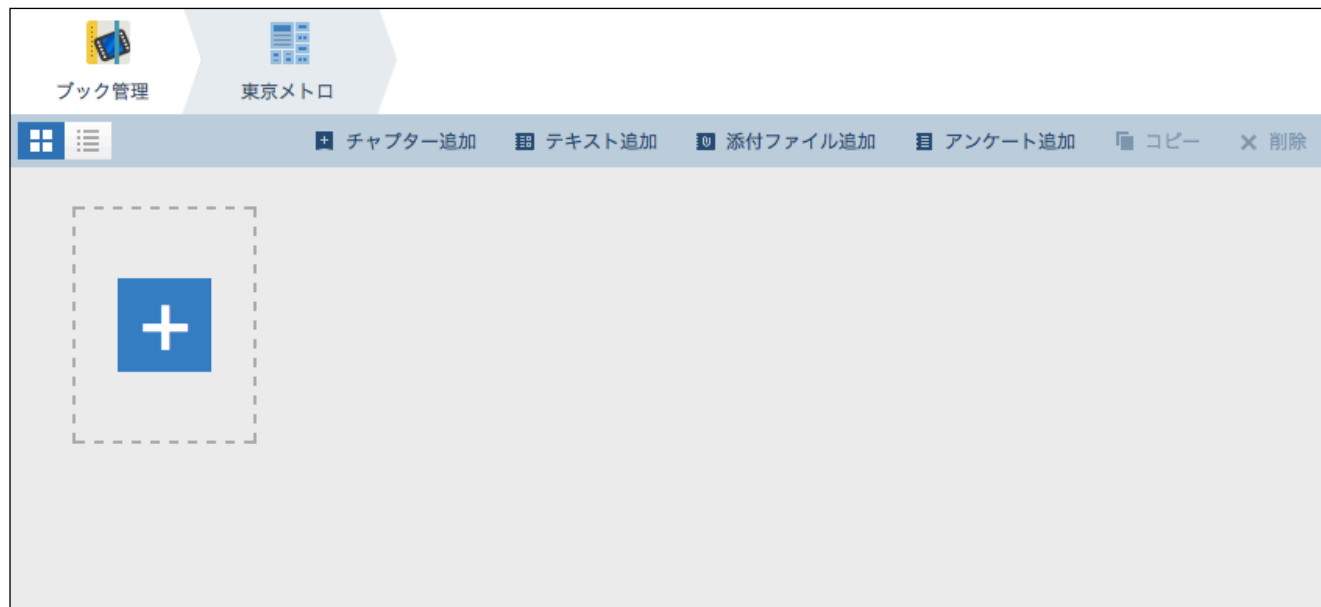
5. 新しいブックが作成されました。ブック作成後は、チャプターとセクションの設定画面が表示されます。



3.2.2. チャプターを作成する

1. 次に、「チャプター」を作成します。

※ チャプターは主にセクションを分類して区切るための目印として使用します。



2. 画面の上にある「チャプター追加」をクリックします。



3. チャプターの作成画面が表示されるので、各欄に情報を入力します。「アクセスコード」はブック作成画面にて「ブック全体にこのアクセスコードを適用」にチェックをつけているため、個別に設定できないようになっています。「クイズ終了時のメール送信ボタンを有効にします」、「試験終了時のメール送信ボタンを有効にします」にチェックを入れると、それぞれ試験やクイズを終了した後に、その結果を閲覧者の情報端末にメール送信するための「送信」ボタンを表示します。最後に「保存」をクリックします。



タイトル

資料

アクセスコード

testadmin

クイズ終了時のメール送信ボタンを有効にします。

試験終了時のメール送信ボタンを有効にします。

保存 キャンセル

4. 青い旗印の新しいチャプターが作成されました。



3.2.3. セクションを作成する

セクションを作成し、説明文とメディア(画像、動画、添付ファイル、音声)を挿入する手順を説明します。メディアはすべてセクションに直接ドラッグ&ドロップして文章下などに挿入することができます。

※ 画像の挿入では、一部のデバイスではCMYKカラーモードのJPEGファイルを正しい色で表示することができません。JPEGファイルを使われる時は、RGBカラーモードのものをご使用ください。

<コンテンツに説明文と画像を挿入する>

ここでは、セクションのコンテンツに説明文と画像(png/jpg/gif形式のファイルのみ, 100MBまで)を挿入する方法を説明します。

1. 前項のチャプター作成より続いて、ブックのコンテンツである「セクション」を作成します。画面の上の「テキスト追加」をクリック、もしくは、+印の画像をクリックします。

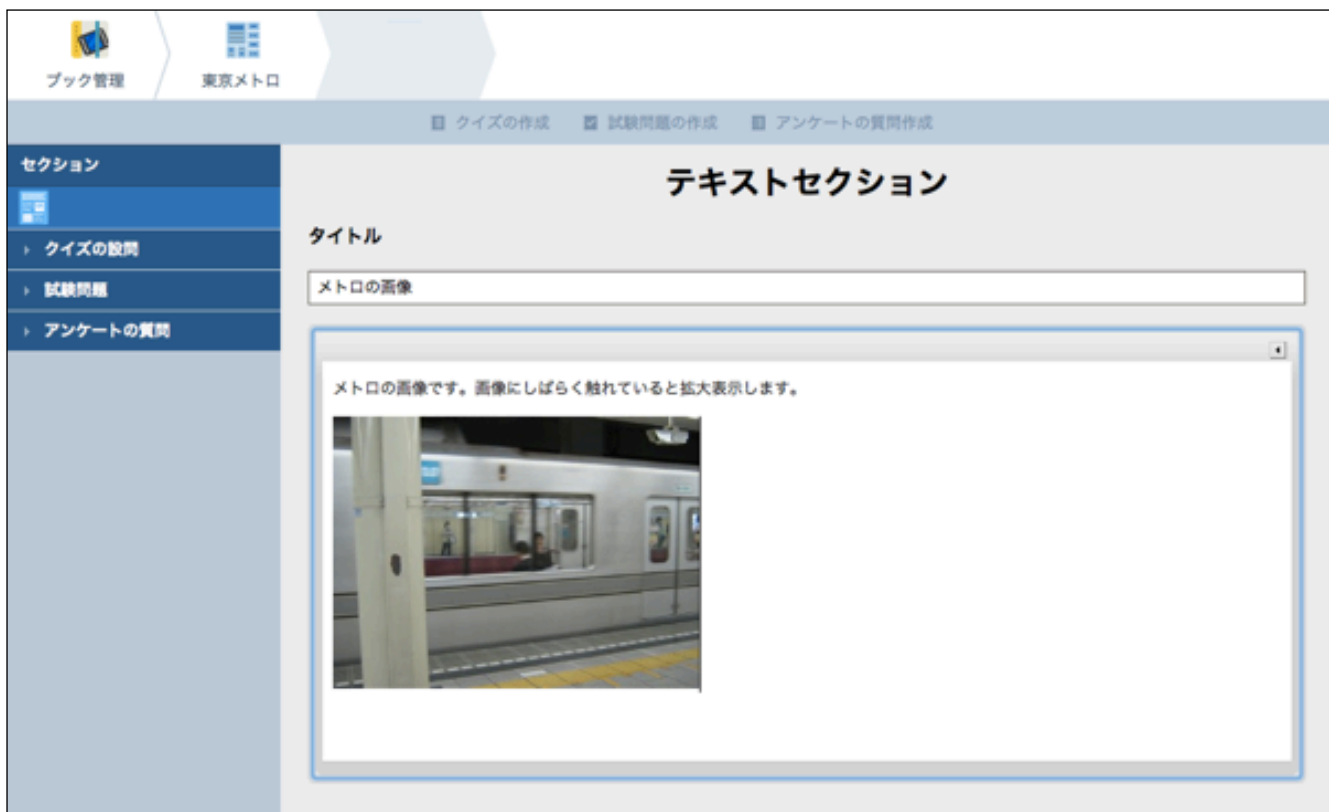


2. セクションの追加/作成画面が表示されるので、各欄に情報を入力します。




3. 「タイトル」には、セクションの名前を入力します。

タイトル下の説明欄には文章を書き込み、メディア（画像、ビデオ、添付ファイル、音声）を直接ドラッグ&ドロップして貼付けます。画像以外でもメディアはすべてこの方法で挿入することができます。



※ 「Handbook Studio3.xで作成された内容の表示」項目をチェックすると、旧HandbookStudioで設定したタブレット表示用の設定画面が表示されます。

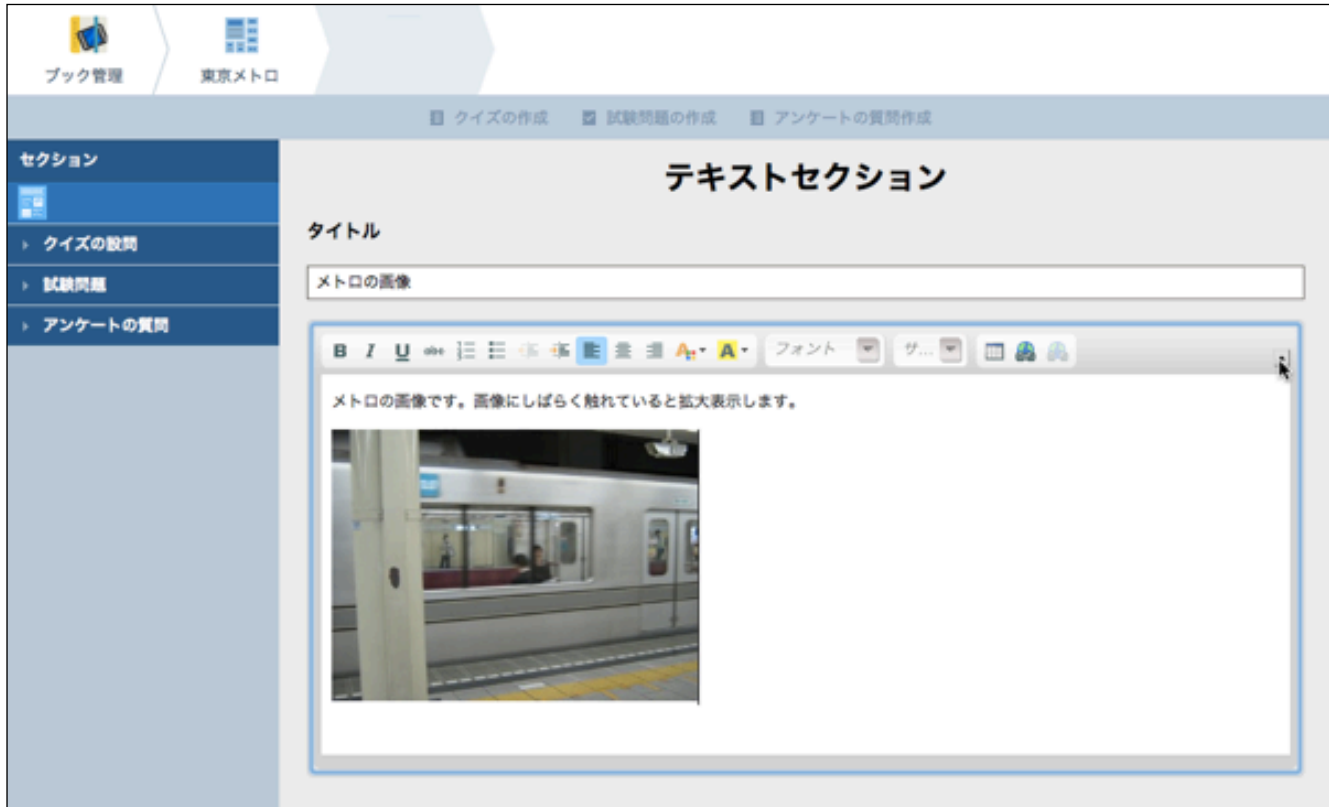


4. また、説明欄の右上にある  をクリックすると、文字修飾ツールが表示されるので、文字に色をつけたり、大きくしたりなど、リッチテキストで画面を作成することができます。

※ 文字修飾ツールの詳細については、後述の「コンテンツの文字を装飾する」の項を参照してください。

注意)

リッチテキストの編集にはCKEditor (<http://ckeditor.com/>)というモジュールを利用しております。
添付ファイルの保存時には、CKEditorではレイアウト上、自動で、<P>タグが挿入される仕様となっております。
コンテンツ作成時においては、<P>タグが入ることで、スペースをあけてレイアウトされることをご考慮の上、作成をお願いいたします。



The screenshot shows a web application interface for creating a text section. At the top, there are navigation tabs for 'ブック管理' (Book Management) and '東京メトロ' (Tokyo Metro). Below these are three sub-tabs: 'クイズの作成' (Create Quiz), '試験問題の作成' (Create Exam Question), and 'アンケートの質問作成' (Create Survey Question). The main content area is titled 'テキストセクション' (Text Section). Underneath, there is a 'タイトル' (Title) field containing the text 'メトロの画像' (Image of Metro). Below the title is a rich text editor with a toolbar containing various formatting options like bold, italic, underline, and font color. The editor's content area contains the text 'メトロの画像です。画像にしばらく触れていると拡大表示します。' (Image of Metro. Touching the image for a while will enlarge it.) and a small image of a train platform.

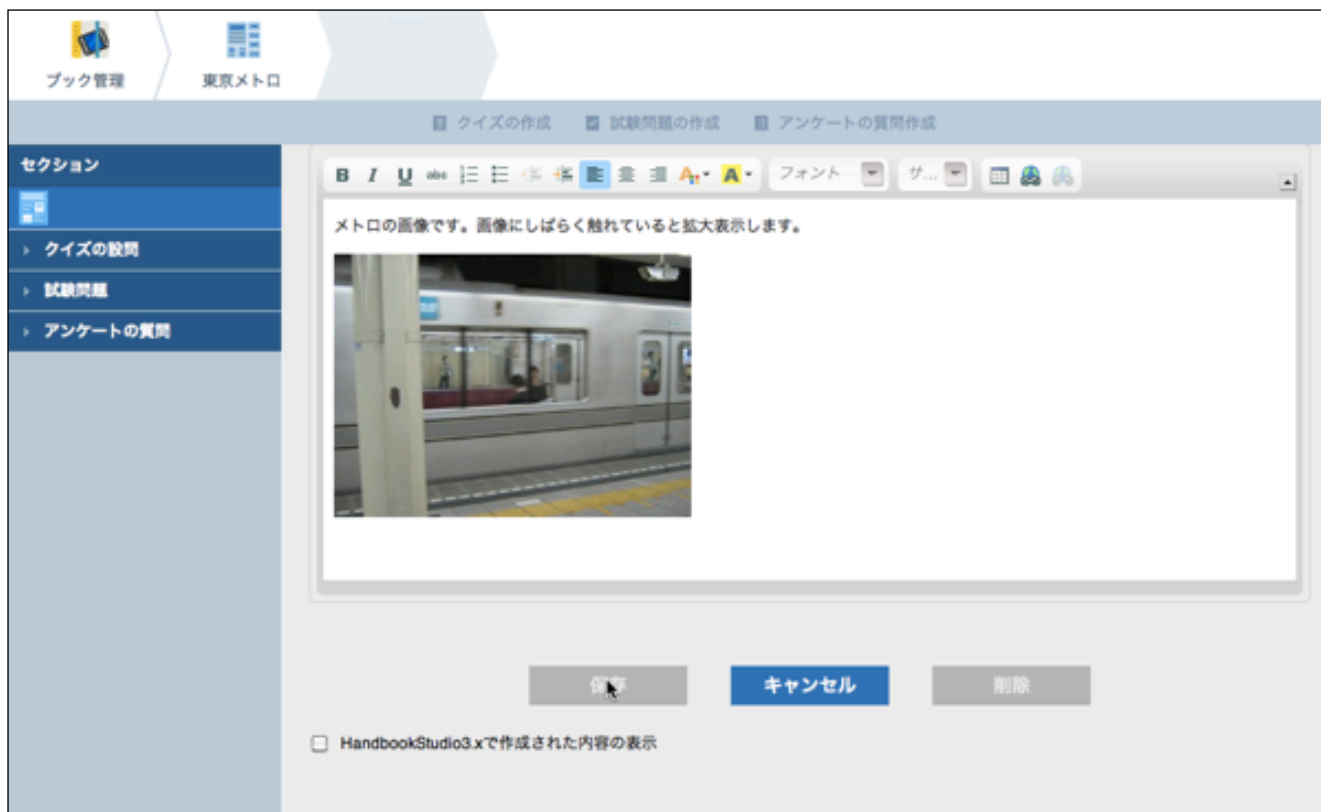
5. ここで画像の画像の大きさや位置を調節してみます。画像の右クリックメニューで「イメージプロパティ」を選択します。



6. イメージプロパティ画面が表示されるので、ここで幅や高さ、行揃えなどを調節して最後に「OK」をクリックします。



7. セクションのコンテンツ作成が終了したら、最後に「保存」をクリックします。元の画像が大きい場合には、閲覧者がしばらく触れていると画像が拡大表示されるようになります。

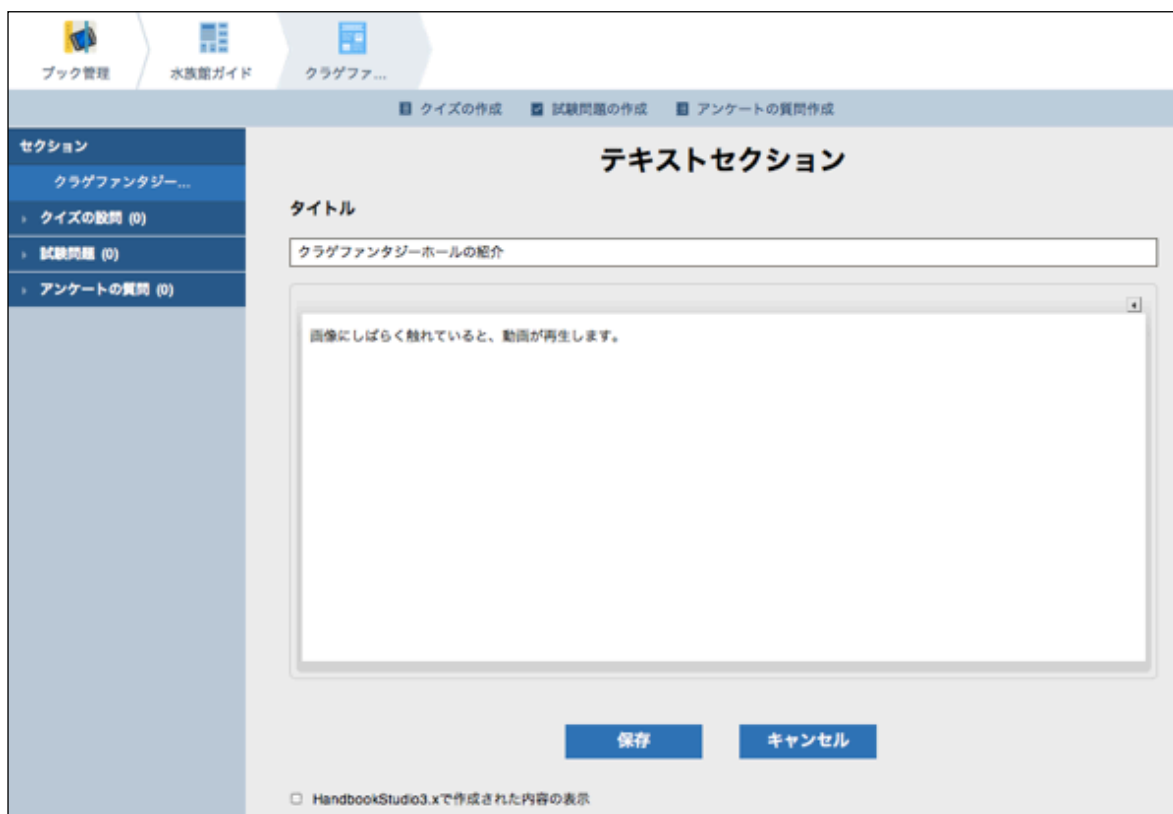


8. セクションが作成されました。以上で説明文と画像の入ったセクションの作成方法は終了です。



<コンテンツに説明文と動画を挿入する>

- 次に、コンテンツ内に動画（m4v/mp4/mov形式のファイルのみ、100MBまで）を登録する方法を説明します。前項と同様に「テキストの追加」ボタンをクリックして、動画用の新しいセクションのコンテンツを作成し、タイトルと文章を入力します。



- コンテンツ内に動画を挿入します。説明欄の挿入したい箇所に動画ファイルをドラッグ&ドロップします。



3. 動画が挿入されます。前項の方法と同じく、画像を右クリックメニューで表示される「イメージプロパティ」で幅や位置などを調節します。

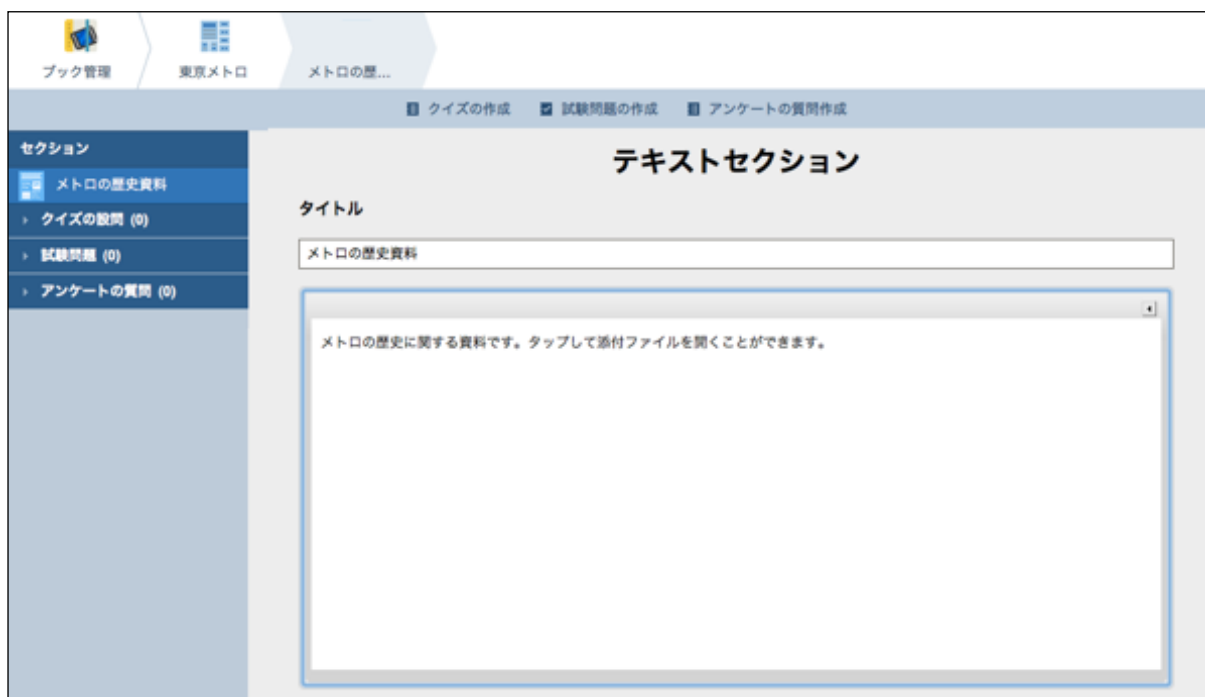


4. 最後に保存をクリックすると、動画の挿入されたコンテンツが出来上がります。ユーザー側の画面では、画像にしばらく触れていると動画が再生されるようになります。

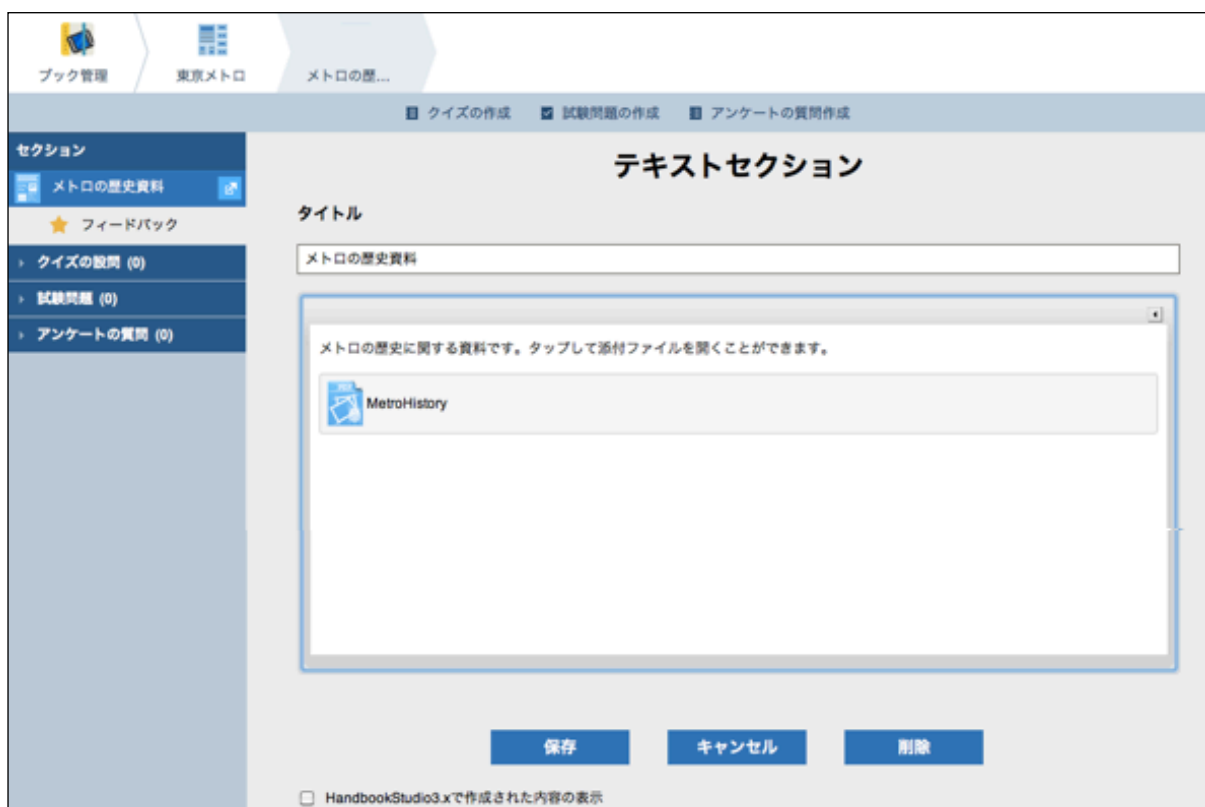


<コンテンツに説明文と添付ファイルを挿入する>

- 次に、コンテンツ内に説明付きの添付ファイル（doc/docx/xls/xlsx/ppt/pptx/pdf/HCZ形式のファイルのみ、100MBまで）を挿入する方法を説明します。前項と同様に「テキストの追加」ボタンをクリックして新しいセクションのコンテンツを作成し、タイトルと文章を入力します。



- コンテンツ内に添付ファイルを挿入します。説明欄の挿入したい場所にカーソルを置いて、添付ファイルをドラッグ&ドロップし、最後に「保存」をクリックします。閲覧者側の画面ではファイル名をタップすると、ファイルが開いて内容を見ることができるようになります。



3. 添付ファイルの文字部分をダブルクリックすると、以下のようなウィンドウが開き、添付ファイルのファイル名を変更することができます。



<コンテンツにメディア(画像/動画/添付ファイル/音声)のみを直接挿入する>

続いて、セクションに説明文なしで、メディア（画像、動画、添付ファイル、音声）のみをセクションに直接挿入する手順を説明します。これにより、閲覧者がコンテンツを開くと、すぐにメディアが開くようになります。この場合、挿入されているメディアはセクションそのものとみなされます。画像、動画、添付ファイル、音声の挿入方法は同じです。

セクションにメディアを直接入れる方法には、「セクションの編集画面から入れる方法」と、「セクションのリスト表示画面から入れる方法」があります。それぞれの手順は、以下のようになります。

セクションの編集画面からメディアを直接入れる

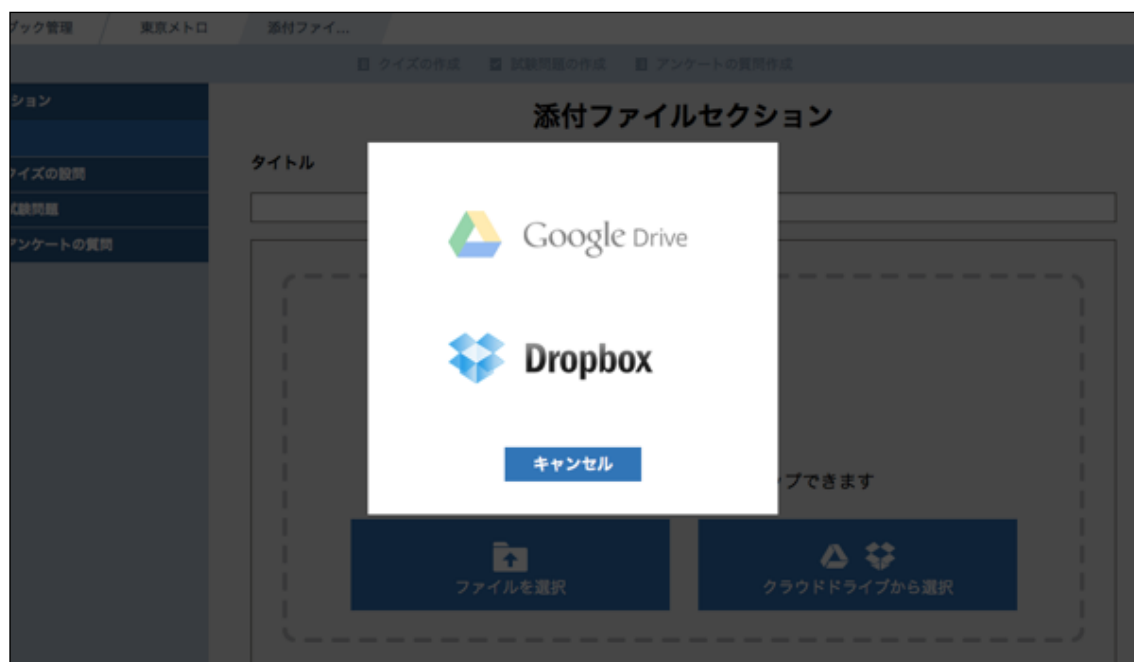
1. ブック作成後、セクションの表示画面で「添付ファイル追加」メニューをクリックします。



2. 添付ファイルセクションの作成画面が開きます。左下の「ファイルを選択」をクリックします。



※ 右下の「クラウドドライブから選択」をクリックした場合は、以下のような画面が開くので、「Dropbox」を選択します。

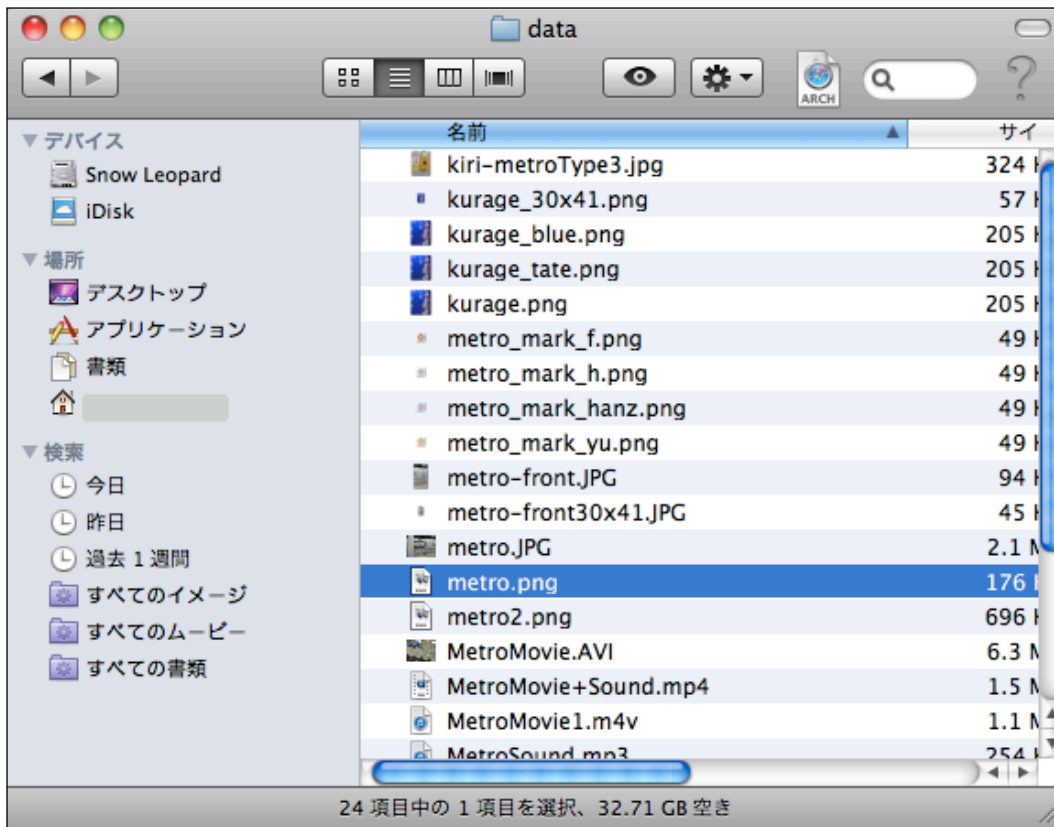


Dropboxへアクセスするためのログイン画面が表示されます。Dropboxから添付ファイルをダウンロードする場合は、ログインします。

※ Dropboxについての詳細は、「3.2.3.セクションを作成する」の「DropboxでHandbookを作成する」を参照してください。



3. ファイルの参照画面が表示されるので、添付したいファイルを選択します。



4. 添付ファイルセクションにメディア(ここでは画像)が表示されました。最後に「保存」をクリックします。



5. 添付ファイルセクションが作成されました。メディアを直接挿入したセクションの場合は、閲覧者側が情報端末でタップすると、すぐに添付ファイルが開くようになります。



セクションのリスト画面からメディアを直接入れる

また、セクションをリスト表示している場合には、リストの一番下に画像、動画、添付ファイル、音声のメディアファイルをドラッグするだけで、メディアファイルをそのままセクションとして登録することもできます。

セクションをリスト表示し、メディアをドラッグして直接挿入する方法は、以下のようになります。

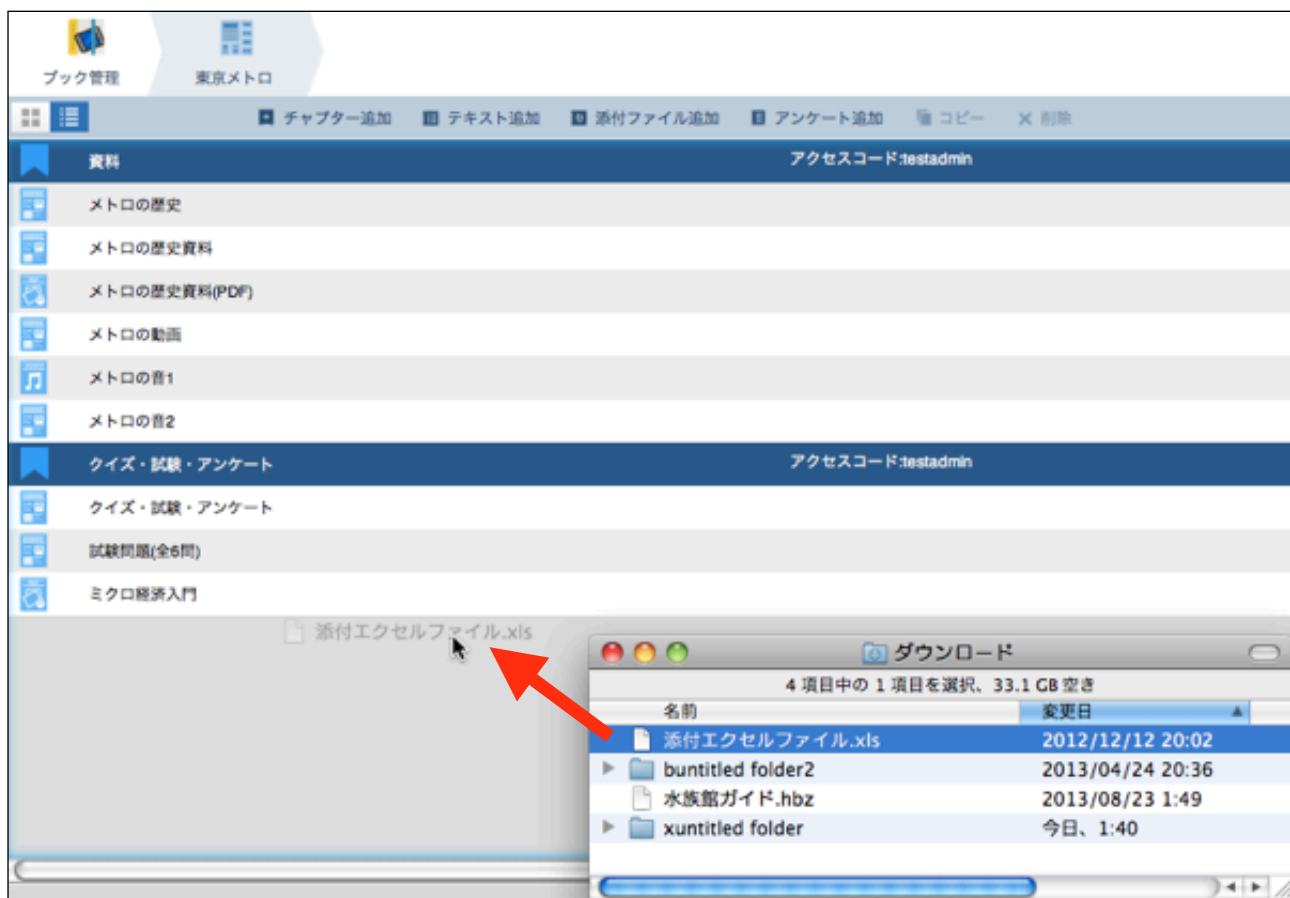
1. 初めに、セクションの表示画面を開き、左上の「リスト表示」ボタンをクリックします。



2. セクション画面がリスト表示になります。



3. メディア（画像、動画、添付ファイル、音声）を直接リストの下にドラッグ&ドロップします。



4. セクションリストの一番下の行に、挿入したメディアファイル(添付ファイル)が表示されています。

The screenshot shows a web application interface with a top navigation bar and a main content area. The top navigation bar includes 'ブック管理' and '東京メトロ' on the left, and a menu with 'チャプター追加', 'テキスト追加', '添付ファイル追加', 'アンケート追加', 'コピー', and '削除' on the right. The main content area is divided into two sections, both with the access code 'アクセスコード:testadmin'. The first section, '資料', contains items: 'メトロの歴史', 'メトロの歴史資料', 'メトロの歴史資料(PDF)', 'メトロの動画', 'メトロの音1', and 'メトロの音2'. The second section, 'クイズ・試験・アンケート', contains items: 'クイズ・試験・アンケート', '試験問題(全6問)', 'マイクロ経済入門', and '添付エクセルファイル'. The '添付エクセルファイル' item is highlighted with a red circle.

資料		アクセスコード:testadmin
メトロの歴史		
メトロの歴史資料		
メトロの歴史資料(PDF)		
メトロの動画		
メトロの音1		
メトロの音2		
クイズ・試験・アンケート		アクセスコード:testadmin
クイズ・試験・アンケート		
試験問題(全6問)		
マイクロ経済入門		
添付エクセルファイル		

<アンケート追加(アンケート単独のセクション)作成>

セクション画面で「アンケート追加」メニューをクリックすると、アンケートのみの単独のブックファイルを作成することができます。アンケート追加の作成方法は、以下のようになります。

※ アンケートの各設問についての詳しい内容は、「3.4.各アンケート設定の詳細」を参照してください。

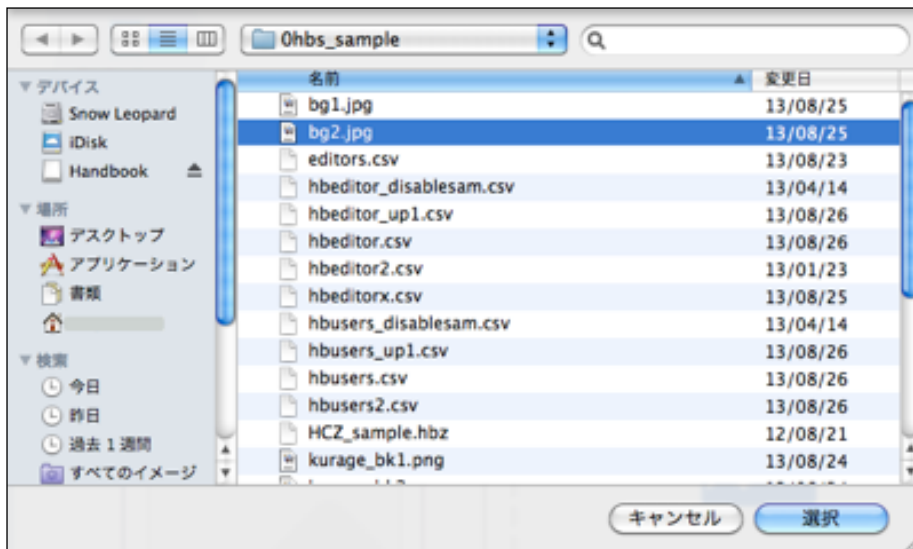
1. セクション画面で「アンケート追加」メニューをクリックします。



2. 単独のアンケートセクションの作成画面が表示されるので、タイトルを入力後、「ファイルを選択」をクリックします。



3. ファイルの選択画面で、背景にするための画像ファイルを選択します。
※ ここでは画像ファイルのみ選択できます。添付ファイルは貼付けられません。



4. 背景の画像が読み込まれました。いったん「保存」をクリックします。
※ 直接画像ファイルをドラッグ&ドロップしても貼付けることができます。



5. セクション画面にあたらしい単独アンケートのセクションが追加されました。



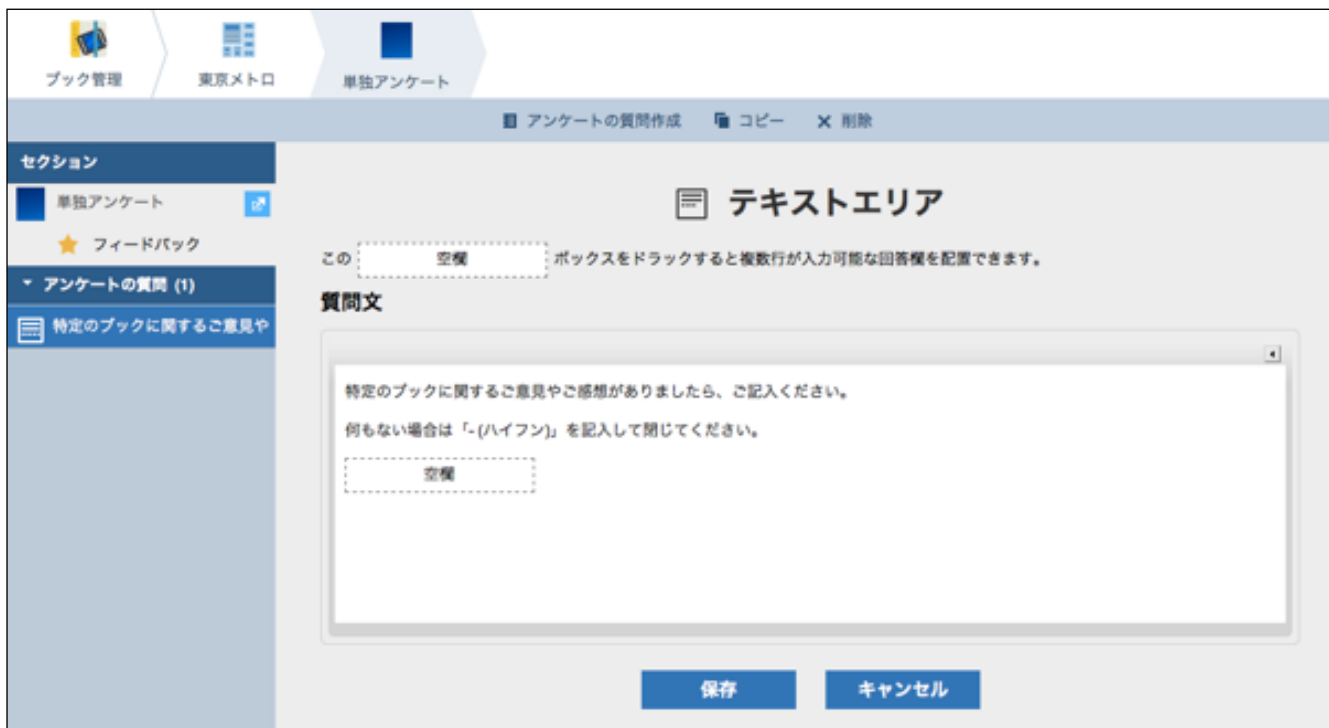
6. 再度、単独アンケートのセクションを開き、画面の上にある「アンケートの質問作成」をクリックします。



7. 以下のアンケートのスタイルを選択する画面が表示されるので、ここでは「テキストエリア(複数行の文章を記入できる形式)」を選択して、「次へ」をクリックします。




8. テキストエリア形式のアンケートの作成画面が表示されるので、設問文章欄に文章を入力し、閲覧者用記入欄として「空欄」ボックスをドラッグし、最後は「保存」をクリックします。複数のアンケートを作成したい場合は、画面上部の「アンケートの質問作成」ボタンを再度クリックして、同じ手順を繰り返します。以上で単独アンケートの作成方法は終了です。

















<コンテンツの文字を装飾する>

セクションのコンテンツ内の文字はワープロのようにフォントやサイズ、色の変更のような装飾を行うことができます。

文字の装飾ツールは、コンテンツ作成画面の説明欄の右上端にある  をクリックして表示することができます。





装飾のタイプは15パターン用意されています。

	文字を強調文字にします。
	文字をイタリック(斜体)にします。
	文字にアンダーラインを引きます。
	文字に取り消し線を引きます。
	文字を連番のリスト項目にします。
	文字をリスト項目にします。
	文字を左にインデントを付けます。
	文字を右にインデントを付けます。
	文字を左寄せにします。
	文字を中央にあわせます。
	文字を右寄せにします。
	文字の色を選択します。
	文字の背景色を変更します。
フォント <input type="text" value="Default"/>	文字のフォントを指定します。
サイズ <input type="text" value="Default"/>	文字のサイズを指定します。
	表を挿入します。

<コンテンツにリンクを設定する>

セクションのコンテンツ内にメール送信、ホームページへのリンクを設定することができます。

	コンテンツ内のカーソルの位置にリンクを設定します。
	設定されているリンクを解除します。

リンクアイコンをクリックすると設定ウィンドウが開きます。



リンクタイプは2パターン用意されています。



URL	httpもしくはhttpsのアドレスを指定してホームページを指定します。情報端末でリンクをクリックした場合には、別画面でブラウザが起動してこのページを表示します。
E-Mail	送信先のE-Mailアドレスと、件名、本文を指定します。情報端末でリンクをクリックした場合には、別画面でメールが起動してこのメールの送信画面を表示します。

<コンテンツのPermalinkを表示してユーザーにメールする>


Handbookのパーマリンク(Permalink)とは、セクションの位置を恒久的に表すことのできるリンクであり、セクションの内容に変更があってもリンク位置が変わることはありません。

HandbookのパーマリンクはiOSやAndroid OSのクライアントアプリと連携しており、パーマリンクをメールなどでクライアントアプリに送信し、リンクをタップするとクライアントアプリを起動し、セクションを直接開くことができます。

※ Android OSではリンクを開くことができるアプリに制限があります。全てのアプリで直接開くことができるわけではありません。

※ リンクを直接開くために、クライアントアプリでログインができる状態になっている必要があります、アクセスコードなどの設定もすませ、事前にそのハンドブックを開くことができようになっているなければいけません。

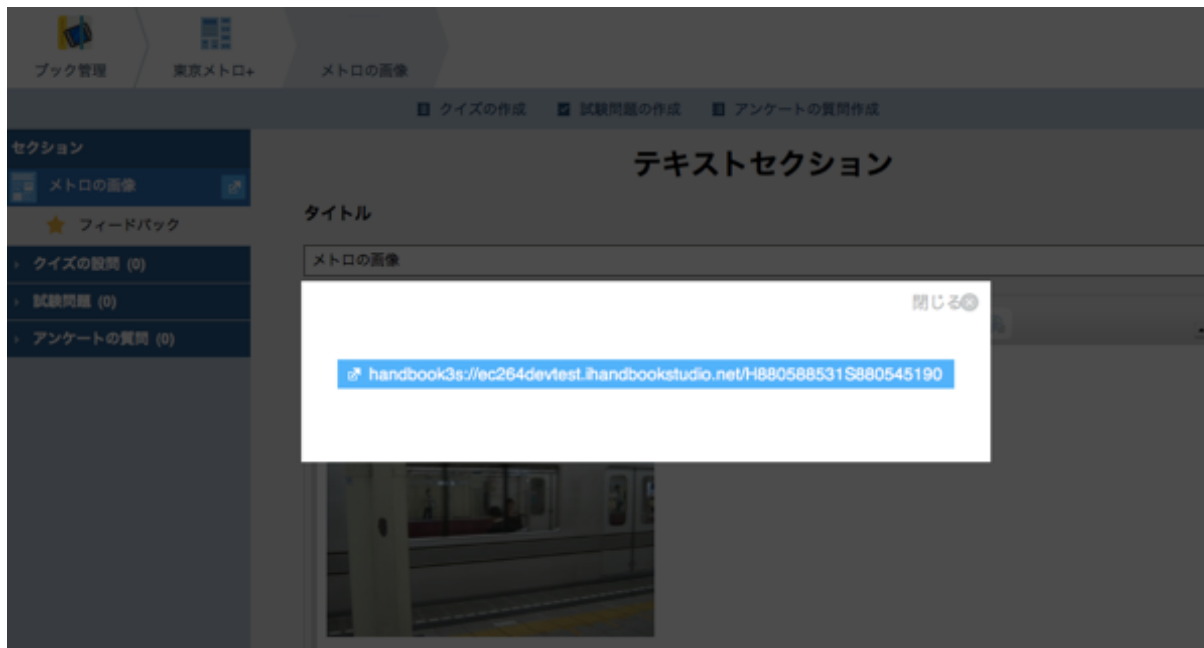
コンテンツの Permalinkを表示してユーザーにメールする方法は、以下のようになります。

1. ユーザーに送りたいセクションの編集ページを開き、セクション名の右にある、 「Permalink」 ボタンをクリックします。

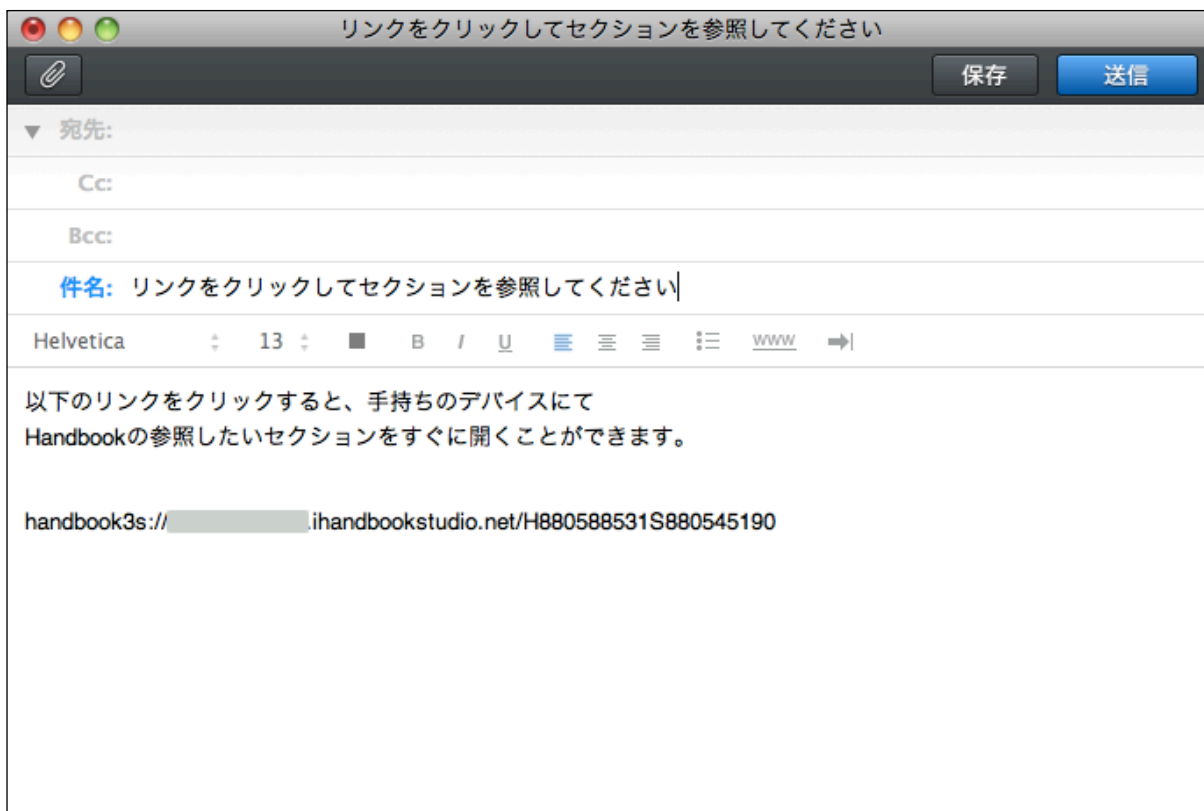


The screenshot shows the 'Text Section' editing interface. The left sidebar contains a 'Section' menu with 'Metro History' selected. The main area displays the title 'Metro History' and a preview of the content, which includes an image of a train and text about the history of the Tokyo subway system. At the bottom, there are buttons for '保存' (Save), 'キャンセル' (Cancel), and '削除' (Delete).

2. このセクションページのリンクURLが表示されます。



3. このURLをコピーしてメールに貼付け、閲覧者にメールで送信することができます。受け取った閲覧者はこのURLにアクセスすると、そのまま直接セクションの画面を開くことができます。



<フィードバック(評価方法)の設定>

ブックのセクションごとに、閲覧者がブックへの評価や感想などを書くことのできる、「フィードバック」を設定することができます。

1. セクションを作成後に再びセクション設定画面を開くと、自動的に「フィードバック」が組み込まれています。左側に「フィードバック」リストがあるので、クリックします。



2. このセクションに組み込まれたフィードバックの画面が表示されます。「5段階評価」と「支持評価」のいずれかをクリックすることによって評価方法を選択することができます。選択したスタイルはセクションの下にアイコン表示されます。また、右上にある電源ボタンをクリックすると、フィードバックは利用できなくなります。再度電源マークをクリックすることによって、フィードバックの利用が再びできるようになります。



5段階評価

このブックのコンテンツについて、閲覧者が5段階評価で★印を付けて評価します。

支持評価

このブックのコンテンツについて、閲覧者が「いいね!」評価を付けることができます。

コメント欄を使用する

このブックのコンテンツについて、閲覧者がコメント欄でコメントを記入することができます。

「5段階評価」と「支持評価」のいずれかを選択したスタイルはセクションの下にアイコン表示されます。

※ 閲覧者から一度評価を受けた後は、評価スタイルを変更することができません。



<ブックの設定(編集)>

作成したブックを選択して、ブック画面メニューにある、「ブック設定」をクリックすると、以下のような編集画面が表示されます。

この画面は、ブックの設定（編集）を行うためのインターフェースです。左側には、ブックのタイトル（東京メトロ）、アクセスコード（testadmin）、カテゴリ（鉄道）などの基本情報が設定できます。また、ブック全体にアクセスコードを適用するかどうか、フィードバック機能を利用するかどうかのチェックボックスがあります。説明欄には「～東京メトロの雑学を身に付けよう～」と入力されています。セクションの表示レイアウトは、3つの異なるグリッドパターンから選択できます。閲覧可能期間は、2012-05-01 00:00:00 から 2015-01-01 00:00:00 まで設定されています。右側には、ブックのダウンロードを許可するかどうか、ダウンロードした時のみ閲覧を許可するかどうか、ルーム内でのブックの閲覧を許可するかどうか、外部アプリで添付ファイルを開くことを許可するかどうか、シェルフ(書棚)へのブックのコピーを許可するかどうか、チャプターラベルの前で改ページするかどうか、アンケートの回答を個別に保存するかどうかのオプションがあります。最後に「保存」と「キャンセル」のボタンがあります。

この画面の右側には、ブック作成時になかった機能が自動で追加されています。画面右側のブック設定機能項目の説明は、以下のようになります。

ブックのダウンロードを許可

閲覧者側が自分の情報端末にブックをダウンロードして閲覧することを許可します。

「ダウンロードした時のみ閲覧を許可」にチェックを入れると、ダウンロード後にのみ閲覧が可能となります。

ルーム内でのブックの閲覧を許可

編集者が作成したファイルの一時共有スペースである「ルーム」に、ブックのアカウントをまだもっていない閲覧者が入って、短期間だけブックを閲覧することを許可します。

※「ルーム」の詳しい利用方法については、別紙の「Handbookアプリユーザーガイド」を参照してください。

外部アプリで添付ファイルを開くことを許可

外部のアプリケーションで添付ファイルを開くことを許可します。

シェルフ(書棚)へのブックのコピーを許可

編集者が「ルーム」を閉じてしまい、Handbookアカウントをもっていない閲覧者がブックを閲覧することができなくなった場合を考えて、事前に「ルーム」から「シェルフ(書棚)」という一時保管場所にブックをダウンロードすることを許可します。「シェルフ」にダウンロードしたブックは、編集者が設定した期間の間は閲覧することが可能となります。

※「シェルフ」の詳しい利用方法については、別紙の「Handbookアプリユーザーガイド」を参照してください。

チャプターラベルの前で改ページ

セクションを区切って閲覧するためにチャプターの前で改ページします。

アンケートの解答を個別に保存

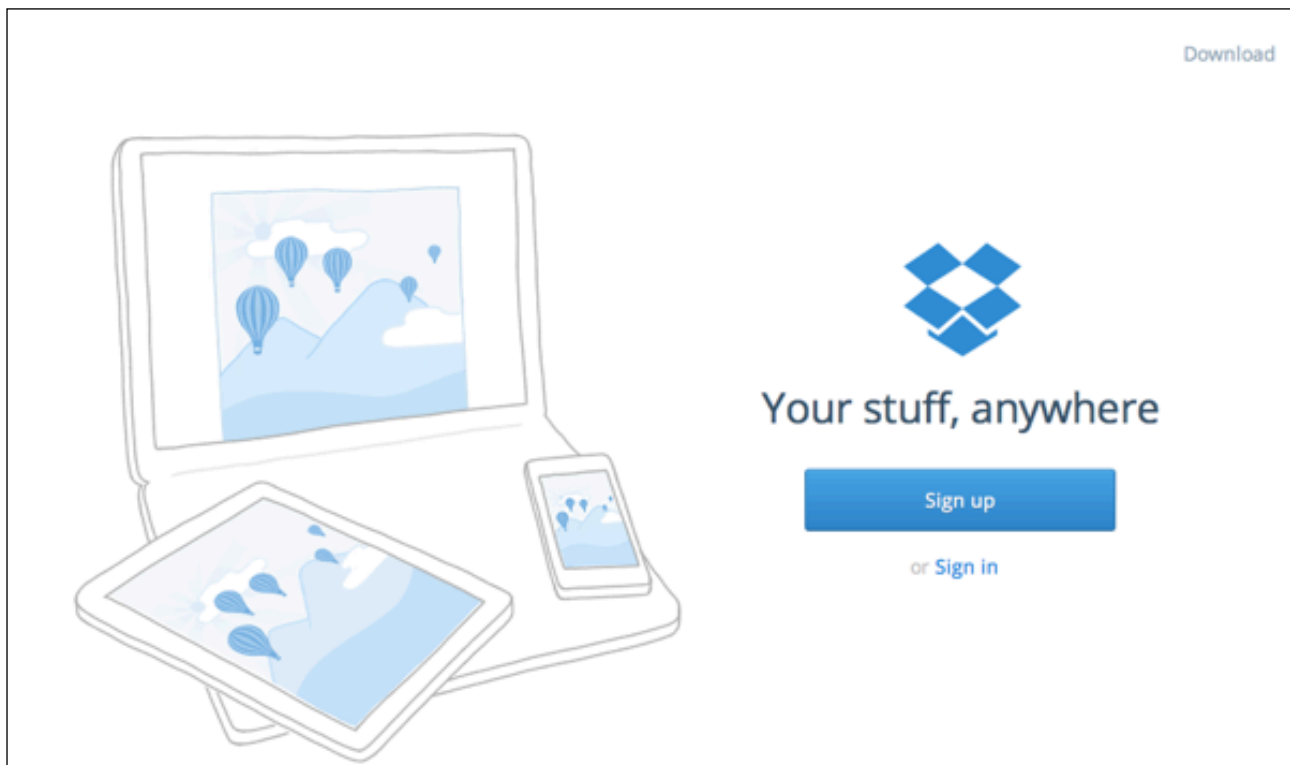
アンケートの解答を閲覧者別に保存します。

<DropboxでHandbookを作成する>

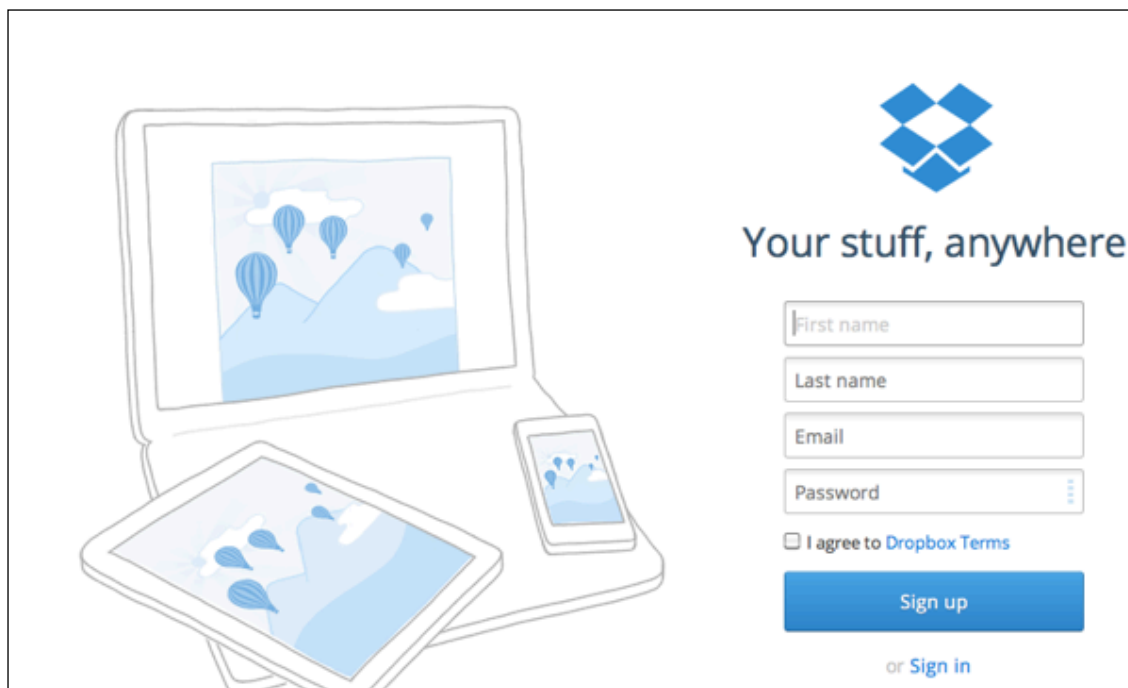
「Dropbox」とは、Web上に作成した Dropbox のデータフォルダと、複数の情報端末上のデータフォルダを同期させることによって、Dropbox にアクセスすれば、いつでも複数の情報端末から、同一の情報を参照することができるようにしたアプリケーションのことをいいます。以下では、Handbook Studioで Dropbox を利用して、ブックを作成する方法について説明します。

DropboxのホームページでHandbookのデータを作成する

1. 最初に、Dropboxのホームページ (<https://www.dropbox.com/>) にアクセスし、Handbook Studioで読み込むためのデータを作成します。以下のような画面が表示されるので、「Signup」をクリックします。

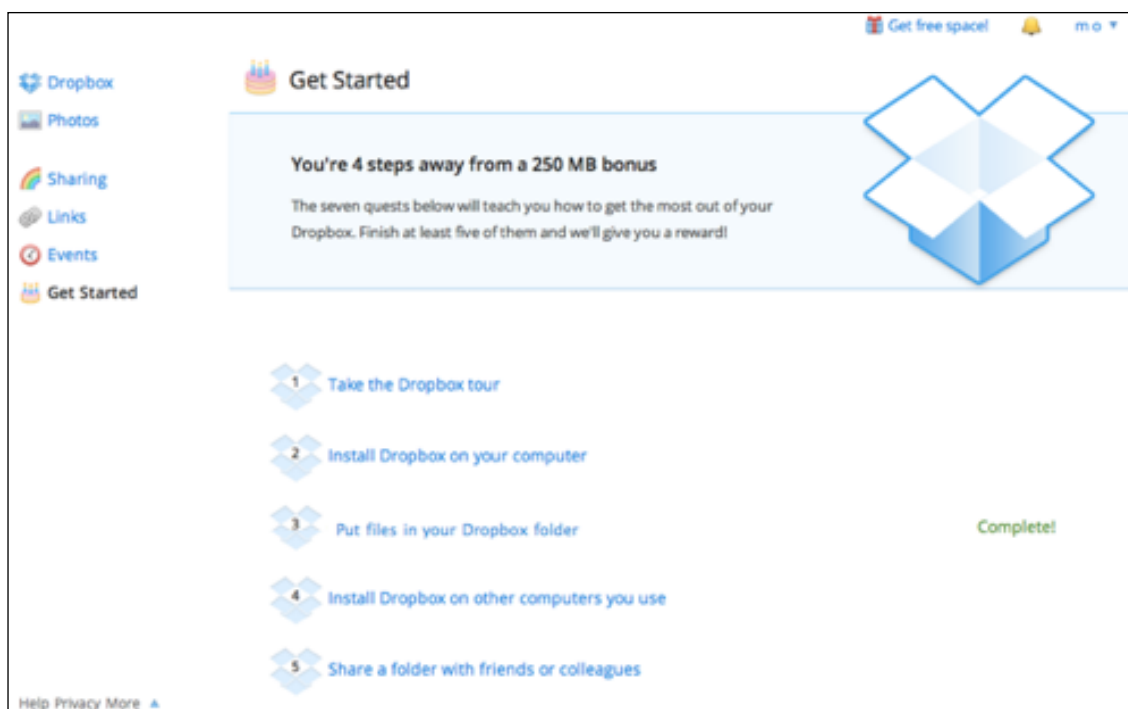


2. DropBoxへの登録画面が表示されるので、自分のアカウントを作成し、「Signup」をクリックします。



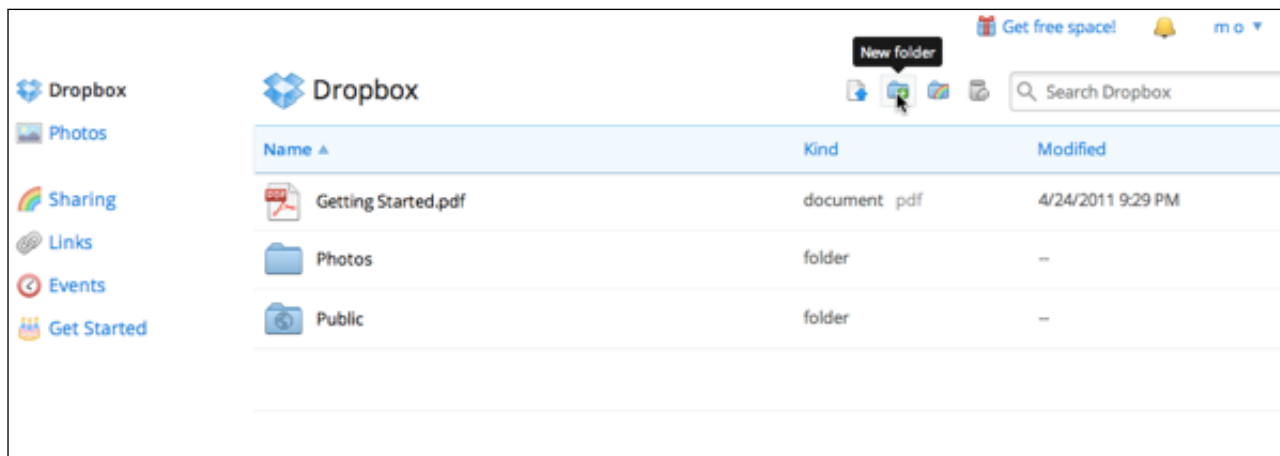
The image shows the Dropbox sign-up page. On the left, there is an illustration of a laptop, a tablet, and a smartphone, all displaying a landscape with hot air balloons. On the right, the Dropbox logo is at the top, followed by the tagline "Your stuff, anywhere". Below this, there are input fields for "First name", "Last name", "Email", and "Password". A checkbox labeled "I agree to Dropbox Terms" is present. A blue "Sign up" button is at the bottom, with a link for "or Sign in" below it.

3. Dropboxを情報端末側にダウンロードするように促す画面が表示されるのでダウンロードします。
専用のアプリケーションをダウンロードしましたが、今回はDropboxのホームページから操作します。
DropBoxが開くと以下のような画面が表示されるので、左上の「DropBox」リストをクリックします。

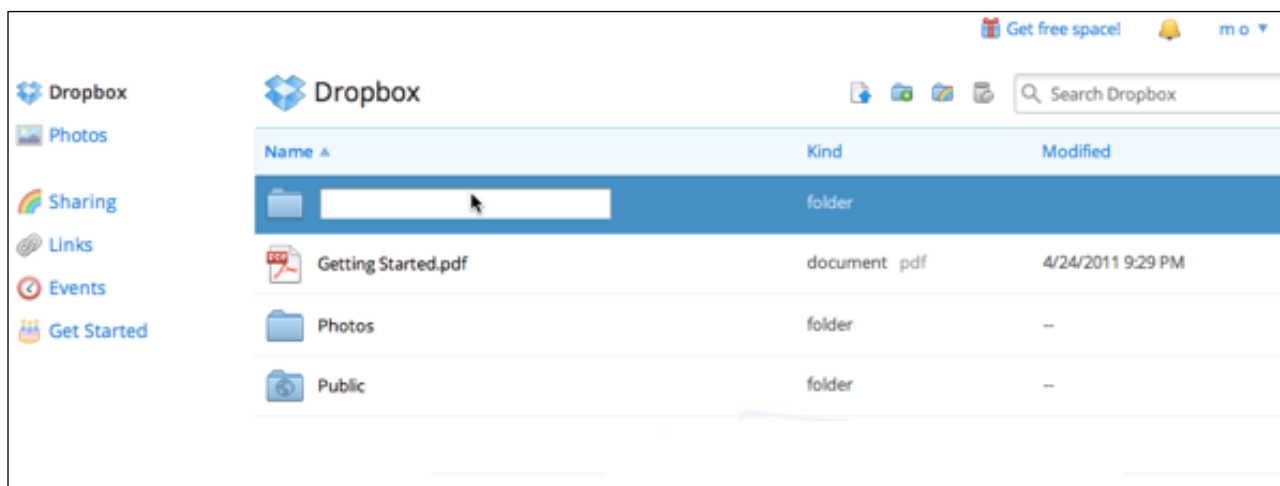


The image shows the Dropbox "Get Started" page. At the top right, there are links for "Get free space!", a notification bell, and a user profile icon. On the left, a navigation menu includes "Dropbox", "Photos", "Sharing", "Links", "Events", and "Get Started". The main content area features a "Get Started" header with a birthday cake icon. Below it, a message says "You're 4 steps away from a 250 MB bonus" and "The seven quests below will teach you how to get the most out of your Dropbox. Finish at least five of them and we'll give you a reward!". A large Dropbox logo is on the right. A list of five steps follows: 1. Take the Dropbox tour, 2. Install Dropbox on your computer, 3. Put files in your Dropbox folder (marked "Complete!"), 4. Install Dropbox on other computers you use, and 5. Share a folder with friends or colleagues. At the bottom left, there are links for "Help", "Privacy", and "More".

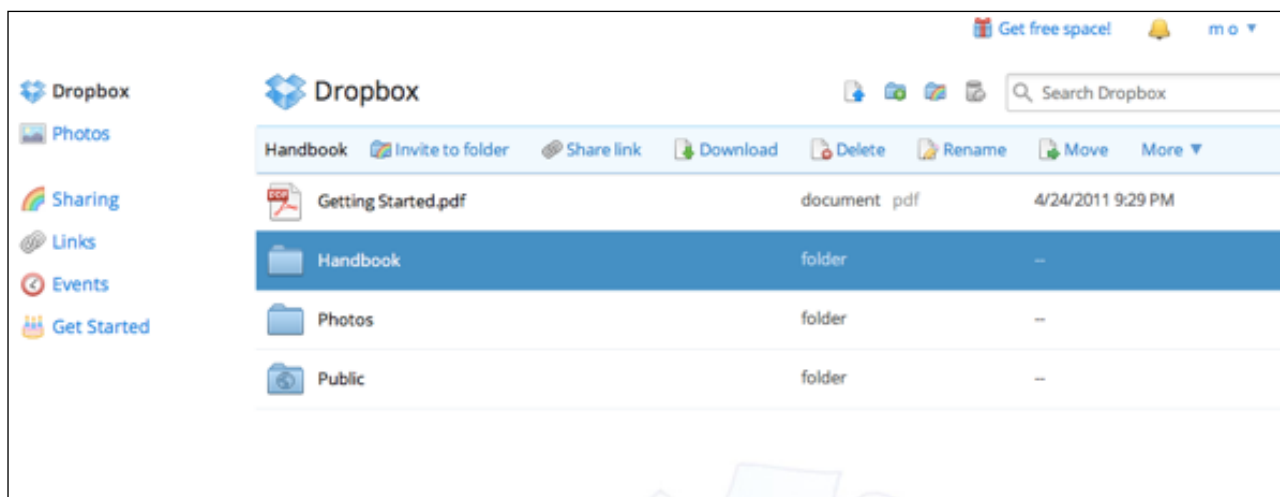
4. この画面でHandbookの情報を作成してゆきます。まず、右上にある「New folder」をクリックして新しいフォルダを作成します。



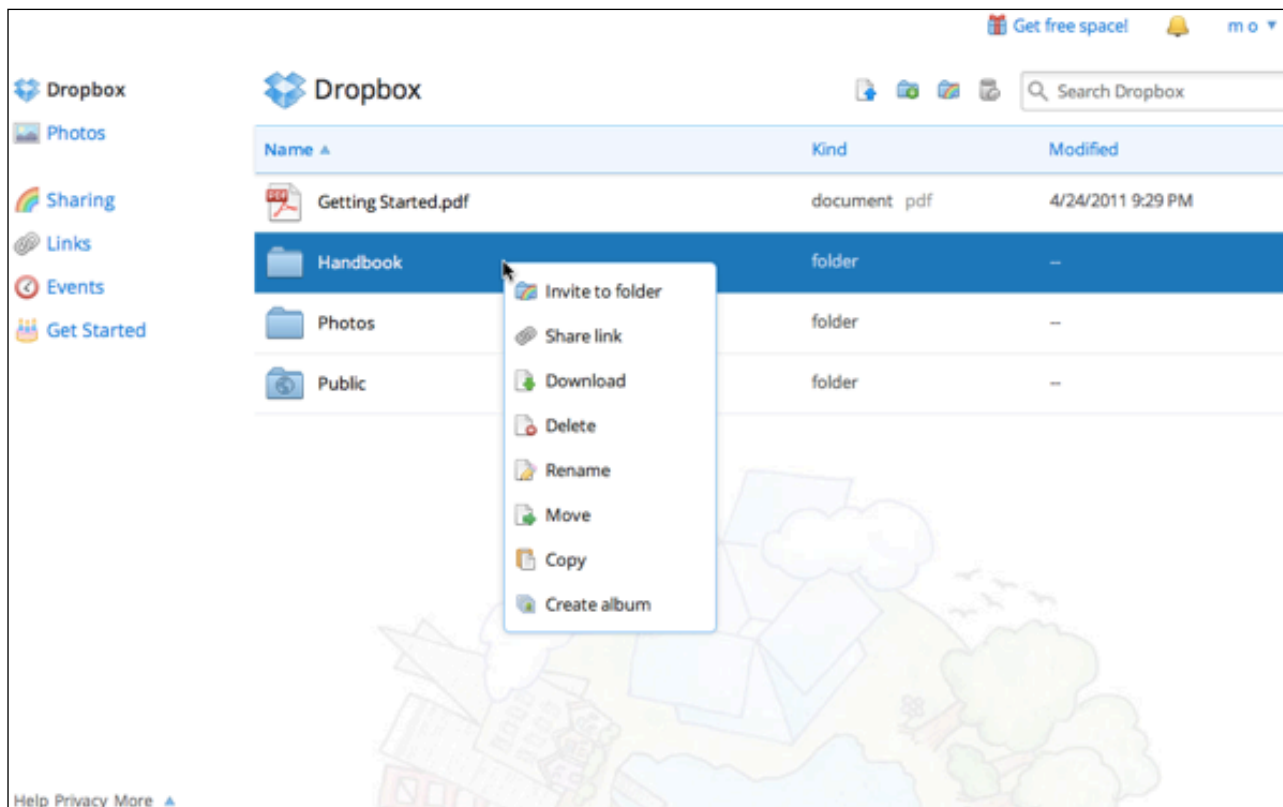
5. 新しくフォルダが作成されるので、「New folder」に「Handbook」と入力します。



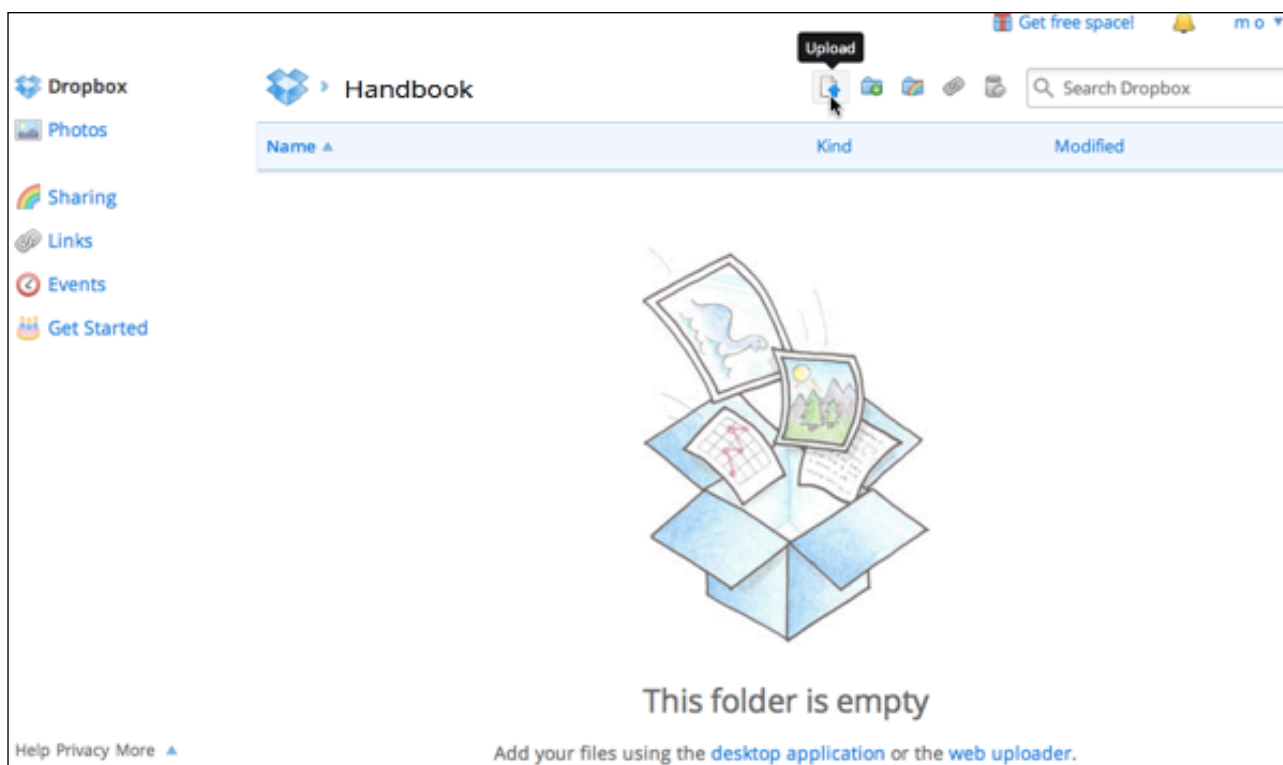
6. 「Handbook」フォルダが作成されました。



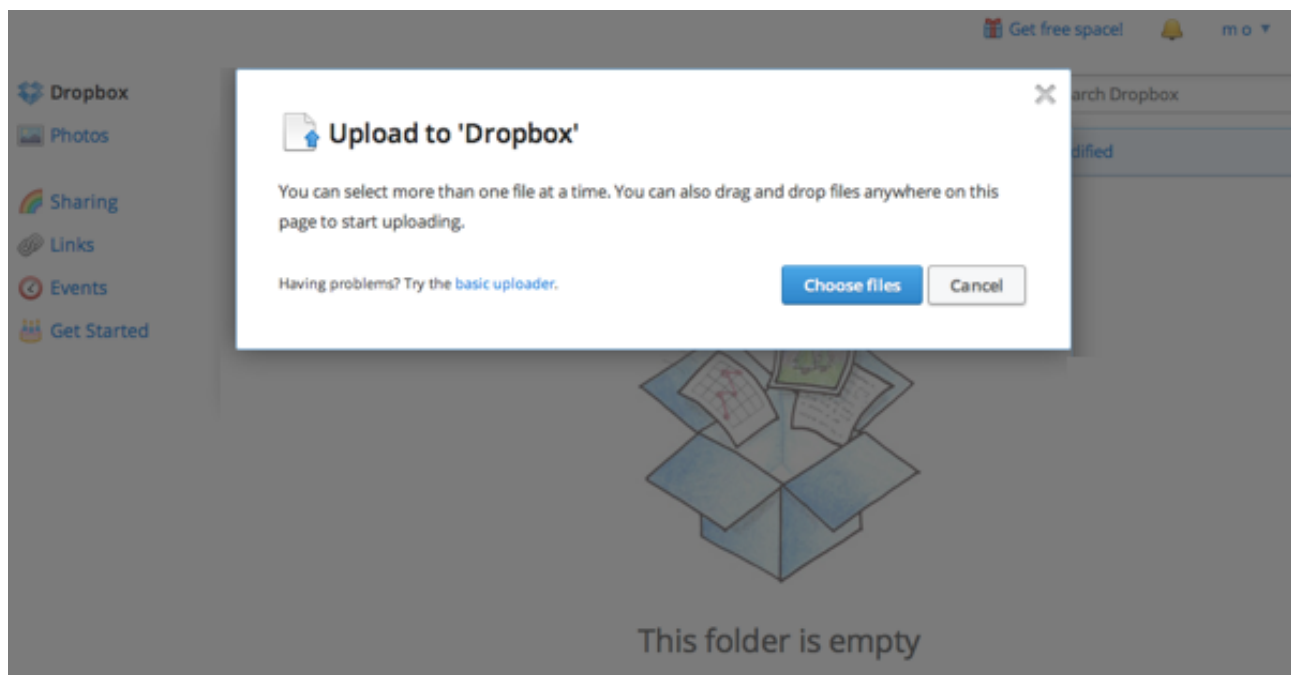
7 このフォルダを選択して右端の矢印マークをクリックすると、Renameやdeleteなどの編集メニューが表示されます。



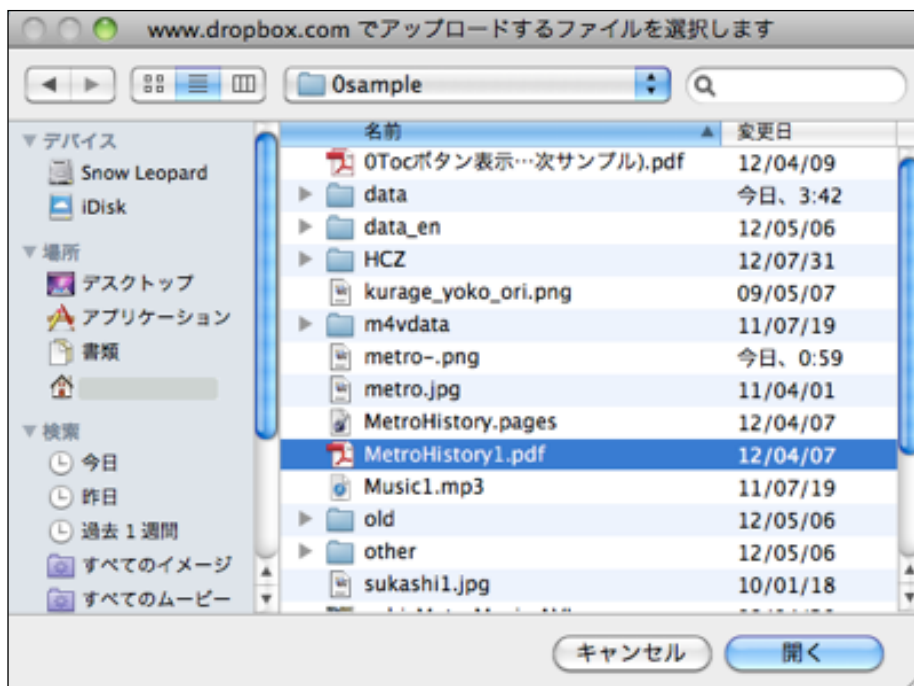
8 「Handbook」フォルダをクリックして開いてみると、中に何も入っていないので、PDFファイルを入れてみます。上部メニューの「Upload」ボタンをクリックします。



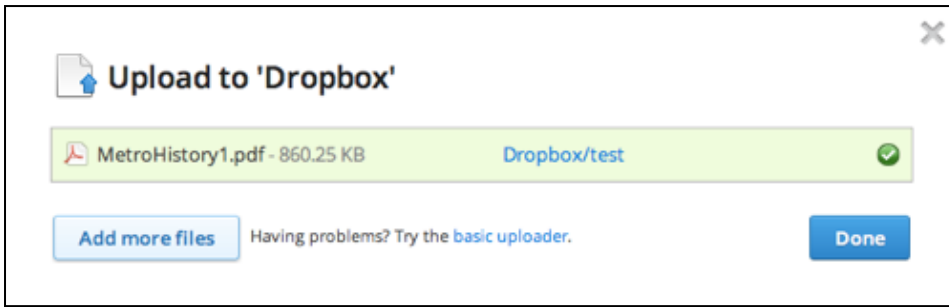
9. アップロード画面で「Choose files(ファイルを選択する)」を選択します。



10. 参照画面が表示されるので、PDFファイルを選択します。

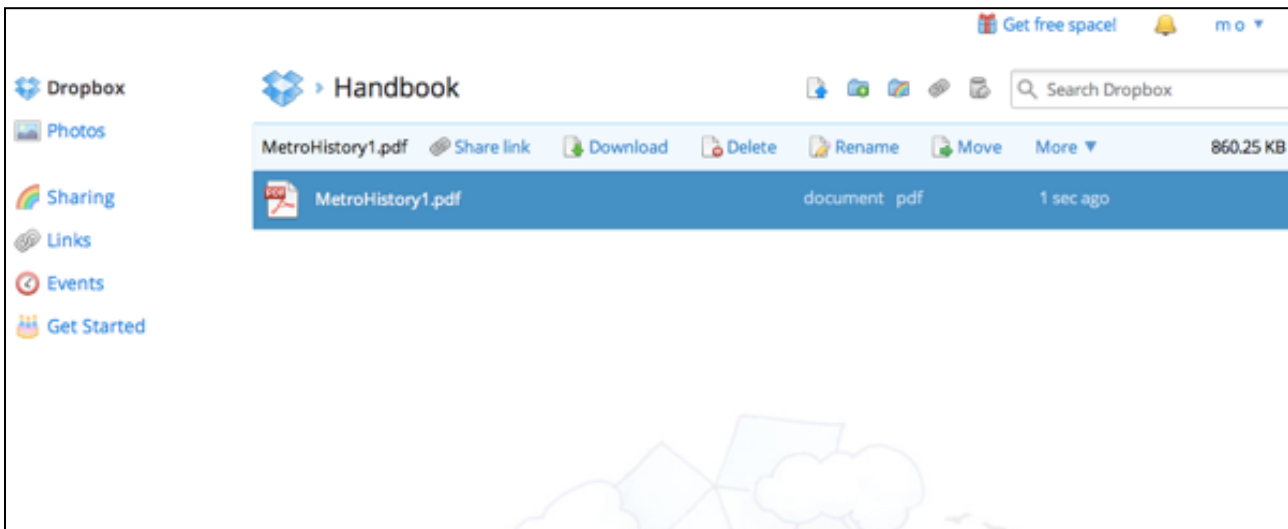


11. 選択したファイルがDropBoxにアップロードされます。



12. PDFファイルがアップロードされました。右上にある自分のアカウント名をクリックすると、ドロップダウンリストで「Sign out」が表示されるのでクリックしていったんDropBoxを終了します。

※ チャプターを入れる場合は、ここに名前を付けたチャプターフォルダを作成してください。



ブック画面からDropboxのデータを読み込んで新しいブックを自動作成する

1. 次に、Handbook Studioにログインして新しいブックを追加し、次のセクション作成画面で「添付ファイル追加」をクリックします。

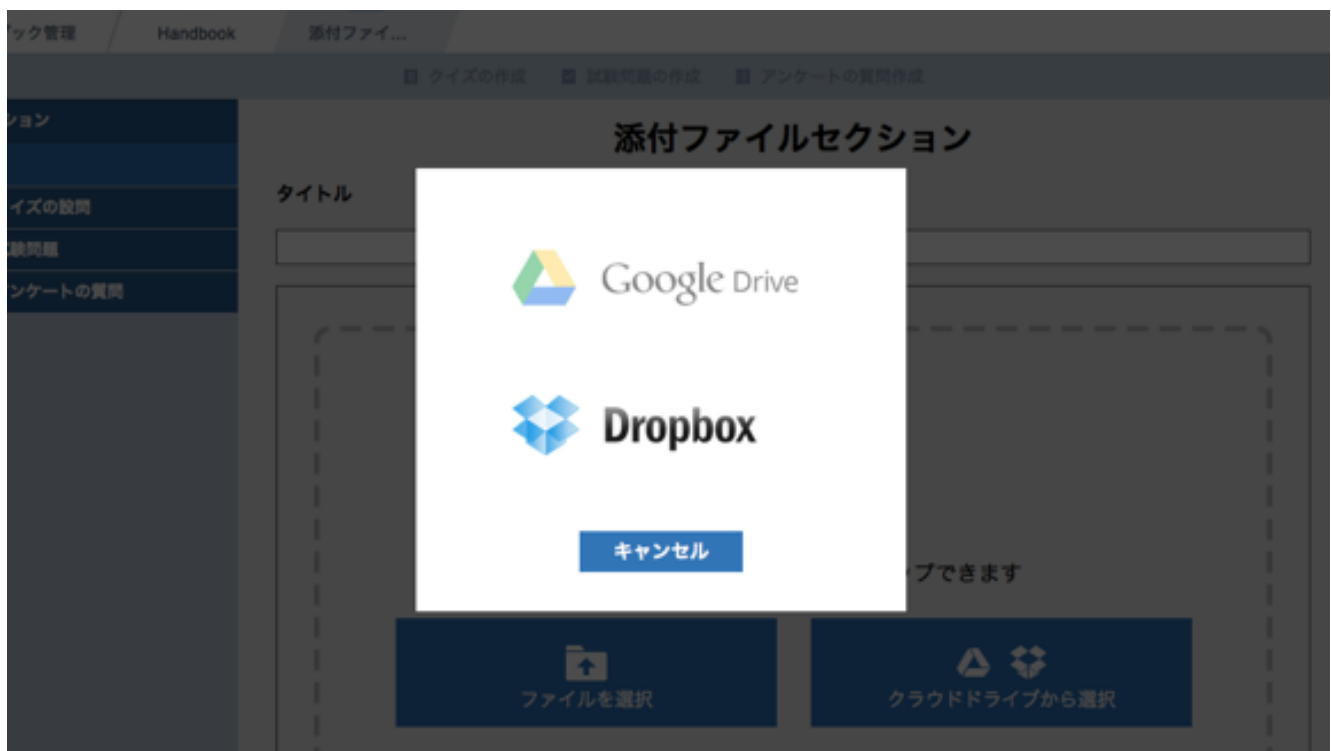


2. 添付ファイルセクションの作成画面が表示されます。ここで、右下にある「クラウドドライブから選択」をクリックします。

※ ご契約プランにより使用できます。メニューが表示されない場合は使用できません。メニューが表示されない場合は、Dropboxで作成したファイルをハードディスクにダウンロードしてから、通常の添付ファイルの添付と同じ方法で、「ファイルを選択」をタップしてHandbookにアップロードしてください。



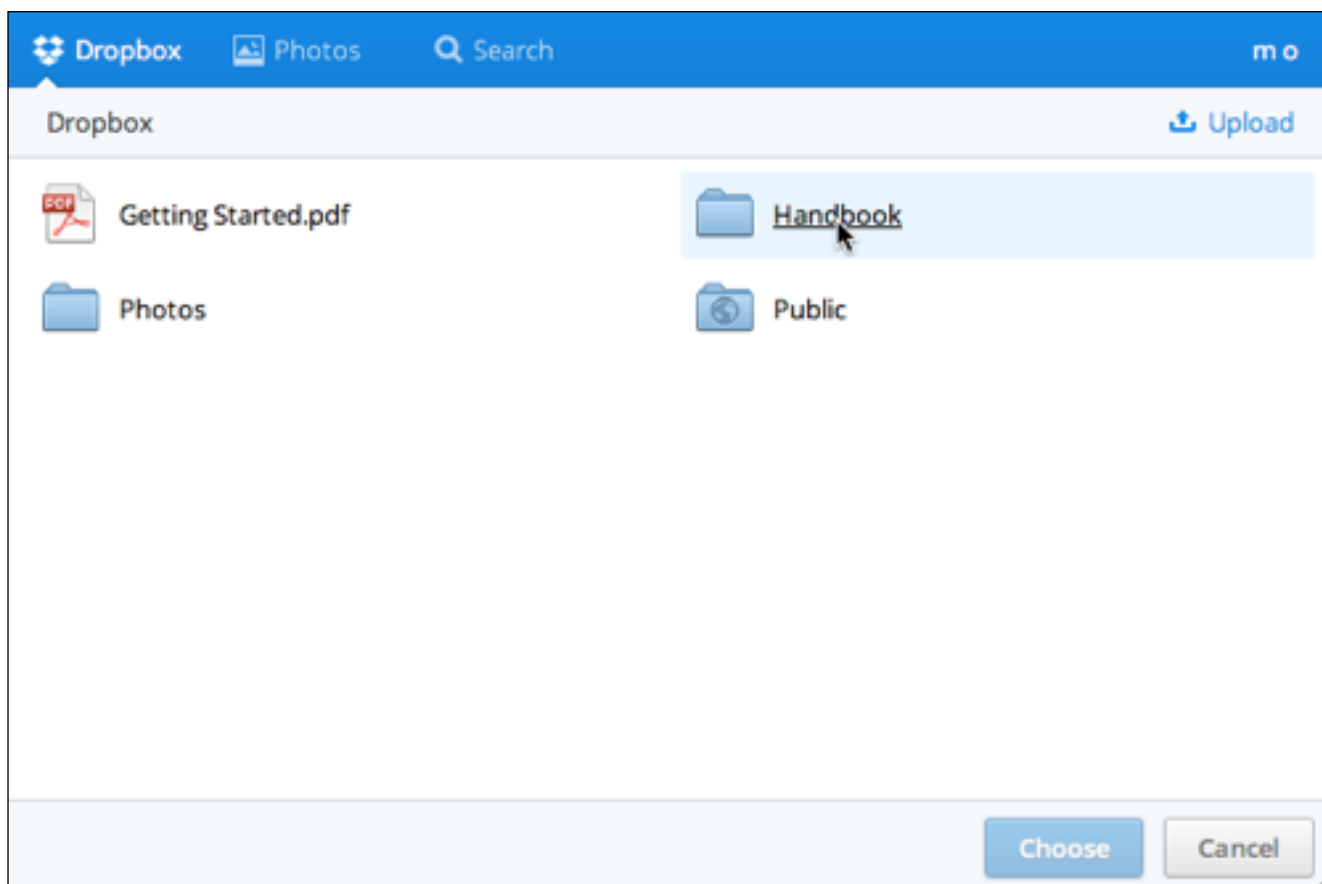
3. 以下のようなクラウドドライブを選択する画面が表示されるので、「DropBox」をクリックします。



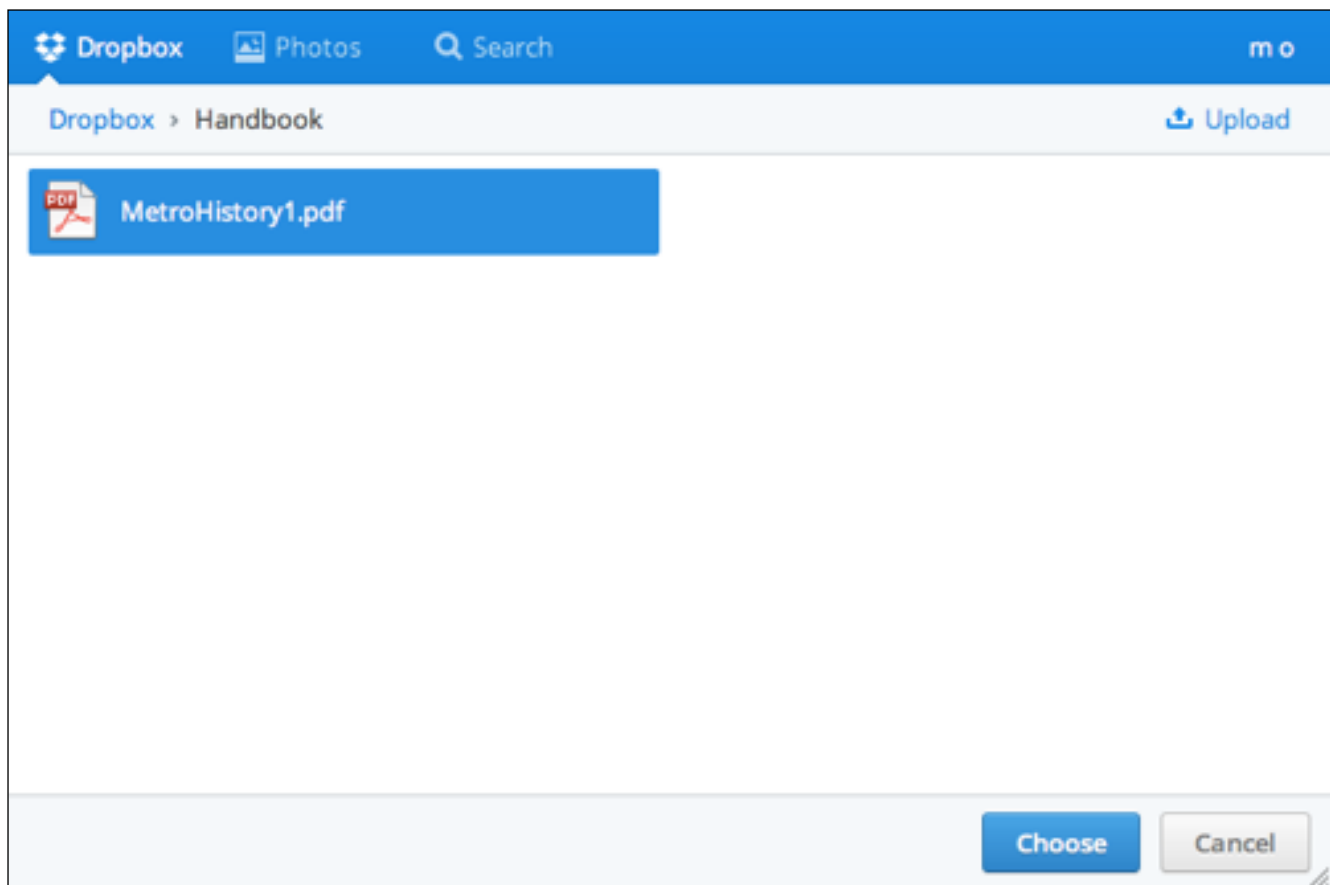
4. DropBoxへのログイン画面が表示されるので、メールアドレスとパスワードを入れてログインします。
※ この画面で「DropBoxに登録」 ボタンをクリックしてDropBoxに登録をすることもできます。



5. DropBoxが開きます。ここで、先ほど作成した「Handbook」フォルダをクリックします。



6. アップロードした添付ファイルが表示されるので、ファイルを選択して「Choose(選択)」をクリックします。



7. DropBoxが閉じ、添付ファイルセクション画面にDropBoxにあった添付ファイルがダウンロードされているので、最後に「保存」をクリックします。



8. 添付ファイルのセクションが作成されました。



9. ブック画面を表示すると、新しいブックが追加されています。以上で、Dropboxの使用手順は終了です。



3.2.4. コンテンツにクイズを作成する

セクションのコンテンツには、「クイズ」や「試験問題」、「アンケート」を挿入することもできます。「試験問題」では、全設問終了後に採点結果(スコア)が表示されるようになっています。最初に、クイズ問題の作成方法を説明します。

1. ブックの中に、「クイズ・試験・アンケート」というチャプタを作成後、「テキスト追加」ボタンをクリックして、クイズなどを入れたセクションを作成します。



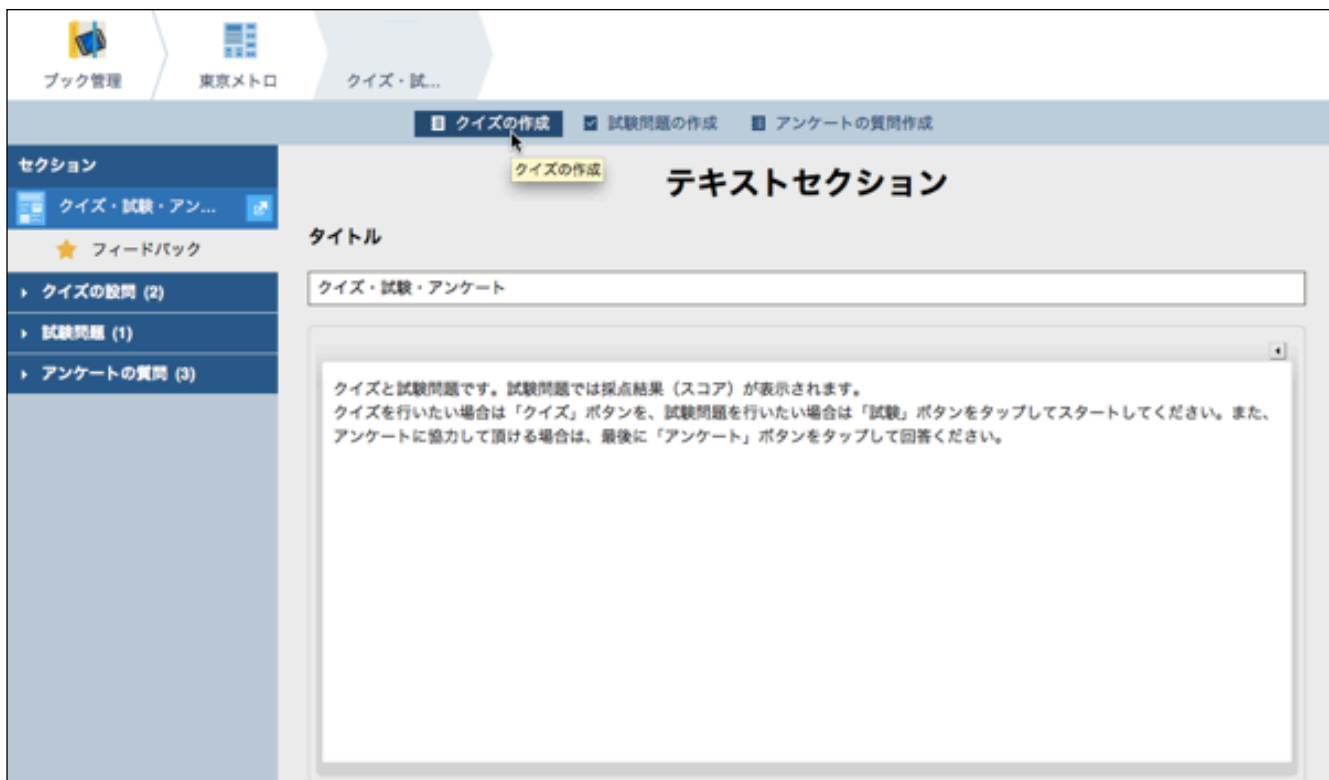
2. テキストセクション設定画面が表示されるので、タイトルと説明を入力し、「保存」をクリックします。



3. 新しいセクションがリストに追加されました。再びセクションをダブルクリックして開きます。



4. 最初にクイズ問題を作成してゆきます。セクション画面の上にある「クイズの作成」をクリックします。









5. クイズの形式が以下に表示されます。設問パターンは並べ替えなど6種類あります。



作成する設問のタイプは6パターン用意されています。

※パターン別の作成方法についてのさらに詳しい内容は、「3.3. 各設問設定の詳細」を参照してください。

各設問タイプの説明（クイズ・試験共通）

 穴埋め	<p>閲覧者(ユーザー)が質問文のブランク部分に回答を入力する形式の質問を作成します。</p> <p>編集者は質問の文章の途中にブランク(空白欄)を設定し、その下にブランク部分に該当する回答を入力します。</p>
 並べ替え	<p>閲覧者が回答を正しい順番に並べ替える形式の質問を作成します。</p> <p>編集者は質問文と、回答となる複数の文章を入力し、回答文の横の欄に順番となる番号を入力します。</p>
 位置選択	<p>閲覧者が画像の正しい位置を指で押して指定する形式の質問を作成します。</p> <p>編集者は質問文と画像を挿入し、その画像上に指で指定するための複数のピンを設定します。</p>
 接続	<p>質問文章と正解をつなぐ形式の質問を作成します。</p>
 画像選択	<p>閲覧者が画像を選択して回答する形式の質問を作成します。編集者は質問文と画像を挿入し、正解の画像にのみチェックを入れて設定します。</p>
 選択	<p>閲覧者が複数の文章の中から、正しい文章にのみチェックを入れる形式の質問設定です(複数可)。編集者は質問文と、閲覧者が選択するための複数の文章を入力し、正解の文章にのみチェックを入れて設定します。正解を複数もたせることもできます。</p>

6. ここでは、「穴埋め問題」形式を選択します。



7. 穴埋め問題の作成画面が表示されます。穴埋め問題では、文中に回答を入力する空欄を挿入します。空欄を挿入する部分で回答設定にある「空欄1」をドラッグ&ドロップすると、設問文の途中に空欄が挿入されます。



8. 右上の「ヒントを表示」をクリックすると、ヒントを作成する画面が表示され、閲覧者側の情報端末で設問にヒントのボタンが表示されるようになります。

ブック管理 東京メトロ クイズ・試...

クイズの作成 試験問題の作成 アンケートの質問作成

セクション

クイズ・試験・アン...

★ フィードバック

クイズの設問 (2)

試験問題 (1)

アンケートの質問 (3)

[...] 穴埋め問題

設問文章にこの 穴埋め種 ボックスをドラッグすると穴埋め問題を作成できます

ヒントを表示

設問文章

築地場外市場に一番近い駅は、築地駅の

ヒント

回答設定

設問文章エリアに穴埋め種をドラッグしてください

保存 キャンセル

設定画面の各項目の内容は、以下のようになります。

設問内容

設問の文章を入力します。上部のツールを利用して文字に大きくして色をつけたりなど、リッチテキストで画面を作成することができます。

ヒント

設問のヒントを入力します。ヒントを入力すると、情報端末側ではクイズ画面の左下に「ヘルプ」ボタンが表示され、クリックしてヒントを見ることができるようになります。設問内容と同じく、リッチテキストで画面を作成することができます。

回答設定

回答を入力します。ユーザーが空欄に入力したり、チェックしたりする回答を入力します。

9. 文章を入力して挿入したい箇所です「穴埋め問題」ボックスを上からドラッグします。



The screenshot shows a web interface for creating quizzes. On the left is a sidebar with a 'セクション' (Section) menu containing 'クイズ・試験・アン...' (Quiz/Exam/Ans...), 'フィードバック' (Feedback), 'クイズの設問 (0)' (Quiz Questions (0)), '試験問題 (0)' (Exam Questions (0)), and 'アンケートの質問 (0)' (Survey Questions (0)). The main area is titled '[-] 穴埋め問題' ([-] Fill-in Question). Below the title, there is a text area for '設問文章' (Question Text) and a 'ヒントを隠す' (Hide Hint) button. A dashed box labeled '穴埋め問題' is being dragged from a toolbar into the text area. The text in the area reads '薬地場外市場に一番近い出口は、薬地駅の 穴埋め問題'.

10. 穴埋め問題のボックスを挿入したクイズの文章ができました。



This screenshot shows the same interface as above, but the '穴埋め問題' box is now inserted into the text area. The text reads '薬地場外市場に一番近い出口は、薬地駅の 空欄 1 番出口です。' (The closest exit to the Yamedajima outdoor market is the Yamedajima station's blank 1 exit).

11. 次に、ヒントのための文章をヒント欄に入力し、回答の設定を行います。穴埋めボックスを文章に挿入すると、自動的に下の方に「回答設定」欄が追加されるので、空欄に入れる正しい回答を幾つか入力します。

The screenshot shows a web interface for creating a quiz. At the top, there are navigation tabs: 'ブック管理', '東京メトロ', and 'クイズ・試...'. Below this is a toolbar with buttons for 'クイズの作成', '試験問題の作成', 'アンケートの質問作成', '試験へコピー', 'コピー', and 'X 削除'. On the left, a sidebar contains 'セクション' with 'クイズ・試験・アン...' and 'フィードバック', and 'クイズの設問 (1)' with '基地場外市場に一番近い出口', '試験問題 (0)', and 'アンケートの質問 (0)'. The main area is titled 'ヒント' and contains a text box with the text '一番分かりやすい番号です。'. Below this is the '回答設定' section, which includes a label '空欄 1' and four input fields. The first field contains the number '1', and the second field contains a hyphen '-'. At the bottom of the '回答設定' section are two buttons: '保存' and 'キャンセル'.

12. 最後に「保存」をクリックして、クイズの作成画面を終了します。以上でクイズの作成方法は終了です。

This screenshot is identical to the previous one, showing the same quiz creation interface. The only difference is that a mouse cursor is now pointing at the '保存' button, indicating that it has been clicked to save the quiz.

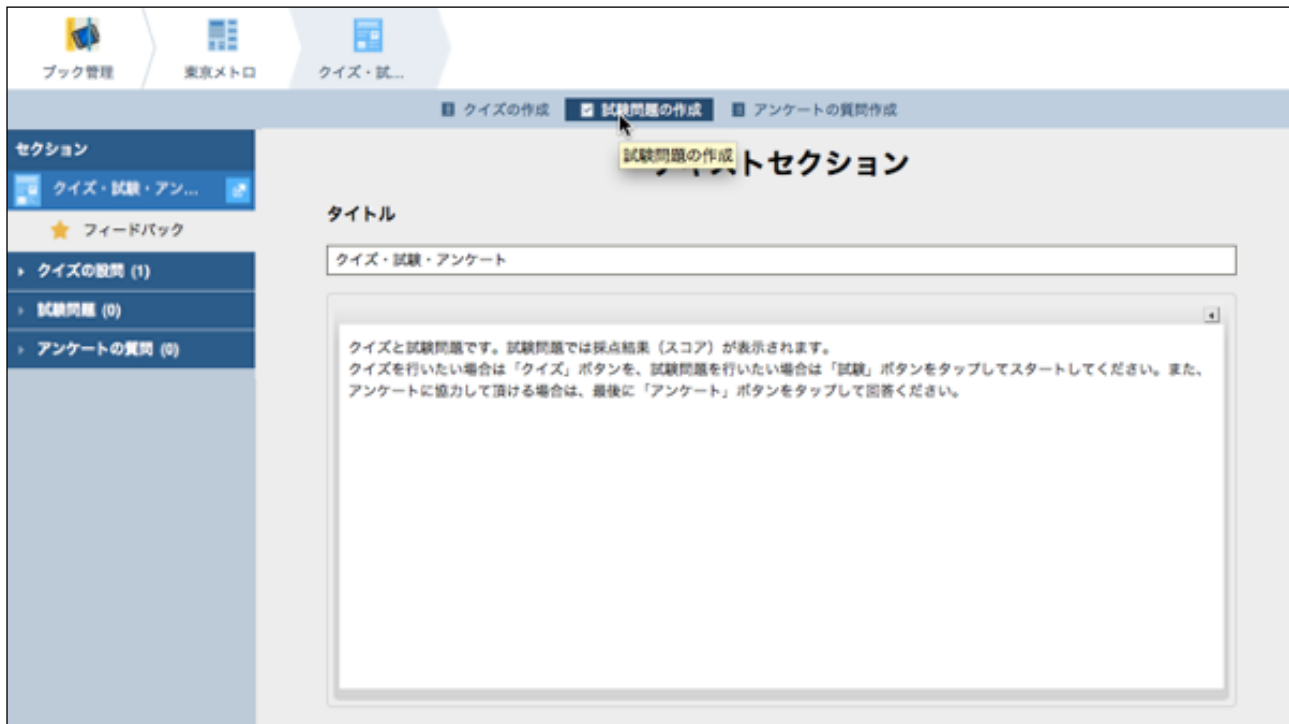
ユーザー側の情報端末画面では、表示されている「クイズ」ボタンをクリックすることで、クイズを開始することができるようになっています。「クイズ」で設問を設定した場合は、ユーザーは各設問ごとに回答が正解したかどうかの確認をすることができ、また、ユーザーが自分へ回答結果などの情報をメール送信して確認することもできます。

3.2.5. コンテンツに試験問題を作成する

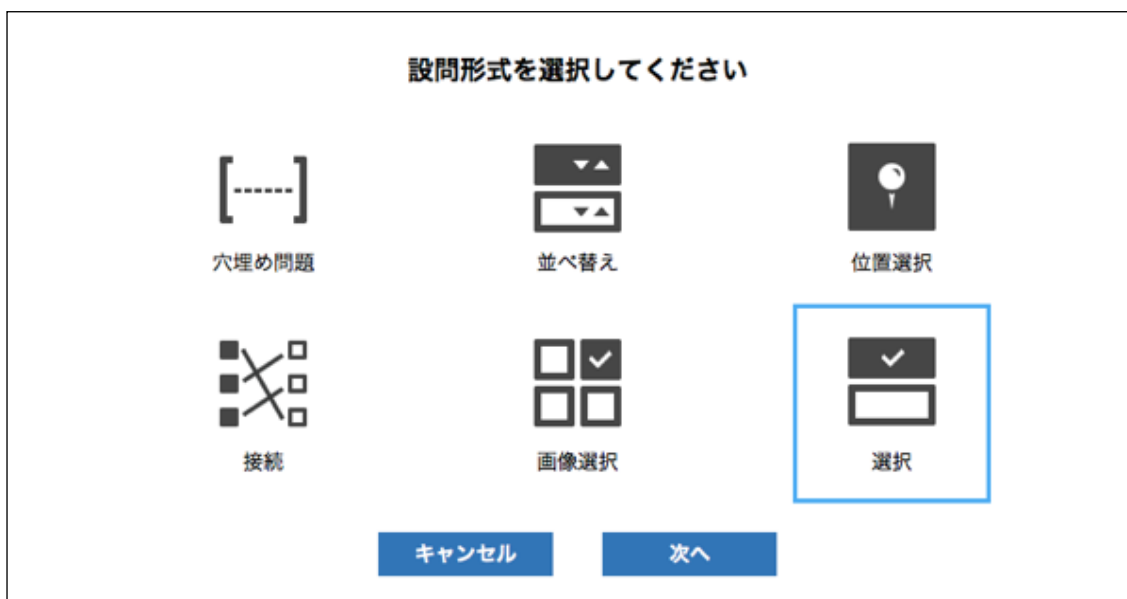
続いて、クイズと同じセクション内に「試験」形式の設問も作成して、採点機能（スコア）付きの試験問題も挿入してみます。試験問題の作成方法は以下のようになります。

※ クイズと試験問題を別のセクションで作成したい場合は、別のセクションに試験問題のみを作成します。

1. セクション画面の上にある「試験問題の作成」をクリックします。



2. クイズの形式が以下に表示されます。設問パターンは6種類あります。ここでは、6番目の「選択」形式の設問（正しい回答をチェック選択する質問）を作成してみます。



作成する設問のタイプは6パターン用意されています。

※パターン別の作成方法についての詳しい内容は、「3.3. 各設問設定の詳細」を参照してください。

3. 選択問題の作成画面が表示されます。

設定画面の各項目の内容は、以下のようになります。

スコア

正解した場合に加算される点数を入力します。 ※「試験」バージョンのみ

設問内容

設問の文章を入力します。上部のツールを利用して文字に大きくして色をつけたりなど、リッチテキストで画面を作成することができます。

ヒント

ヒントを入力します。設問内容と同じく、リッチテキストで画面を作成することができます。

回答設定

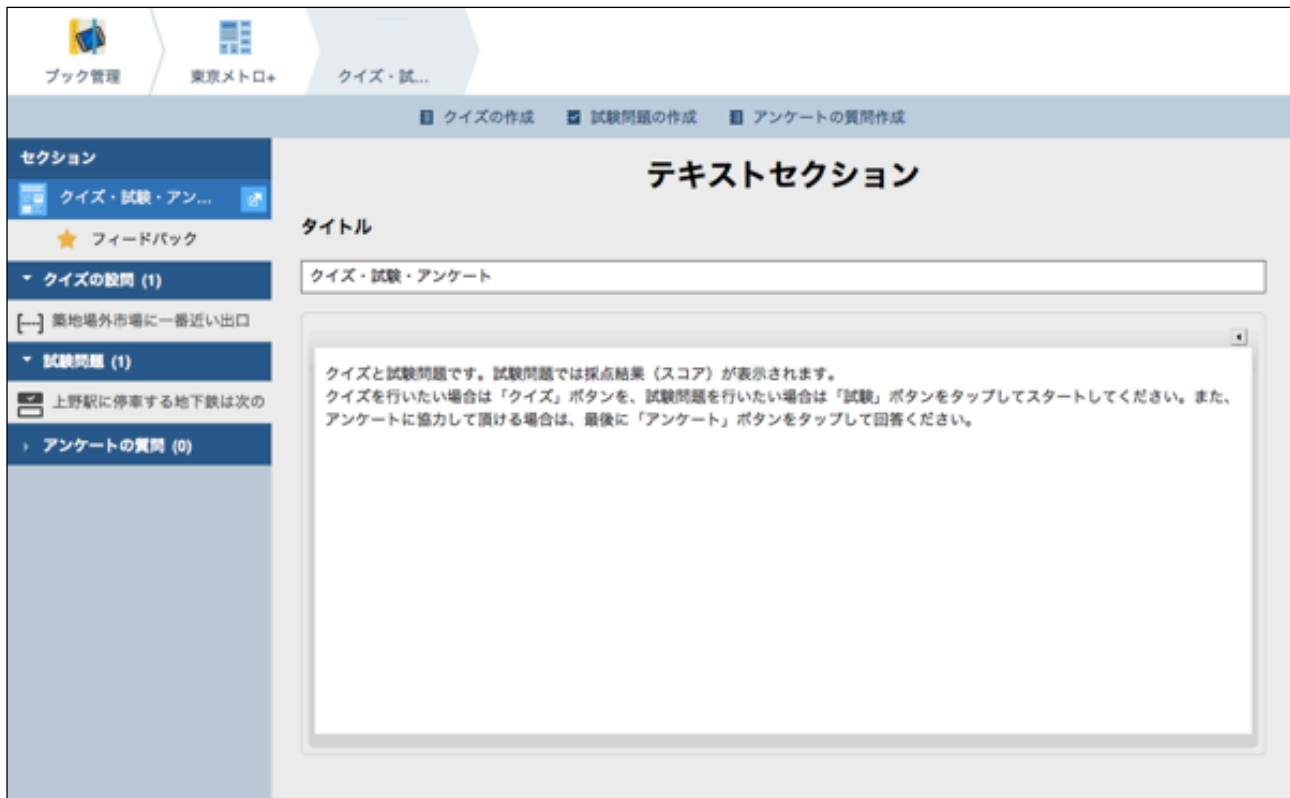
回答を入力します。ユーザーが空欄に入力したり、チェックしたりする回答を入力します。

作成する設問のタイプは6パターン用意されています。スコア以外はクイズの設問と同じ内容となります。 ※パターン別の作成方法についてのさらに詳しい内容は、「3.3. 各設問設定の詳細」を参照してください。

4. 選択問題では、回答欄に選択項目を幾つか入力し、正しい回答は右のチェックマークをクリックしてチェックします(複数可)。設問内容の入力が終了したら、最後に「保存」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web interface for creating a quiz. At the top, there are navigation tabs: 'ブック管理' (Book Management), '東京メトロ' (Tokyo Metro), and 'クイズ・試...' (Quiz/Exam...). Below these are sub-tabs: 'クイズの作成' (Create Quiz), '試験問題の作成' (Create Exam Question), and 'アンケートの質問作成' (Create Survey Question). A left sidebar contains a 'セクション' (Section) menu with 'クイズ・試験・アン...' (Quiz/Exam/Ans...), 'フィードバック' (Feedback), 'クイズの設問 (1)' (1 Quiz Question), '試験問題 (0)' (0 Exam Questions), and 'アンケートの質問 (0)' (0 Survey Questions). The main area is titled '選択' (Multiple Choice) and includes a 'スコア' (Score) field set to '10' and a 'ヒントを隠す' (Hide Hint) button. The '設問文章' (Question Text) field contains: '上野駅に停車する地下鉄は次のうちどれですか？正しいものをタップしてください(複数)।' (Which subway line stops at Ueno Station? Tap the correct one(s)). The 'ヒント' (Hint) field contains: '黄色と灰色の帯の電車です。' (It is a train with yellow and grey stripes). The '回答設定' (Answer Settings) section has four rows: '答え 1' (Answer 1) with '銀座線' (Ginza Line) and a checked checkbox; '答え 2' (Answer 2) with '日比谷線' (Nishi-Shinjuku Line) and a checked checkbox; '答え 3' (Answer 3) with '南北線' (Nambu Line) and a checked checkbox; and '答え 4' (Answer 4) with an empty field and a checked checkbox. A '+追加 答え5' (+Add Answer 5) button is at the bottom of the answer list. At the very bottom are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

5. 保存すると、左側のリストに新しい試験問題が追加されます。以上で試験問題の作成方法は終了です。



ユーザーの情報端末画面では、表示されている「試験」ボタンをクリックして試験を開始することができるようになります。「試験」で設問を設定した場合には、ユーザー側では全設問終了後に採点結果が表示されるようになっています。また、ユーザーが自分へ採点などの情報をメール送信して確認することもできます。

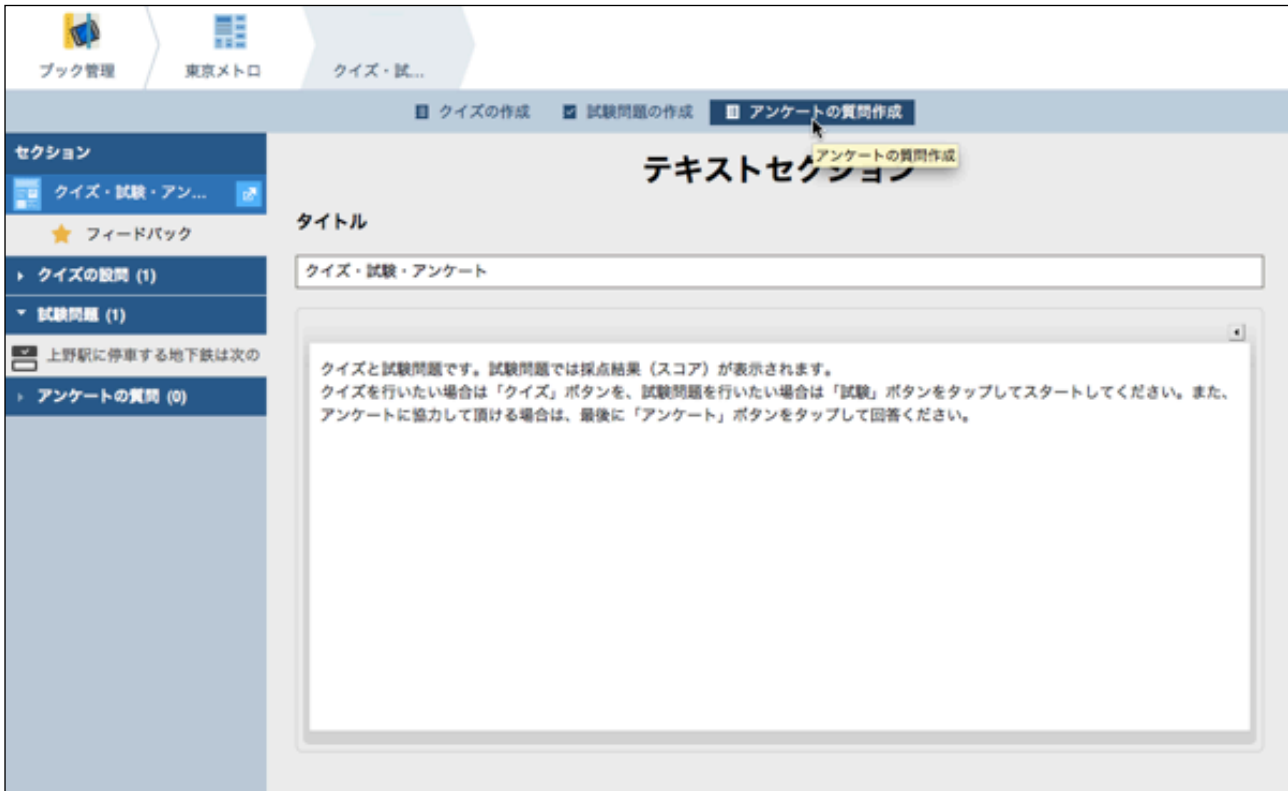
3.2.6. コンテンツにアンケートを作成する

次にクイズや試験問題を作成したセクションにアンケートを作成してみます。アンケートを作成しておくことで、ユーザーがクイズや試験問題を終了した後に、アンケートボタンを押してアンケートに回答することができるようになります。

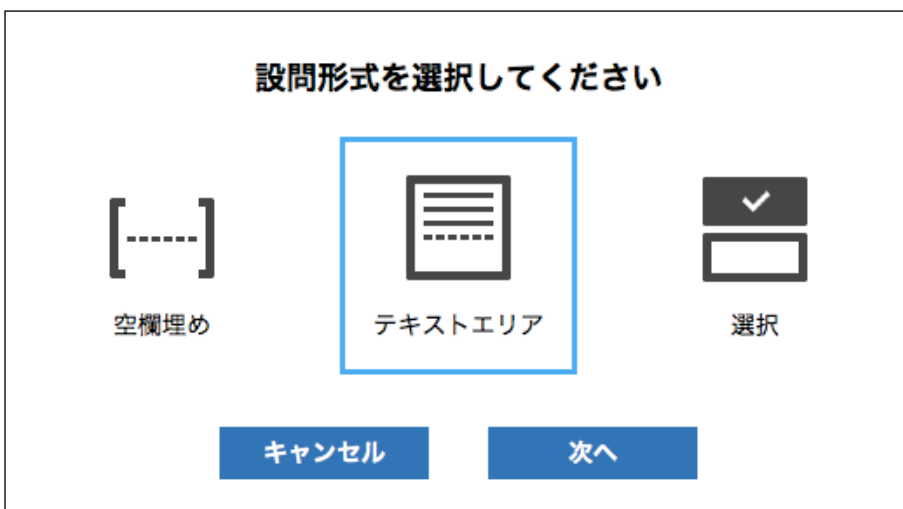
※ アンケートのタイプ別設問の作り方については、「3.4. 各アンケート設定の詳細」を参照してください。

※ アンケートのみのセクションを作成したい場合は、セクションの作成画面にて「アンケートの追加」をクリックしてアンケートを作成してください。




- 最後にアンケートを作成してゆきます。セクション画面の上にある「アンケートの質問作成」をクリックします。



- 以下のようなアンケート作成画面が表示されます。アンケートの作成形式は3種類です。ここでは、「テキストエリア」形式(入力欄に複数行を入力できる)を選択します。

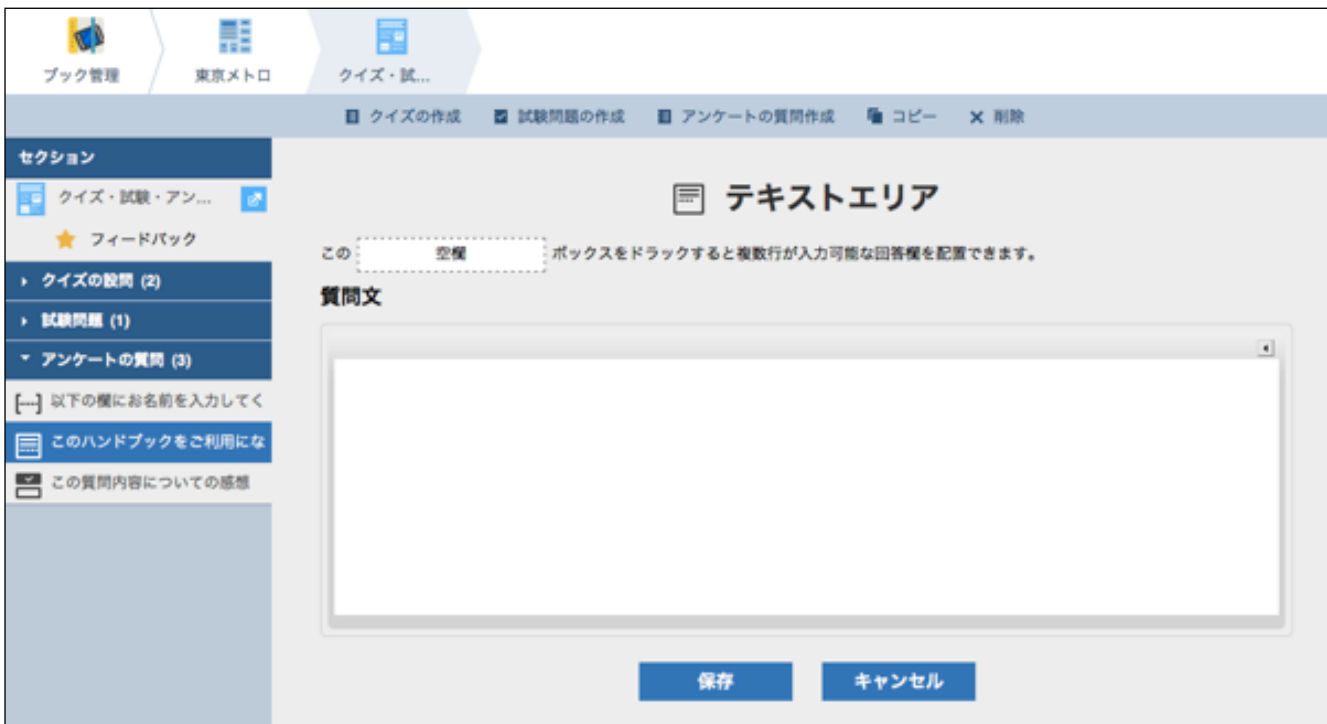


アンケートの各設問タイプの説明

 <p>空欄埋め</p>	<p>「空欄埋め」アンケートです。閲覧者(ユーザー)は、空欄に一行の文章を入力することができます。編集者はアンケートの文章の途中や末尾などにブランク(空白欄)を設定します。</p>
 <p>テキストエリア</p>	<p>「テキストエリア」アンケートです。閲覧者は、入力欄に複数行の入力を行うことができます。編集者はアンケート文章の下に入力欄を設定します。</p>
 <p>選択</p>	<p>項目を選択するアンケートです。閲覧者がアンケートに対する答えを複数選択することができます。編集者はアンケート文章の下に、閲覧者が選択するための項目を入力します。</p>

3. 「テキストエリア」アンケートの作成画面が表示されます。画面の上にある「穴埋め欄」ボックスを説明文章欄にドラッグして作成します。

※ この項目の空欄入力は必須ですので（空欄に入力しないと次に進めません）、ユーザーが入力したくない場合はハイフンなどを入力するように促す文章を入れる必要があります。



4. 入力終了したら最後に「保存」をクリックします。以上でアンケートの作成方法は終了です。

ブック管理 東京メトロ クイズ・試...

クイズの作成 試験問題の作成 アンケートの質問作成 コピー 削除

セクション

クイズ・試験・アン...

フィードバック

クイズの設定 (2)

試験問題 (1)

アンケートの質問 (3)

以下の欄にお名前を入力してく

このハンドブックをご利用にな

この質問内容についての感想

テキストエリア

この [空欄] ボックスをドラックすると複数行が入力可能な回答欄を配置できます。

質問文

このハンドブックをご利用になられた感想などを記入して下さい（入力をご遠慮される場合はハイフンを入力してください）。

[空欄]

保存 キャンセル

5. 以上で1つのセクションに「クイズ」、「試験問題」、「アンケート」が作成されました。

ブック管理 東京メトロ+ クイズ・試...

クイズの作成 試験問題の作成 アンケートの質問作成

セクション

クイズ・試験・アン...

フィードバック

クイズの設定 (1)

試験問題 (1)

上野駅に停車する地下鉄は次の

アンケートの質問 (1)

このハンドブックをご利用にな

テキストセクション

タイトル

クイズ・試験・アンケート

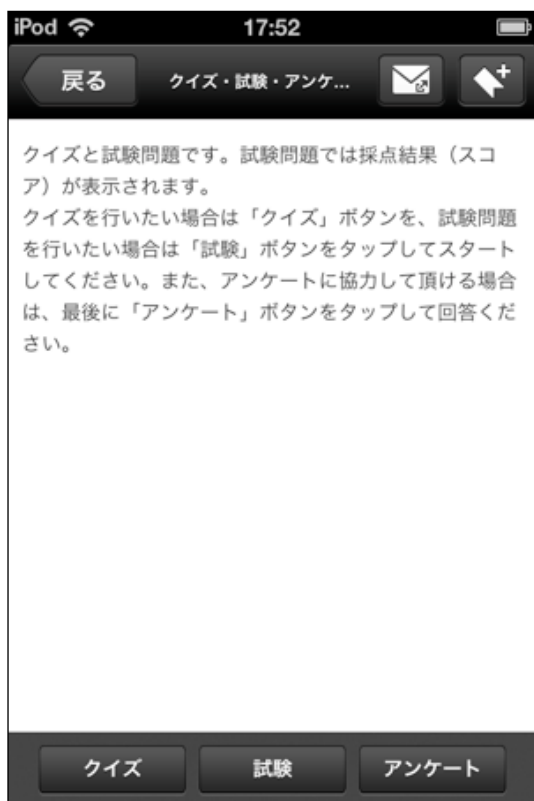
質問文

クイズと試験問題です。試験問題では採点結果（スコア）が表示されます。
クイズを行いたい場合は「クイズ」ボタンを、試験問題を行いたい場合は「試験」ボタンをタップしてスタートしてください。また、アンケートに協力して頂ける場合は、最後に「アンケート」ボタンをタップして回答ください。

保存 キャンセル

ユーザーの情報端末画面ではセクションを開いた最初の画面にアンケートボタンが表示されます。設問終了後に最初の画面に戻るので、ユーザーはアンケートボタンを押してアンケートに答えることができますようになります。

【スマートフォンの画面】



【タブレットの画面】



3.2.7. HTMLコンテンツ表示機能

HTMLコンテンツ表示機能とは、Handbook Studio内のセクション編集機能を使わずに、外部のHTMLエディタやテキストエディタなどで作成したHTMLファイル、CSS、JavaScriptを、Handbookアプリ内でそのまま表示する機能のことをいいます。

編集者は、自らが独自に作成した、HTMLファイル、CSS、JavaScriptを含んだ「**HTMLコンテンツ(HCZ)ファイル**」を、Handbook StudioとHandbookアプリによって一切改変することなく、そのままiOS、Android OS、各デバイスのHTMLコンテンツ表示機構を利用して表示することができます。

HTMLコンテンツ表示機能を持つHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルは、従来の画像など各種メディアファイルを直接表示する機能の亜種として機能するため、1つのHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルは1つのセクションとして機能します。

1. HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルの構造

HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルはzip形式でアーカイブとして圧縮されたファイルで、拡張子が「**.hcz**」となります。HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルは、HTMLファイルをはじめ、コンテンツを構成する、CSS、JavaScript、画像ファイルなど、各デバイス(情報端末)のHTMLコンテンツ表示機構がサポートするファイルを含めることができます。

Handbookアプリは、HTMLコンテンツ(HCZ)ファイル内のルートディレクトリにある「index.html」を最初に表示します。HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルはディレクトリを含むこともできるため、以下の構成は全て正しいHCZとして機能します。

```
test1.hcz
/  
index.html
```

```
test2.hcz
/  
index.html  
default.png
```

```
test3.hcz
/  
index.html  
default.png  
stylesheet.css
```

```
test4.hcz
/  
index.html  
default.png  
stylesheet.css  
page1/  
page1.html  
page1.jpeg  
page2/  
page2.html  
page2.jpeg
```

2. HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルのサムネイル(グラフィック画像)表示

閲覧者がHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを、iPadなどのタブレットで開いた場合の、HTMLコンテンツ(HCZ)のサムネイル表示(セクションのグラフィック画像)について説明します。

編集者が作成したHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルのルートディレクトリに、「default.png」という名前の画像ファイルがあり、そのHTMLコンテンツ(HCZ)ファイル形式のHandbookを、閲覧者(Handbookユーザ)がタブレットにダウンロードした場合、Handbookアプリは「default.png」をそのセクションのサムネイル(閲覧者のタブレットに表示されるグラフィック画像表示)としてセクション表示画面に表示します。「default.png」がない場合には、標準の画像を表示します。

閲覧者がHTMLコンテンツ(HCZ)ファイル形式のHandbookを、iPadなどのタブレット上でダウンロードした場合は、セクションの表示画面に「default.png」の画像が表示されるようになります。

【例: default.png】

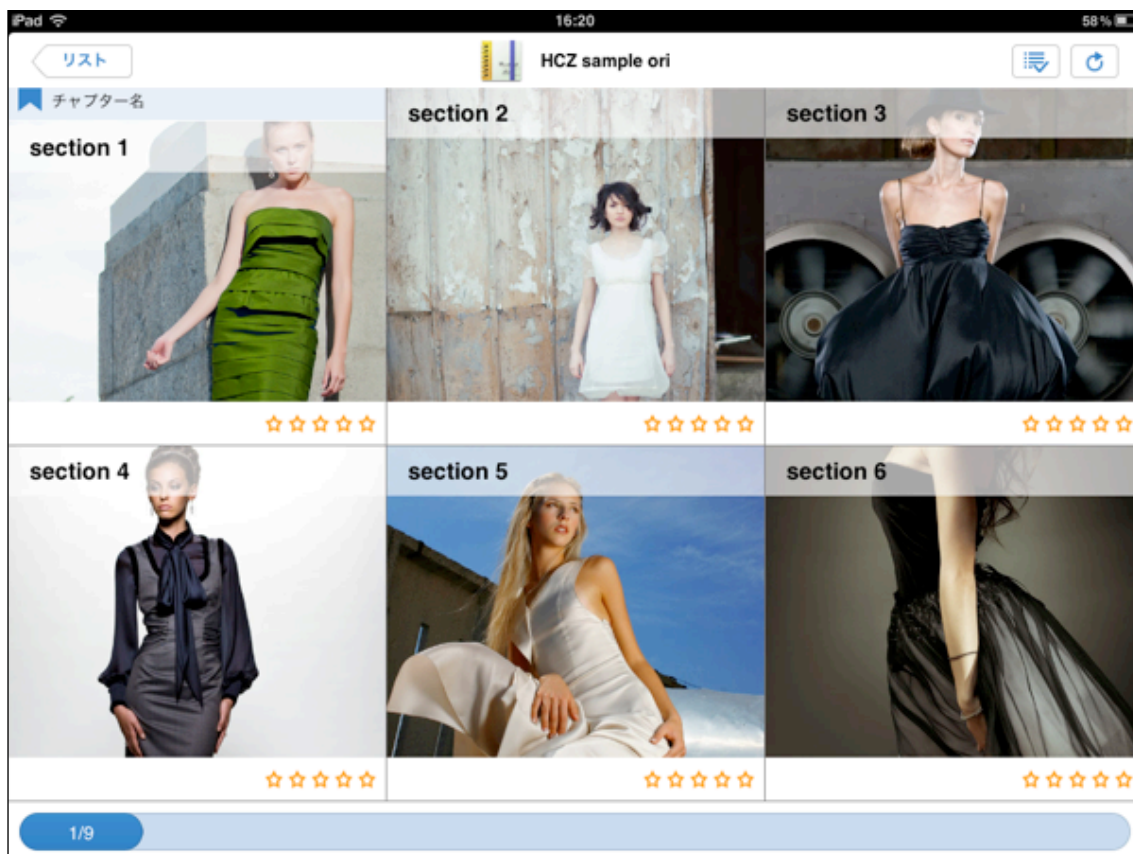


閲覧者がHTMLコンテンツ(HCZ)ファイル形式のHandbookを、タブレット上でダウンロードしていない場合は、セクションの表示画面に「標準の画像」が表示されます。

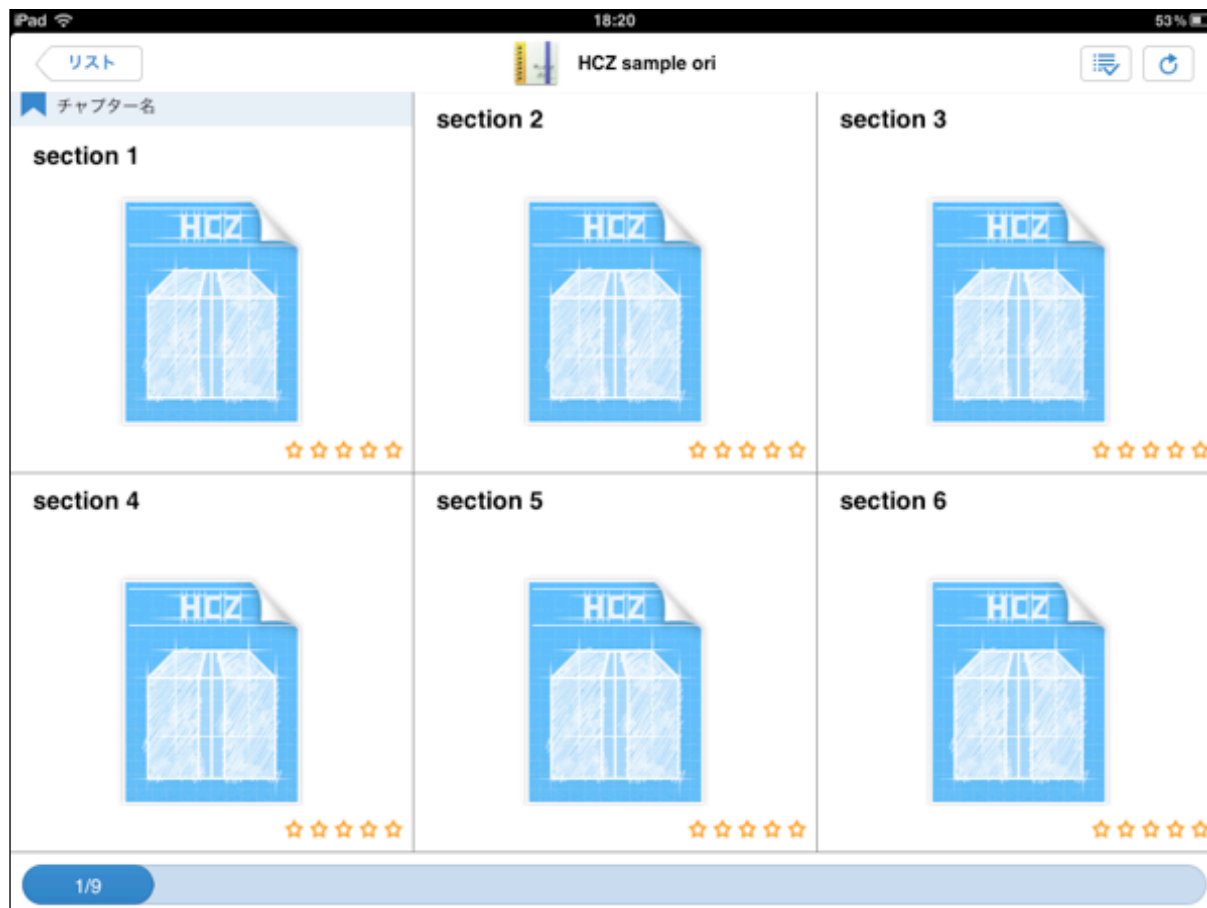
【標準の画像】



【例: 閲覧者がタブレットでHCZ形式のHandbookをダウンロードした後に開いた場合のセクション表示画面】



【例: 閲覧者がタブレットでHCZ形式のHandbookをダウンロードしていない場合のセクション表示画面】



3. デバイス方向別のコンテンツ

HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルのルートディレクトリ下に、Landscapeディレクトリ、Portraitディレクトリがある場合、タブレットの方向に応じて表示するコンテンツを切り替えることができます。

```
test5.hcz
/  
default.png  
Landscape/  
  index.html  
  stylesheet.css  
  image1.jpeg  
Portrait/  
  index.html  
  stylesheet.css  
  image2.jpeg
```

【例: タブレットのLandscape(横向き)のセクションコンテンツ画面】

Folded One Piece (Red)



Price: ¥3,700
Item ID: OP1331
Stock: Request

Size: Regular
Material: Polyester
Dress Length: Above Knee, Mini
Occasion: Cocktail, Evening

If you are not 100% satisfied please contact us before you leave the feedback and that is not the correct way to solve problem, you could send it back to us for refund or exchange but the wig MUST be unused. Please be reminded that you would be responsible for the postage of returning by any reason. We will only refund the auction amount, shipping cost excluded. Must notify us by email within 14 days of delivery for return. Item must be returned in original condition.

【例: タブレットのPortrait(縦向き)のセクションコンテンツ画面】

Folded One Piece (Red)



Price: ¥3,700
Item ID: OP1331
Stock: Request
Size: Regular
Material: Polyester
Dress Length: Above Knee, Mini
Occasion: Cocktail, Evening

If you are not 100% satisfied please contact us before you leave the feedback and that is not the correct way to solve problem, you could send it back to us for refund or exchange but the wig MUST be unused. Please be reminded that you would be responsible for the postage of returning by any reason. We will only refund the auction amount, shipping cost excluded. Must notify us by email within 14 days of delivery for return. Item must be returned in original condition.

デバイスが横向きなら、Landscape/index.htmlが最初に読み込まれ、縦向きならPortrait/index.htmlが最初に読み込まれます。また、表示後にデバイスの向きが変わると、各index.htmlが再読み込みされます。

※ HCZコンテンツ表示機能は、各デバイス、OSのHTML表示機構をそのまま利用するため、それぞれのHTML表示機構の機能差異の影響を受けません。それぞれのHTML表示機構の機能については、各デバイス、OSのマニュアル、Webページなどを参照してください。

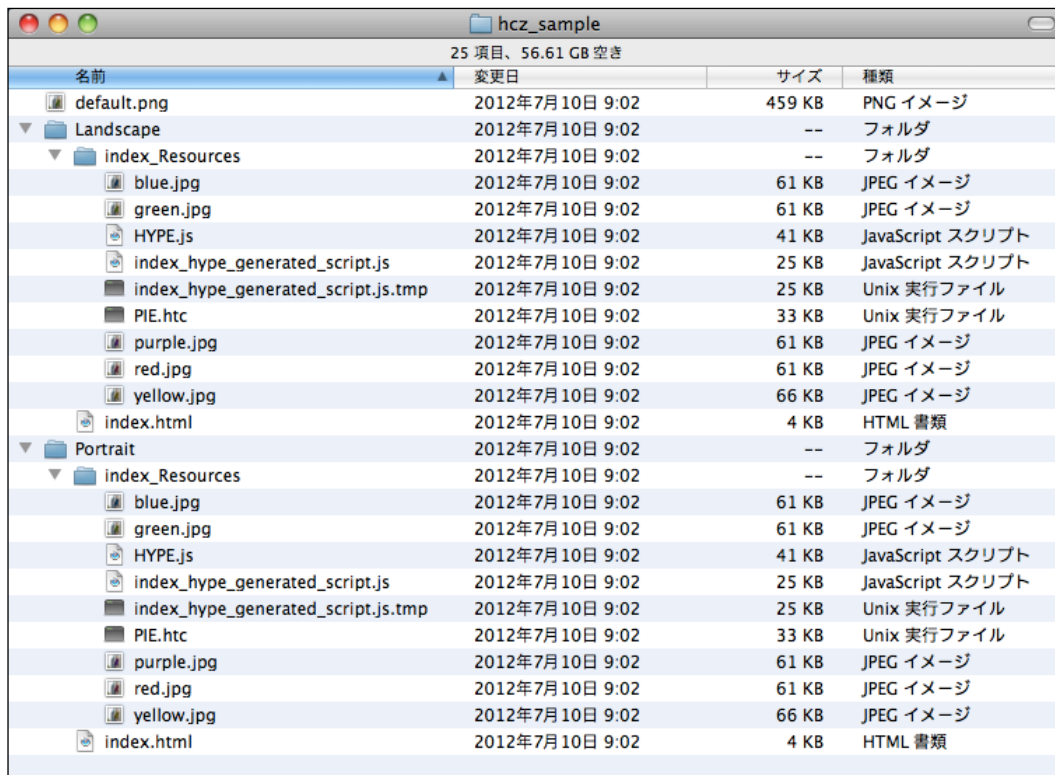
※ 複数のデバイスでHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを表示する場合は、各デバイス、OSのHTML表示機構の共通機能を使いHTMLコンテンツ(HCZ)を作成してください。

<HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルの作成とHandbook Studioへの登録方法>

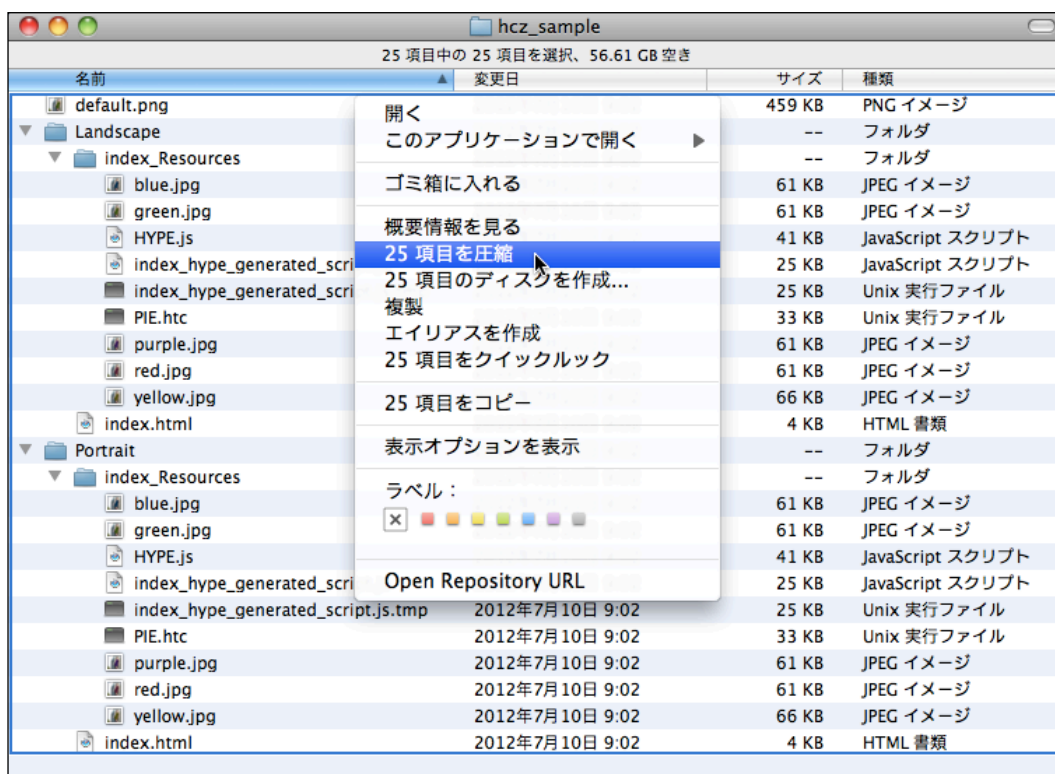
HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを作成し、Handbook Studioのセクションに登録する手順は、以下のようになります。

HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを作成する

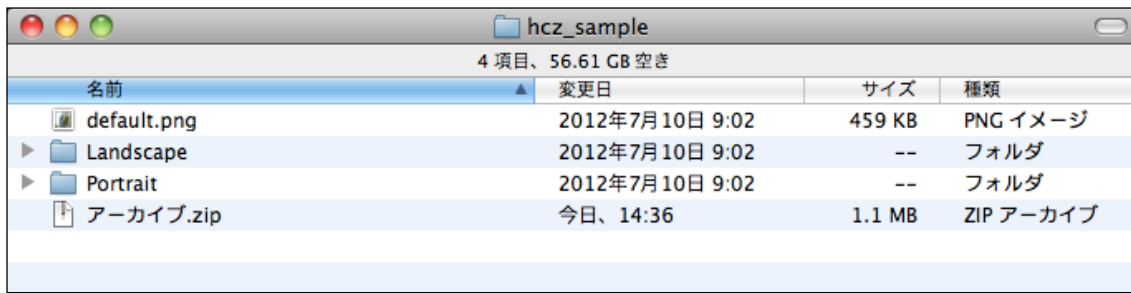
1. 前述の説明を参照にして、htmlファイルを作成します。



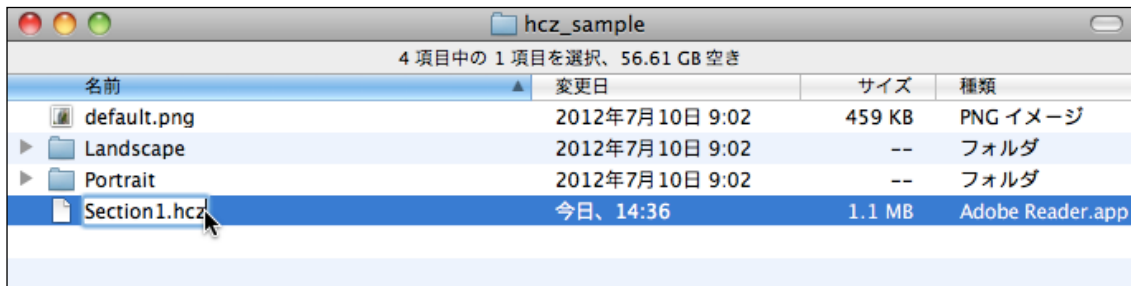
2. ファイルを全て選択し、まとめて圧縮して、Zipファイルを作成します。



3. Zipファイルが作成されます。



4. ファイル名を変更し、Zipファイルの拡張子を「.hcz」に変更します。このHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを「添付ファイル」としてHandbookで使用します。



新しいHandbookのセクションにHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを登録する

1. まず、新しいHandbookを作成します。



2. 新しいHandbookができたので、クリックして再度開きます。



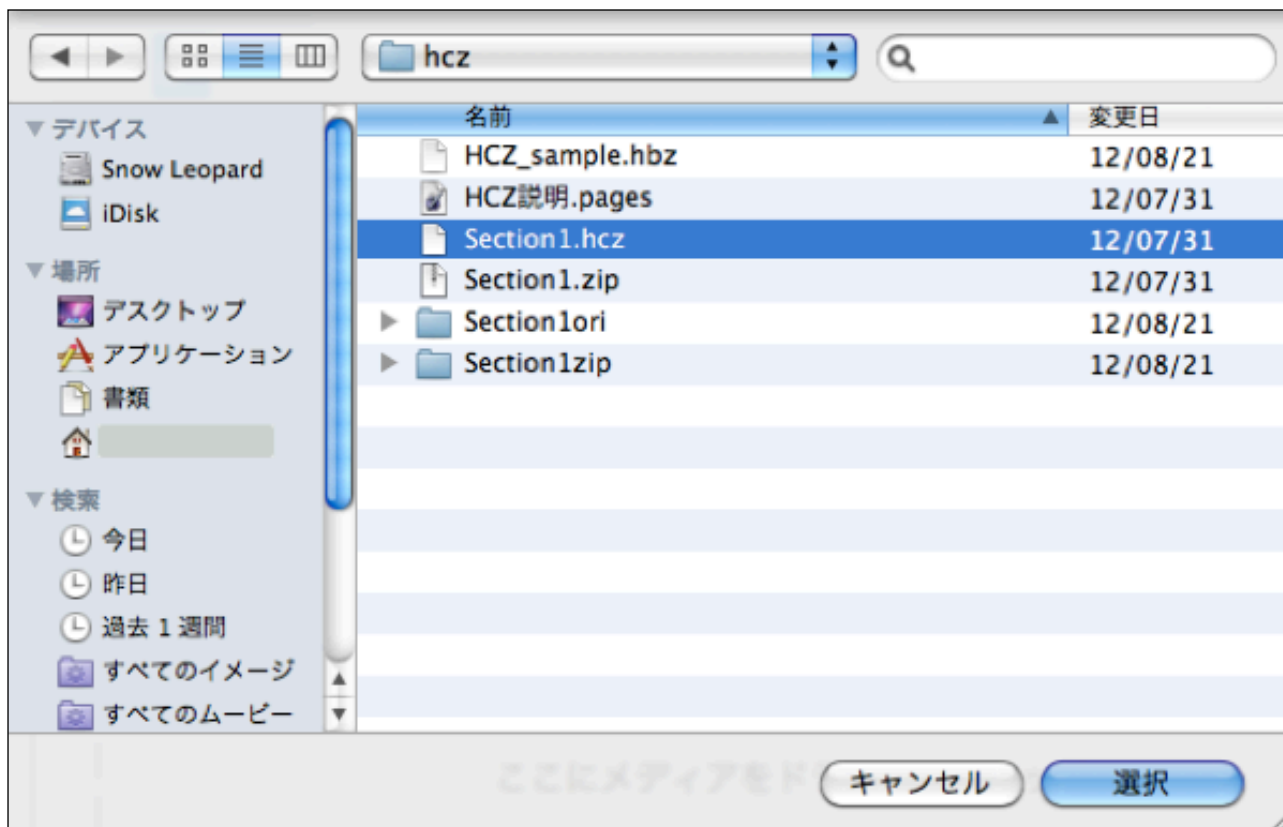
3. 次の画面で「添付ファイルを追加」をクリックします。ここでHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを添付ファイルとして挿入します。



4. 添付ファイルセクションの作成画面が開くので、左下の「ファイルを選択」ボタンをクリックします。



5. ファイルの参照画面が表示されるので、先ほど作成したHCZファイルを選択します。



6. セクションにHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを登録した後は、「保存」をクリックして画面を閉じます。



7. HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルが保存されました。



8. ブック画面に戻ると、HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを含むセクションがブック内に作成されています。

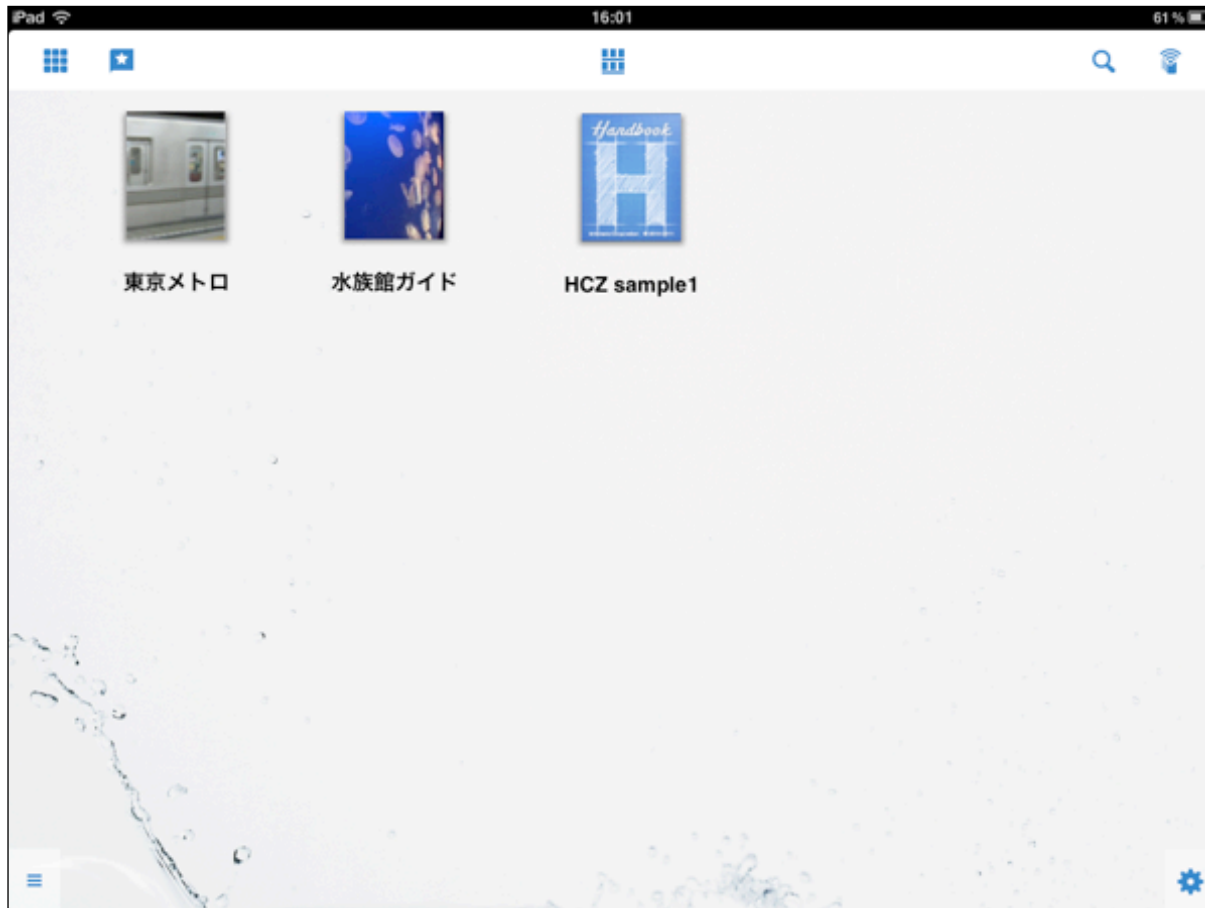


<HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルをタブレットなどのデバイスから参照する>

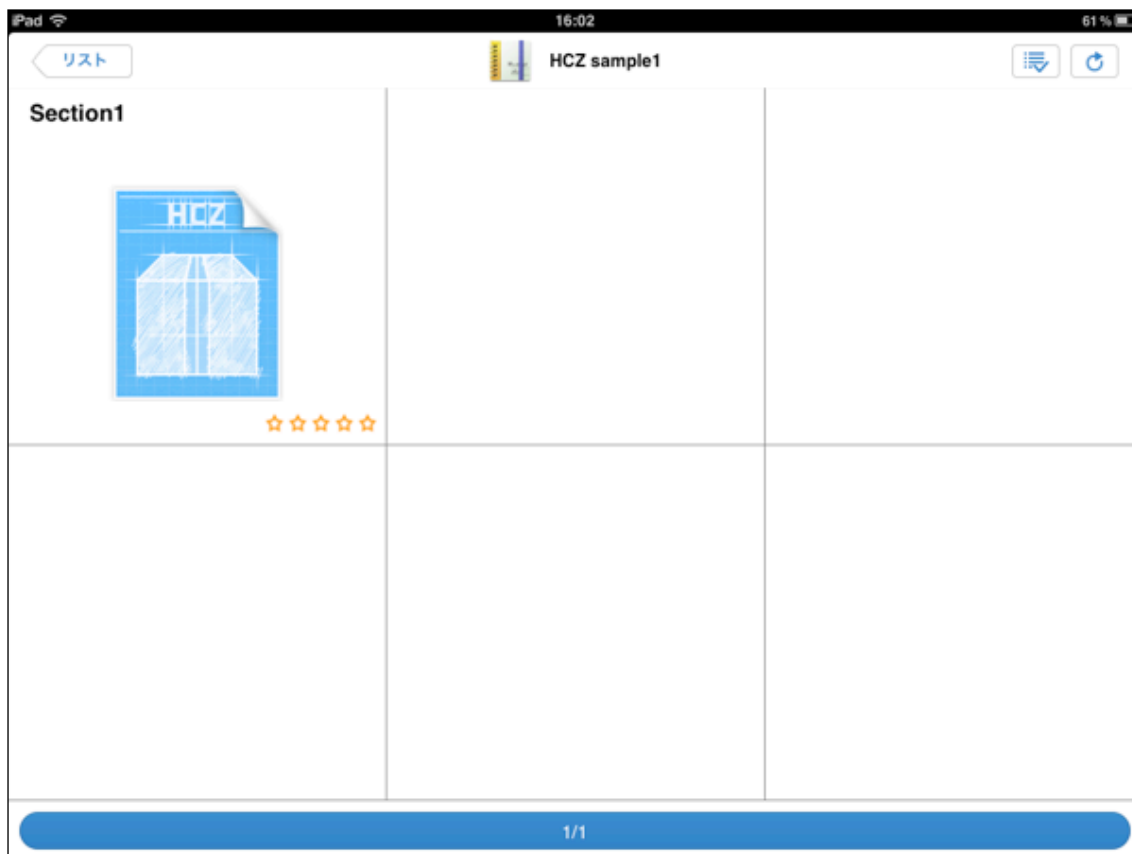
今度は、作成したHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを含むHandbookを開いて、タブレットなどのデバイスから参照してみます。

1. タブレットでHandbookを開くと、先ほど作成したHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを含むHandbookファイルが表示されているので、タップします。

【タブレットの画面でHCZ sample1をタップ】



2. セクションの標準画面が表示されます。



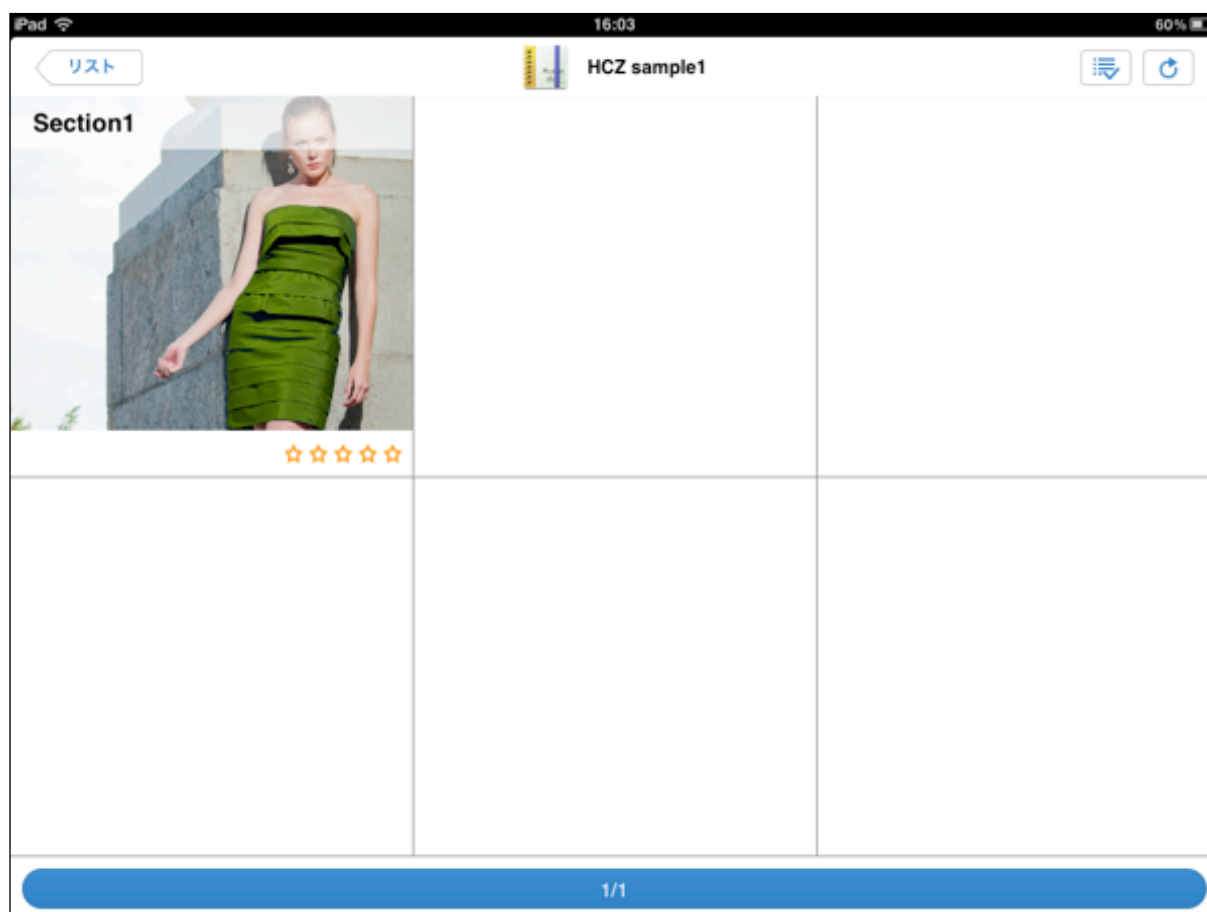
3. ここで、いったんHandbook表示画面に戻り、HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを含むHandbookをダウンロードします。Handbookのアイコンにしばらく触れると、右下にマークが出ます。このマークがでたら、画面左下にある「ダウンロード」ボタンをタップしてください。



4. サンプルのHandbookファイルがダウンロードされました。このダウンロードされたファイルを再びタップしてみます。

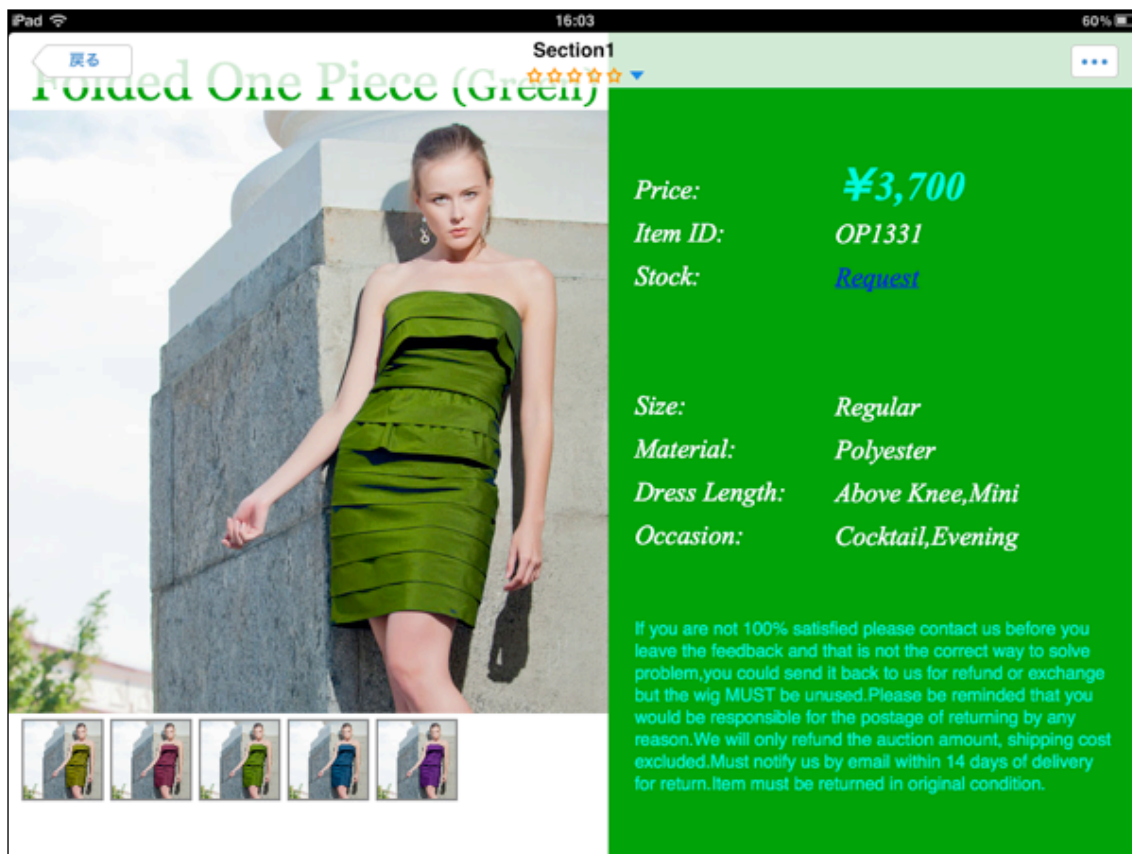


5. セクションの画面が表示されます。ダウンロード前は「標準の画像」でしたが、ダウンロード後はHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルに含まれている「default.png」の画像が表示されるようになりました。



6. セクションをタップして開いてみると、以下のように、作成者が独自に作成したコンテンツが表示されます。
 タブレットを横向きにすると、Landscape画面で表示されます。

【例: タブレットのLandscape(横向き)のセクションコンテンツ画面】

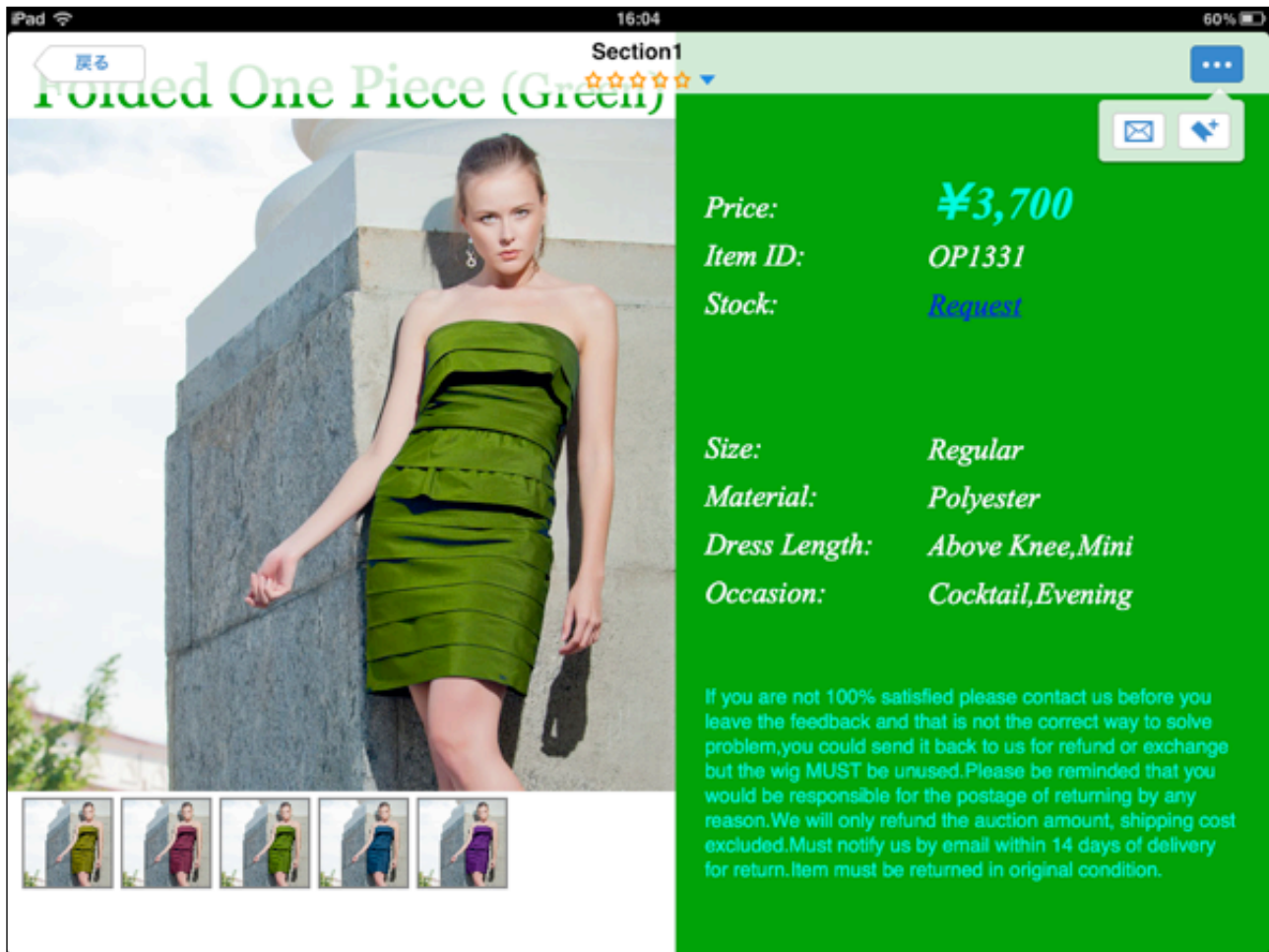


7. タブレットを縦向きにすると、Landscape画面で表示されます。

【例: タブレットのPortrait(縦向き)のセクションコンテンツ画面】



8. 右上の四角のマークをタップすると、デフォルトで「メール」、「お気に入り」のメニューが表示されるようになっていきます。



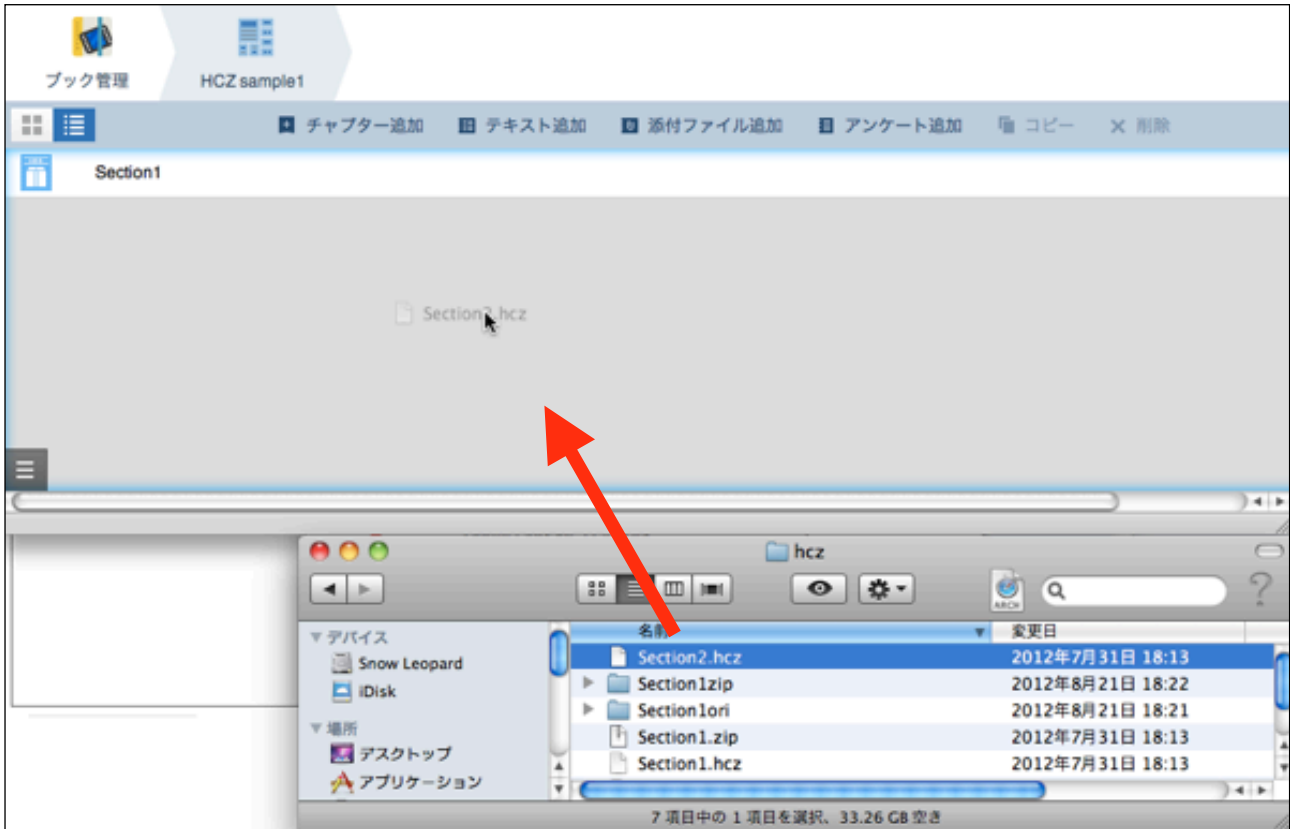
＜セクションのリスト画面からHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを直接入れる＞

また、HTMLコンテンツ(HCZ)ファイルは1つのセクションと見なされるので、セクションのリスト表示画面の一番下の行にHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを直接ドラッグ&ドロップしてセクションを作成することもできます。挿入するセクションの数が多い場合には、この方法が便利です。

セクションをリスト表示するには、「環境設定」メニューで環境設定画面を開き、「Studioユーザ設定」項目にある「セクション一覧レイアウト」の設定をクリックして、「グラフィック（画像）」表示から、「リスト」表示に変更します。

※ セクションをリスト表示し、メディア(画像、動画、添付ファイル、音声)をドラッグして直接挿入して登録する手順の詳細については、「3.2.3. セクションを作成する」にある、「コンテンツにメディア(画像/動画/添付ファイル/音声)を直接挿入する」の「セクションのリスト画面からメディアを直接入れる」の項目を参照してください。

【セクションのリスト画面にHTMLコンテンツ(HCZ)ファイルを直接ドラッグ&ドロップして作成】



新しいセクションがリストに追加されました。



3.3. 各設問設定の詳細

Handbook Studioでは、「クイズ」と「試験」の2種類の設問を作成することができます。







「試験」の設問を作成すると、「スコア」という点数の入力欄が表示されるので、編集者はそこに閲覧者が正解した場合に加算される点数を入力します。

「クイズ」の設問を作成すると、閲覧者側では、1つの設問ごとに正解/不正解が表示されるようになります。

設問設定のタイプは6パターン用意されています。試験とクイズでタイプの内容は共通です。



各設問タイプの説明（クイズ・試験共通）

 空欄埋め	<p>閲覧者(ユーザー)が質問文のブランク部分に回答を入力する形式の質問を作成します。</p> <p>編集者は質問の文章の途中にブランク(空白欄)を設定し、その下にブランク部分に該当する回答を入力します。</p>
 並べ替え	<p>閲覧者が回答を正しい順番に並べ替える形式の質問を作成します。</p> <p>編集者は質問文と、回答となる複数の文章を入力し、回答文の横の欄に順番となる番号を入力します。</p>
 位置選択	<p>閲覧者が画像の正しい位置を指で押して指定する形式の質問を作成します。</p> <p>編集者は質問文と画像を挿入し、その画像上に指で指定するための複数のピンを設定します。</p>
 接続	<p>質問文章と正解をつなぐ形式の質問を作成します。</p>
 画像選択	<p>閲覧者が画像を選択して回答する形式の質問を作成します。編集者は質問文と画像を挿入し、正解の画像にのみチェックを入れて設定します。</p>
 選択	<p>閲覧者が複数の文章の中から、正しい文章にのみチェックを入れる形式の質問設定です(複数可)。編集者は質問文と、閲覧者が選択するための複数の文章を入力し、正解の文章にのみチェックを入れて設定します。正解を複数もたせることもできます。</p>

以下では、タイプ別の設問設定（試験バージョン）の詳細について説明します。

3.3.1. 設問タイプ1



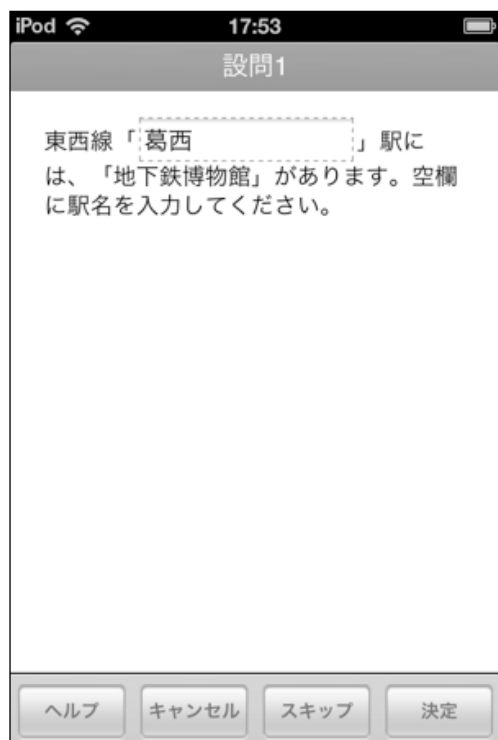
閲覧者が質問文のブランク部分に回答を入力する形式の質問を作成します。編集者は質問の文章の途中で下の「空欄1」などをクリックすることによってブランク(空白欄)を挿入します。回答欄にはブランク部分に該当する回答を入力します。入力終了したら最後に「保存」ボタンをクリックします。回答は「+答えの追加」で最大6つまで設定することができます。またそれぞれの回答には正解を4つまで持つことができます。回答は4つのうち、いずれかが入力されれば正解となります。

【例: 編集者のタイプ1の設定画面(試験バージョン)】

The screenshot shows the 'Blank Insert' question editor. The main title is '[-] 穴埋め問題'. Below the title, there is a text area for the question text: '東西線「[blank 1]」駅には、「地下鉄博物館」があります。空欄に駅名を入力してください。'. The text area has a 'スコア 10' and a 'ヒントを隠す' button. Below the text area is a 'ヒント' (Hint) section with the text: '隣の駅は西葛西駅です。隣の駅は西葛西駅です。'. At the bottom, there is a '回答設定' (Answer Settings) section with a label '空欄 1' and four input fields, the first of which contains '葛西'. There are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

閲覧者は空欄に回答を入力します。

【例: スマートフォンから見たタイプ1の質問画面】



The image shows a screenshot of a smartphone screen. At the top, the status bar displays "iPod", signal strength, Wi-Fi, and the time "17:53". Below the status bar, the title "設問1" (Question 1) is centered. The main content area contains the text: "東西線「葛西」駅には、「地下鉄博物館」があります。空欄に駅名を入力してください。" (On the東西線 (Tōzai Line) "葛西" (Kasai) station, there is a "地下鉄博物館" (Subway Museum). Please enter the station name in the empty box.) The text "葛西" is enclosed in a dashed rectangular box. At the bottom of the screen, there are four buttons: "ヘルプ" (Help), "キャンセル" (Cancel), "スキップ" (Skip), and "決定" (Decide).

【タブレットから見た画面】



The image shows a screenshot of a tablet screen. At the top left, there is a small icon of a train and the text "東京メトロ / 試験問題(全6問)" (Tokyo Metro / Exam Questions (Total 6 Questions)). Below this, "設問1" (Question 1) is displayed. The main content area contains the text: "東西線「葛西」駅には、「地下鉄博物館」があります。空欄に駅名を入力してください。" (On the東西線 (Tōzai Line) "葛西" (Kasai) station, there is a "地下鉄博物館" (Subway Museum). Please enter the station name in the empty box.) The text "葛西" is enclosed in a dashed rectangular box. At the bottom of the screen, there are four buttons: "ヘルプ" (Help), "キャンセル" (Cancel), "スキップ" (Skip), and "決定" (Decide).


3.3.2. 設問タイプ2



閲覧者が回答を正しい順番に並べ替える形式の質問を作成します。

編集者は質問文と、回答となる複数の文章を入力し、「保存」ボタンをクリックします。情報端末側では自動的にランダムで回答が並べ替えられます。回答は「+答えの追加」で最大6つまで設定することができます。

【例: 編集者のタイプ2の設定画面(試験バージョン)】

閲覧者は項目の右側にある「三本のバー」の部分、指でスライドして正しい順番に並べ替えます。

【例: スマートフォンかから見たタイプ2の質問画面】



【タブレットの画面】



3.3.3. 設問タイプ3



位置選択

閲覧者が画像の正しい位置を指で押して指定する形式の質問を作成します。

編集者は質問文と画像を挿入し、挿入した画像の上をクリックすると、クリックした場所に自動でピンが設定されます。ピンが表示されると、同時にその画像上の位置が自動で画像の下に表示されます。やり直したい場合は、位置表示の右横にある「X(削除)」ボタンをクリックしてください。ピンの名前を入力し、正解のピンにチェックを入れ、最後に「保存」ボタンをクリックします。ピンは最大6つまで設定することができます。

【例: 編集者のタイプ3の設定画面(試験バージョン)】

ブック管理 東京メトロ 試験問題(全6...)

クイズの作成 試験問題の作成 アンケートの質問作成 クイズへコピー コピー X 削除

セクション

試験問題(全6問)

★ フィードバック

クイズの数問 (0)

試験問題 (0)

東西線「[blank 1]」駅には、

平蔵門線「渋谷」駅から押上方

緊急停止ボタンの正しい位置を

左の駅名と右の関連施設とを正

地下鉄地図で用いられている有

上野駅に停車する地下鉄は次の

アンケートの質問 (0)

位置選択

設問文章 スコア 10 [ヒントを隠す](#)

緊急停止ボタンの正しい位置をタップしてください。

ヒント

赤い色です。

回答設定

A
 一番大きなボタンです X:260.5Y:207.7

B
 X:263.1Y:126.8

C
 X:86Y:185.6

設定画面の各項目の内容は、以下のようになります。

設問内容

設問文章を入力します。上部のツールを利用して文字に大きくして色をつけたりなど、リッチテキストで画面を作成することができます。

ヒント

ヒントを入力します。設問内容と同じく、リッチテキストで画面を作成することができます。

回答設定

回答となる画像を右側の画像タブにあるアップロード済みの画像(*)をドラッグして、回答設定の[画像表示] 欄にドロップするとその画像が表示されます。画像の右側には「ボタンのタイトル」と「さらに詳しいヒント」を入れる欄があります。「ヒント」の入力欄でヒントを入力しておくと、情報端末側の画面でピンのタイトル横に、さらに詳しいヒントを表示するためのボタンが表示されます。

回答設定

A

一番大きなボタンです X:260.5Y:207.7

B

X:263.1Y:126.8

C

X:86Y:185.6

閲覧者の情報端末画面では、複数表示されているピンのうち、回答となるピンを選択してタップすると、色が変わります。クイズの場合は、ピンの横にさらに詳しいヒントが表示されます。

【例: スマートフォンから見たタイプ3の質問画面】



【タブレットの画面】



3.3.4. 設問タイプ4



閲覧者が左右に表示される回答を正しい組み合わせで連結する形式の質問を作成します。編集者は質問文と、左右の回答となる複数の文章を入力し、回答文の横の欄に右側の回答を左側の回答と連結させる番号を入力します。入力が終了したら最後に「保存」ボタンをクリックします。回答は「+答えの追加」で最大6つまで設定することができます。

【例: 編集者のタイプ4の設定画面(試験バージョン)】

閲覧者の情報端末画面では、左側の文字と関連する右側の回答を関連づけます。左側の文字をタップしてから、それに関連する右側の回答をタップすると、項目の丸印が線で結ばれます。

【例: スマートフォンから見たタイプ4の質問画面】



【タブレットの画面】

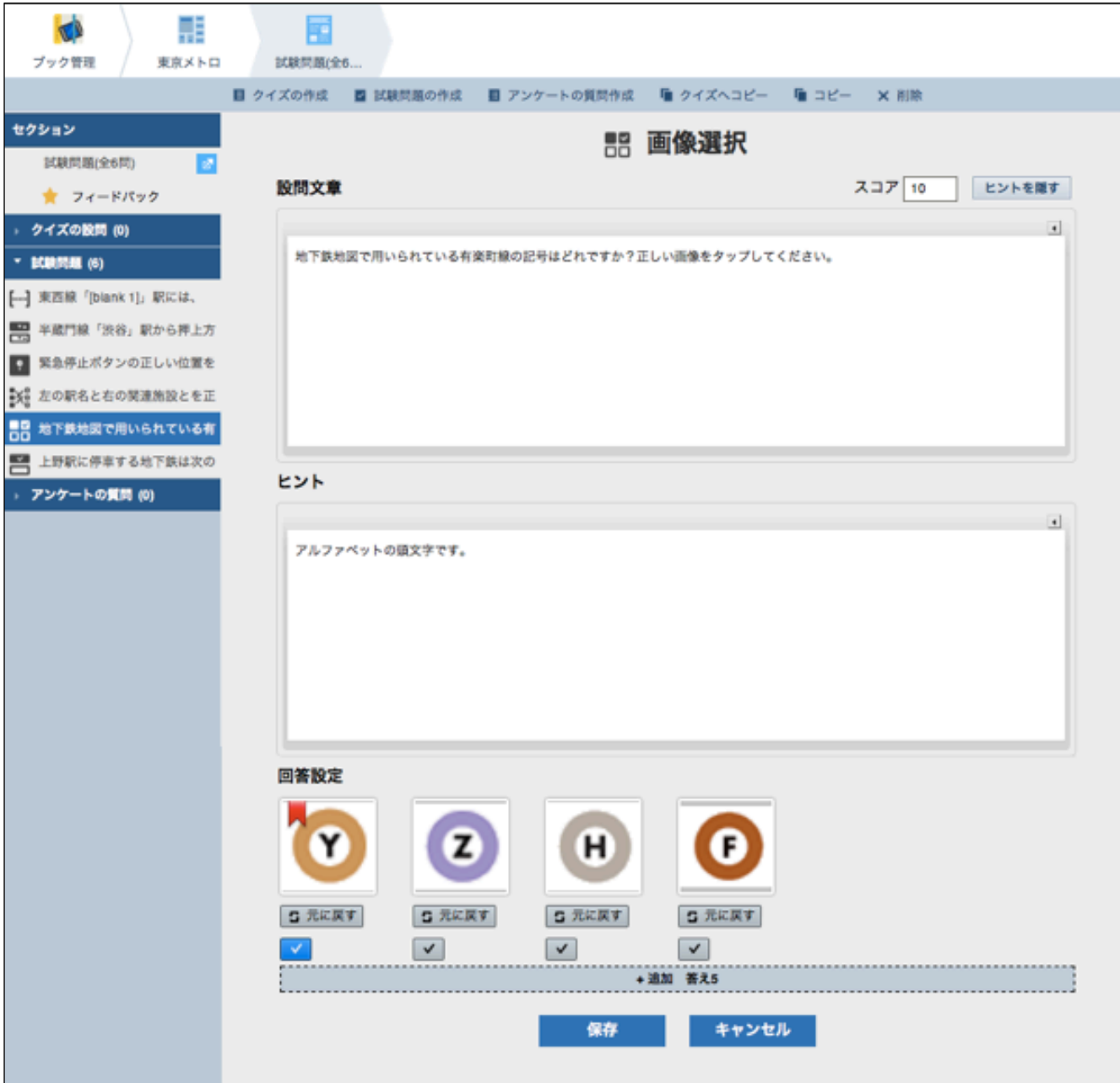


3.3.5. 設問タイプ5



画像選択形式の質問を作成します。閲覧者は複数の画像の中から1つを選択して回答します。編集者は質問文と画像を挿入し、正解の画像にのみチェックを入れて設定します。画像は、右側の画像タブにあるアップロード済みの画像(*)をドラッグして、回答設定の画像挿入欄にドロップすると画像が表示されます。挿入画像を取り消す場合は「元に戻す」をクリックして消去します。回答は「+答えの追加」で最大6つまで設定することができます。

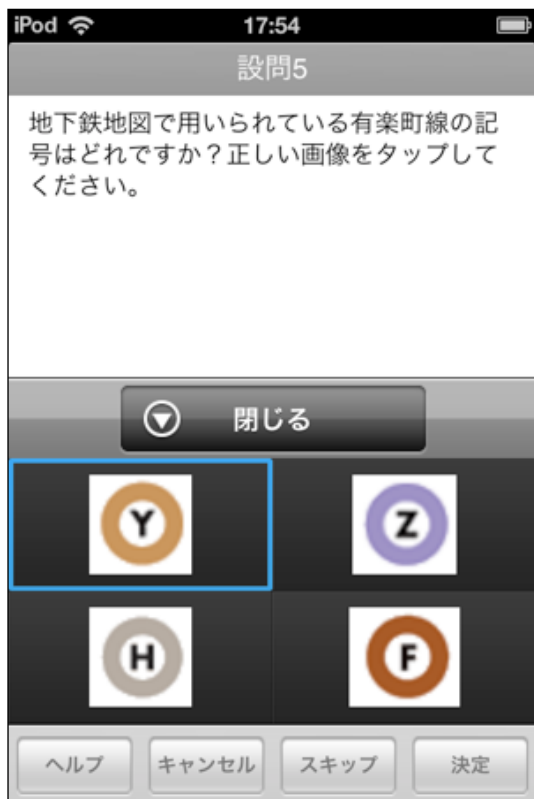
【例: 編集者のタイプ5の設定画面(試験バージョン)】



The screenshot displays the 'Image Selection' (画像選択) question configuration interface. At the top, there are navigation tabs for 'ブック管理', '東京メトロ', and '試験問題(全6...)'. Below these are action buttons: 'クイズの作成', '試験問題の作成', 'アンケートの質問作成', 'クイズへコピー', 'コピー', and '削除'. The main content area is titled '画像選択' and includes a '設問文章' (Question Text) field with the text: '地下鉄地図で用いられている有楽町線の記号はどれですか?正しい画像をタップしてください。' (Which symbol of the Yamanote Line is used on the subway map? Tap the correct image). To the right of the text field is a 'スコア' (Score) input set to '10' and a 'ヒントを隠す' (Hide Hint) button. Below the question text is a 'ヒント' (Hint) field containing the text: 'アルファベットの頭文字です。' (It is the first letter of the alphabet). The '回答設定' (Answer Setting) section features four circular options: 'Y' (orange), 'Z' (purple), 'H' (grey), and 'F' (brown). Each option has a '元に戻す' (Reset) button below it. The 'Y' option is selected, indicated by a checkmark in a blue box. At the bottom of the answer setting area, there is a '+追加 答え5' (+Add Answer 5) button. Finally, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the very bottom.

閲覧者の情報端末画面では、回答となる画像をタップします。

【例: スマートフォンから見たタイプ5の質問画面】



【タブレットの画面】



3.3.6. 設問タイプ6



閲覧者が複数の文章の中から、複数の回答にチェックを入れる形式の質問設定です。編集者は質問文と、閲覧者が選択するための複数の文章を入力し、正解の文章にのみチェックを入れて設定します。

回答は「+答えの追加」で最大6つまで設定することができます。

【例: 編集者のタイプ6の設定画面(試験バージョン)】

The screenshot displays the '選択' (Selection) question configuration interface. The top navigation bar includes 'ブック管理', '東京メトロ', and '試験問題(全6...)'. The main header shows 'クイズの作成', '試験問題の作成', 'アンケートの質問作成', 'クイズへコピー', 'コピー', and '削除'. The left sidebar lists sections: '試験問題(全6問)', 'フィードバック', 'クイズの設問 (0)', and '試験問題 (6)'. The main content area is titled '選択' and includes a 'スコア' field set to '10' and a 'ヒントを隠す' button. The '設問文章' (Question Text) field contains: '上野駅に停車する地下鉄は次のうちどれですか?正しいものをタップしてください(複数)。'. The 'ヒント' (Hint) field contains: '黄色と灰色の帯の電車です。'. The '回答設定' (Answer Settings) section lists four answers: '銀座線', '日比谷線', '南北線', and '有楽町線', each with a checked checkbox. A '+追加 答え5' button is located below the answer list. At the bottom, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

閲覧者の情報端末画面では、回答項目をタップします。

【例: スマートフォンから見たタイプ6の質問画面】



【タブレットの画面】



3.4. 各アンケート設定の詳細

クイズや試験問題を作成したセクションにアンケートを作成することができます。アンケートを作成しておくことで、閲覧者がクイズや試験問題を終了した後に、アンケートボタンを押してアンケートに回答することができるようになります。アンケートの作成形式は3種類です。



空欄埋め






テキストエリア



選択

アンケートの各設問タイプの説明

 空欄埋め	「空欄埋め」アンケートです。閲覧者は、空欄に一行の文章を入力することができます。編集者はアンケートの文章の途中や末尾などにブランク(空白欄)を設定します。
 テキストエリア	「テキストエリア」アンケートです。閲覧者は、入力欄に複数行の入力を行うことができます。編集者はアンケート文章の下に入力欄を設定します。
 選択	項目を選択するアンケートです。閲覧者がアンケートに対する答えを複数選択することができます。編集者はアンケート文章の下に、閲覧者が選択するための項目を入力します。

以下では、タイプ別のアンケート設定の詳細について説明します。

3.4.1. アンケート設問タイプ1



「空欄埋め」アンケートを作成します。左側の をクリックして設問欄に文章を書き込み、空欄穴埋めにしたい部分に「空欄」ボックスをドラッグします。

※ この項目の空欄入力は必須ですので（空欄に入力しないと次に進めません）、閲覧者が入力したくない場合にハイフンなどを入力するように促す文章を入れる必要があります。

【例: アンケートタイプ1の設定画面】




【タブレットから見た画面】



3.4.2. アンケート設問タイプ2



「テキストエリア」アンケートを作成します。中央の  をクリックして設問欄に文章を書き込み、文章入力欄にしたい部分に「空欄」ボックスをドラッグします。「空欄埋め」の「空欄」ボックスは一行の入力ですが、「テキストエリア」の「空欄」ボックスは複数行の入力ができます。

※ この項目の空欄入力は必須ですので（空欄に入力しないと次に進めません）、閲覧者が入力したくない場合にハイフンなどを入力するように促す文章を入れる必要があります。

【例: アンケートタイプ2の設定画面】

【タブレットから見た画面】

iPad 16:45 55%

東京メトロ / クイズ・試験・アンケート
アンケート2


このハンドブックをご利用になられた感想などを記入して下さい（入力をご遠慮される場合はハイフンを入力してください）。

参考になりました

キャンセル 決定

3.4.3. アンケート設問タイプ3



選択形式のアンケートを作成します。一番下の  ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されるので、質問文や回答候補を入力します。

回答候補設定欄の上にある、「複数選択不可」をチェックすると、回答は1つだけ選択できる設定となります。

【例: アンケートタイプ3の設定画面】

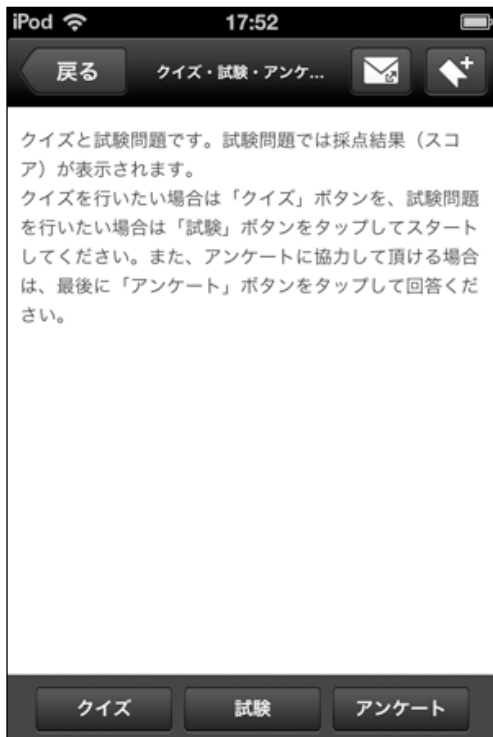


【タブレットから見た画面】



閲覧者が設問のセクションを携帯端末などで開いた最初の画面にアンケートボタンが表示されます。設問終了後に最初の画面に戻るので、閲覧者はアンケートボタンを押してアンケートに答えることができるようになります。

【例:スマートフォンに表示される画面】



【タブレットの画面】



4章 Appendix

ここでは、Handbook Studioを利用する上での補足情報がまとめられています。

4.1. 入力条件

Handbook Studioで入力する項目の入力条件は以下の通りです。

<閲覧者アカウント>

閲覧者アカウント

*名

*姓

*閲覧者アカウント

部署

*メールアドレス

パスワード

パスワード (確認)

アクセスコード

デバイスID
セミコロン(;)分割で複数記入可

操作記録設定 オン

アカウントの有効化 オン

招待メールを送る

項目名	入力条件
名	30文字までの文字列
姓	30文字までの文字列
ユーザ名	4文字以上30文字までの英数字かアンダーバー"_"またはハイフン"-"(先頭は英文字)
部署	50文字までの文字列
メールアドレス	100文字までの文字列でメールアドレス形式
パスワード	6文字以上50文字までの文字列
パスワード (確認)	(パスワードと同じ)

項目名	入力条件
アクセスコード	50文字までの英数字で構成されるアクセスコードを複数記入可。複数記入する場合は,(カンマ)で区切り、区切り文字「,」を含めて50文字まで設定が可能です。
デバイスID	全体で250文字までの英数字。複数の場合には;(セミコロン)で区切る

<編集者アカウント>

編集者アカウント

名

姓

編集者アカウント

部署

メールアドレス

パスワード

パスワード (確認)

管理者権限 オン

招待メールを送る

項目名	入力条件
名	30文字までの文字列
姓	30文字までの文字列
ユーザ名	4文字以上30文字までの英数字か"アンダーバー"_"またはハイフン"-"(先頭は英文字)
メールアドレス	100文字までの文字列でメールアドレス形式
パスワード	6文字以上50文字までの文字列
パスワード (確認)	(パスワードと同じ)

<閲覧者グループ>

閲覧者グループ

閲覧者グループ名 アクセスコード


操作記録設定 オン

閲覧者アカウント

- testuser
- testuser_2
- testuser_4
- Test1
- Test2
- test3
- test4

項目名	入力条件
グループ名	40文字までの文字列
アクセスコード	50文字までの英数字で構成されるアクセスコードを複数記入可。複数記入する場合は,(カンマ)で区切り、区切り文字「,」を含めて50文字まで設定が可能です。

<ブック>



タイトル

アクセスコード

ブック全体にこのアクセスコードを適用

フィードバック機能を利用

カテゴリー ?

▼

説明

セクションの表示レイアウト

S1	S2
S3	S4
S5	S6

S1	S4
S5	S6
S2	S3
S7	

S1
S2
S3
S4
S5

閲覧可能期間

閲覧可能期間

開始

終了

保存

キャンセル

項目名	入力条件
タイトル	50文字までの文字列
アクセスコード	50文字までの英数字
カテゴリー	50文字までの文字列
説明	文字列
著作権情報	1000文字までの文字列

<チャプター>



タイトル

アクセスコード

testadmin1

クイズ終了時のメール送信ボタンを有効にします。

試験終了時のメール送信ボタンを有効にします。

保存 キャンセル

項目名	入力条件
タイトル	50文字までの文字列
アクセスコード	50文字までの英数字

<テキストセクション>



テキストセクション

タイトル

保存 キャンセル 削除

HandbookStudio3.xで作成された内容の表示

項目名	入力条件
タイトル	50文字までの文字列
コンテンツ	文字列

<クイズ・試験>

設問文章
ヒントを隠す

ヒント

項目名	入力条件
設問文章	文字列
ヒント	文字列

<空欄埋め>

回答設定

空欄 1				
空欄 2				
空欄 3				
空欄 4				

項目名	入力条件
回答	50文字までの文字列

<接続>

回答設定

<input type="text"/>	●	●	<input type="text"/>
<input type="text"/>	●	●	<input type="text"/>
<input type="text"/>	●	●	<input type="text"/>
<input type="text"/>	●	●	<input type="text"/>

+追加 答え5

項目名	入力条件
回答	文字列

<選択>

回答設定

答え 1	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
答え 2	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
答え 3	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
答え 4	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

+追加 答え5

項目名	入力条件
回答	文字列

<アンケート>

質問文

項目名	入力条件
質問文	文字列

<空欄埋め>

項目名	入力条件
質問文	50文字までの文字列

<テキストエリア>

項目名	入力条件
質問文	200文字までの文字列

<選択>

複数選択不可

回答候補 1

回答候補 2

回答候補 3

回答候補 4

+ 追加 回答候補5

項目名	入力条件
回答候補	文字列

4.2. HandbookアプリのPDF編集機能と設定について

ブック内のPDFファイルは、Handbookアプリ（iPad版）で編集（マーカーやフリーハンドなどでメモをとる）ことができます。

Handbookアプリで編集したPDFファイルは、デバイスのローカルストレージに別ファイルとしてコピーされます。そのため、次の設定が必要です。

HandbookアプリでPDFファイルの編集を許可するには、Handbookの新規作成画面にて「Handbookのダウンロードを許可」の項目をチェックします。（Handbookアプリでブックをダウンロードすると、PDFファイルを編集することができるようになります。）

また、ダウンロードして編集したPDFファイルをメールで送信したい場合は、Handbookの新規作成画面にて「外部アプリで添付ファイルを開くのを許可」の項目をチェックします。

【Handbookの新規作成画面】

The screenshot shows the 'Handbookの新規作成画面' (New Book Creation Screen). It includes fields for 'タイトル' (Title) with '東京メトロ' (Tokyo Metro) entered, 'アクセスコード' (Access Code) with 'testadmin1', and 'カテゴリ' (Category) set to 'カテゴリなし' (None). There are checkboxes for 'ブック全体にこのアクセスコードを使用' (Use this access code for the entire book) and 'フィードバック機能を利用' (Use feedback function). A '説明' (Description) text area is present. Under 'セクションの表示レイアウト' (Section Display Layout), three grid options are shown. A '閲覧可能期間' (Viewable Period) slider is set from '開始' (Start) to '終了' (End). On the right, several permission settings are listed, with two highlighted in red boxes: 'ブックのダウンロードを許可' (Allow book download) with a sub-option 'ダウンロードした時のみ閲覧を許可' (Allow viewing only when downloaded), and '外部アプリで添付ファイルを開くことを許可' (Allow opening attachments with external apps). Other settings include 'ルーム内でのブックの閲覧を許可' (Allow book viewing in room), 'シェルフ(書棚)へのブックのコピーを許可' (Allow book copying to shelf), 'チャプターラベルの前で改ページ' (Change page before chapter label), and 'アンケートの回答を個別に保存' (Save survey answers individually). '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom.

なお、ブックの閲覧を中止した場合は、デバイスに保存された編集済みのPDFも削除されます。PDFが入ったブックの閲覧が中止となる場合には、以下の3つのケースが挙げられます。

- ・ 削除した場合
- ・ アクセスコードを変更した場合
- ・ 有効期限が過ぎた場合

※ PDFファイルだけを削除したり、セクションだけを削除しても閲覧者のPDFファイルは削除されません。